

檜葉町 住民意向調査 報告書

平成28年3月

復 興 庁
福 島 県
檜 葉 町

檜葉町 住民意向調査

報告書

目次

I 調査の概要	1
1-1 調査目的	3
1-2 調査内容	3
1-3 調査設計	3
1-4 回収結果	3
1-5 報告書の見方	3
II 回答者の属性	5
2-1 回答者の属性	7
III 調査結果	11
3-1 現在の状況	13
3-1-1 世帯構成・人数	13
3-1-2 職業	20
3-1-3 現在の状況	23
3-2 震災発生当時の住居形態	29
3-2-1 震災発生当時の住居形態	29
3-2-2 震災発生当時の持ち家の今後の予定	30
3-3 将来の意向	31
3-3-1 今後の職業についての意向	31
3-3-2 檜葉町への帰還意向	35
3-3-3 檜葉町内での今後の生活において求める支援	42
3-3-4 避難指示解除から帰還までの期間	46
3-3-5 帰還後の世帯構成・人数	49
3-3-6 檜葉町へ帰還する場合の住居形態	51
3-3-7 早期に帰還する場合に今後の生活において求める支援	54
3-3-8 檜葉町への帰還を判断する上で考慮する情報	59
3-3-9 戻らないと決めている理由	64

3-3-10	帰還しない場合に居住する自治体	67
3-3-11	帰還しない場合の住居形態	71
3-3-12	檜葉町への帰還を判断する上で参考とする情報	73
3-3-13	檜葉町内に希望する店舗・商業施設	75
3-4	意見・要望	77
IV	参考資料	95
4-1	使用調査票	97

I 調査の概要

1-1 調査目的

本調査は、楡葉町民の現在の居住状況や今後の居住希望、今後の生活において求める支援、避難生活の現況及び意向等の基礎的情報収集等を目的とする。

1-2 調査内容

※4-1 使用調査票を参照のこと

1-3 調査設計

(1) 調査地域	楡葉町
(2) 調査対象と標本数	世帯の代表者 3,548 世帯
(3) 調査手法	郵送にて配布・回収（自記式）
(4) 調査期間	平成28年1月5日（火）～平成28年1月19日（火）
(5) 調査主体	復興庁、福島県、楡葉町
(6) 調査機関	株式会社サーベイリサーチセンター

1-4 回収結果

有効回収数 1,989 世帯（有効回収率 56.1%）

1-5 報告書の見方

- ・調査数（ $n = \text{Number of cases}$ ）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ・図表および文章中で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- ・調査数（ n 値）が少数（概ね 30 を下回る）のものは、統計上、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。ただし、震災発生当時の住まいの行政区別の分析は n 値が 30 を下回る場合も言及する場合がある。

II 回答者の属性

2-1 回答者の属性

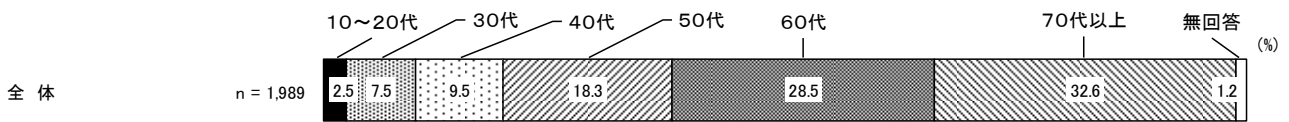
(1) 性別

<図表2-1-1>



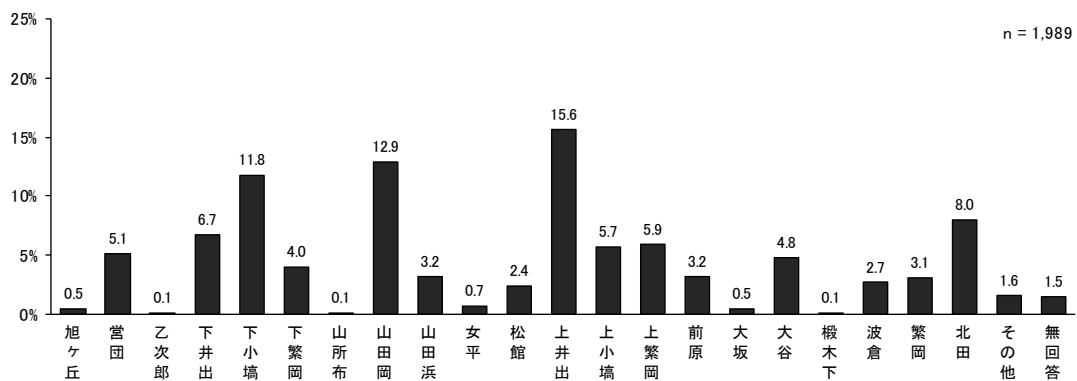
(2) 年齢

<図表2-1-2>



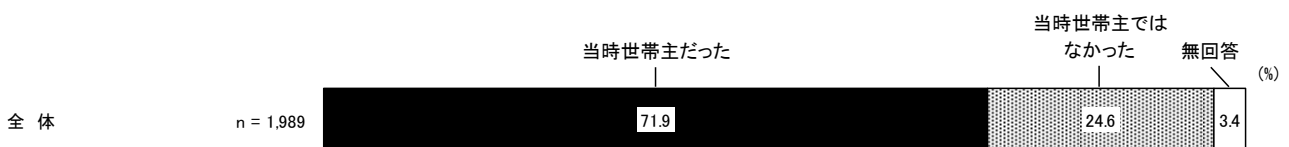
(3) 震災発生当時の住まいの行政区

<図表2-1-3>



(4) 震災発生当時の世帯での立場

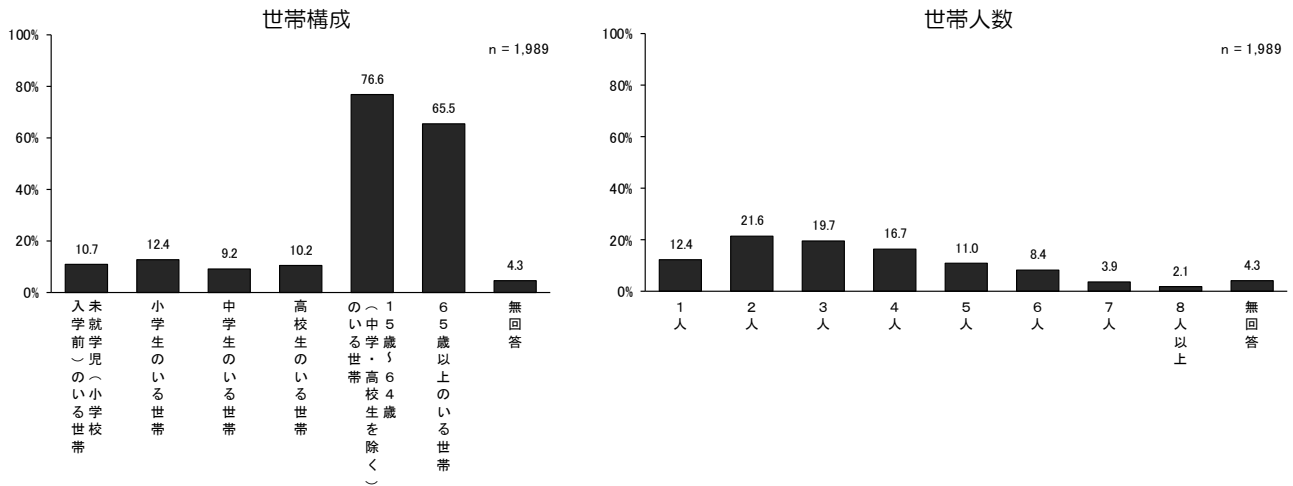
<図表2-1-4>



II 回答者の属性

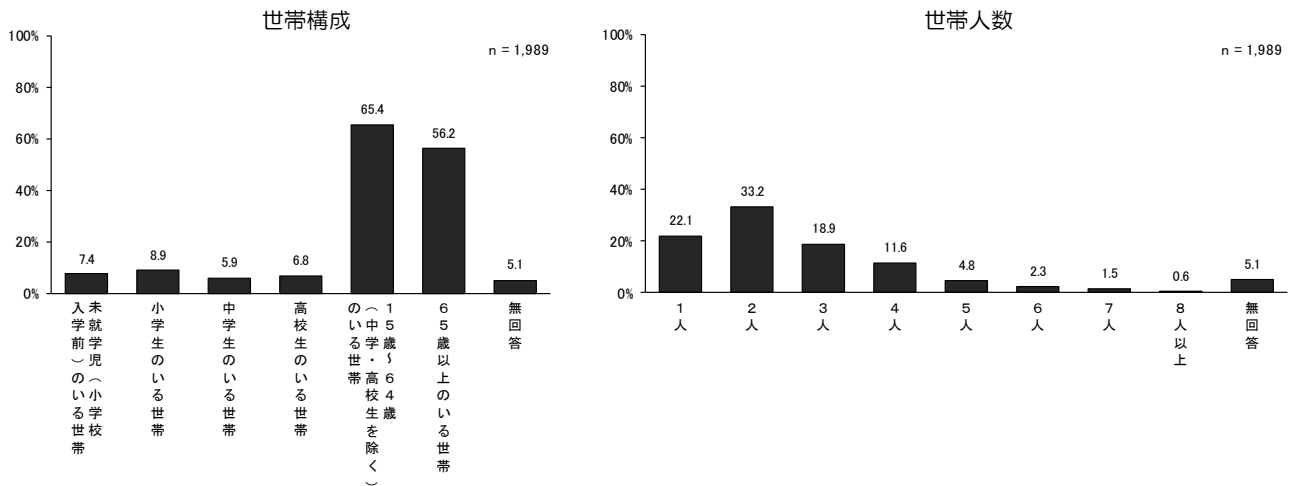
(5) 震災発生当時の世帯構成・人数

<図表2-1-5>



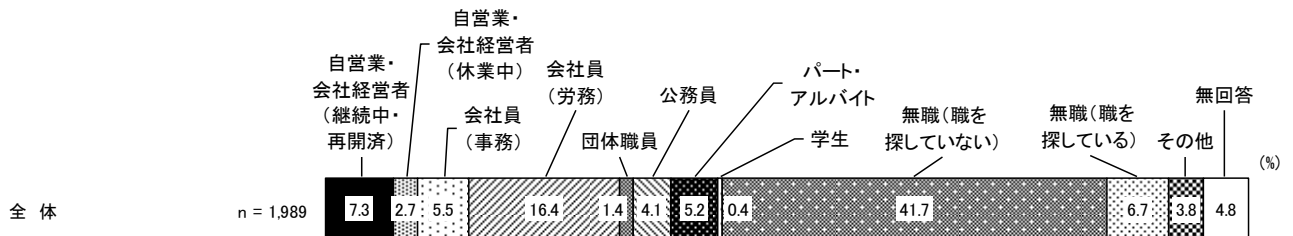
(6) 現在の世帯構成・人数

<図表2-1-6>



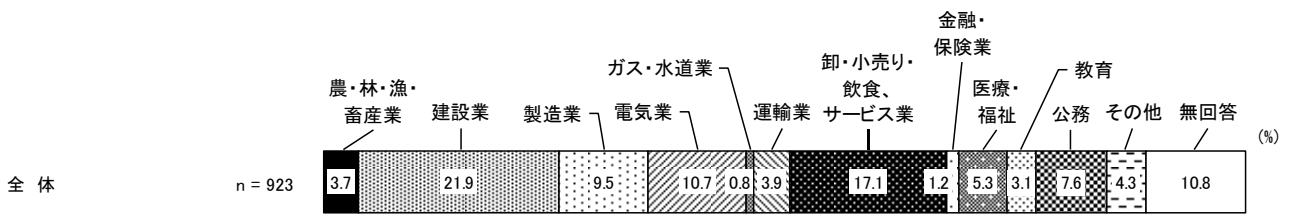
(7) 現在の職業(就業形態)

<図表2-1-7>



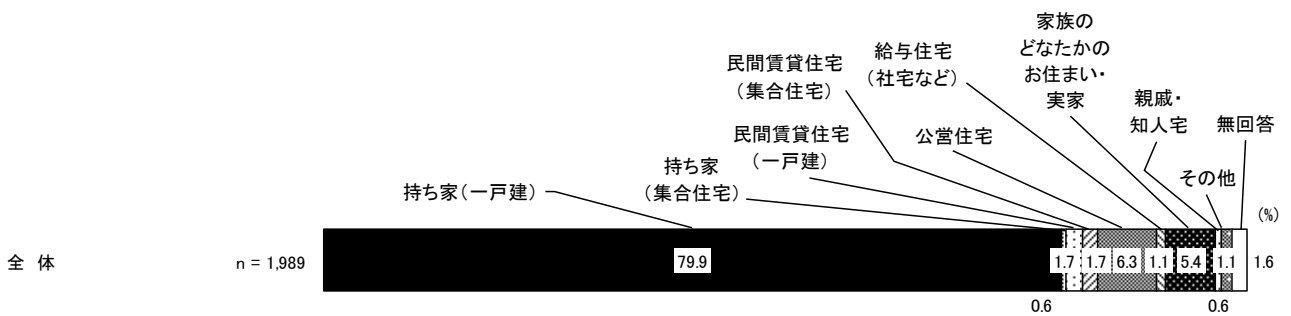
(8) 現在の職業（業種）

<図表2-1-8>



(9) 震災発生当時の住居形態

<図表2-1-9>



III 調査結果

3-1 現在の状況

3-1-1 世帯構成・人数

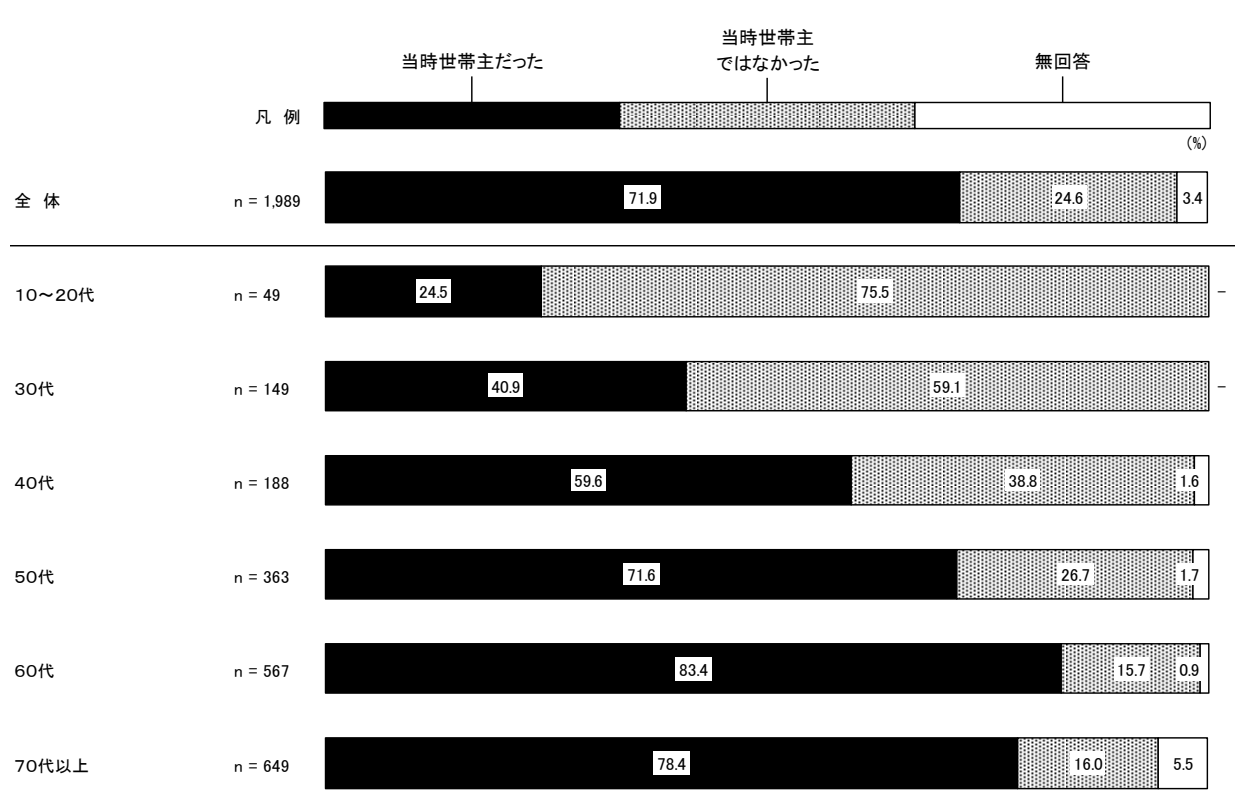
(1) 震災発生当時の世帯での立場

問4 あなたは、震災発生当時、世帯主でしたか。(〇は1つ)

震災発生当時の世帯での立場については、「当時世帯主だった」が71.9%、「当時世帯主ではなかった」が24.6%となっている。

回答者の年齢別にみると、概ね年齢が高くなるに従い、「当時世帯主だった」方の割合が高くなっている。

<図表3-1-1-1 震災発生当時世帯での立場（年齢別）>



(2) 震災発生当時の世帯構成・人数

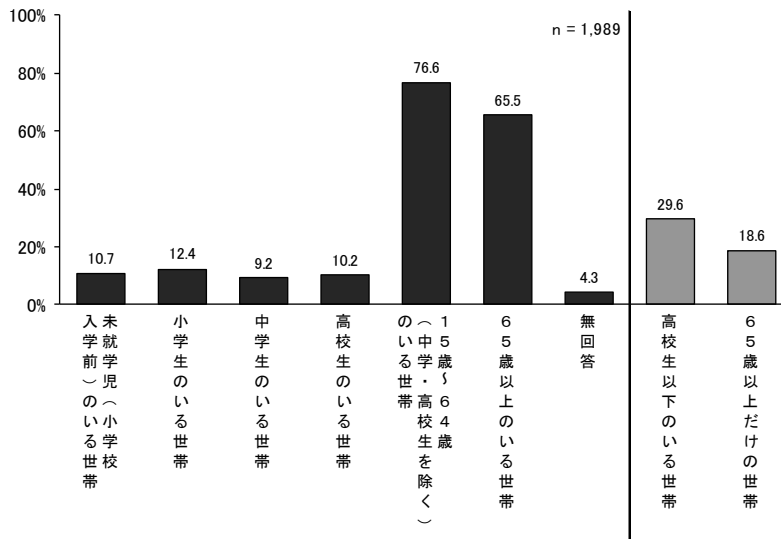
問5 「震災発生当時」に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

① 震災発生当時の世帯構成

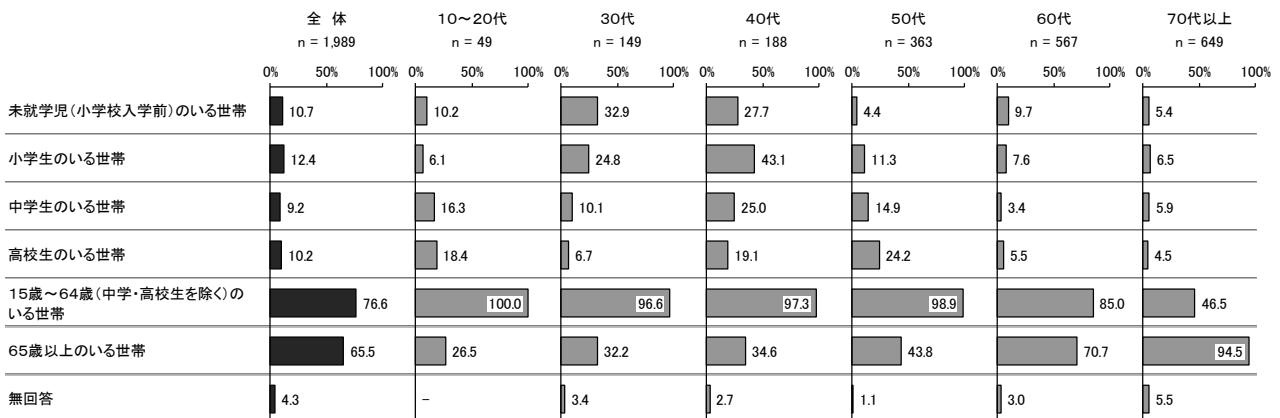
震災発生当時の世帯構成については、「15歳～64歳(中学・高校生を除く)のいる世帯」が76.6%と最も高く、次いで「65歳以上のいる世帯」が65.5%となっている。

一方、「未就学児(小学校入学前)のいる世帯」(10.7%)、「小学生のいる世帯」(12.4%)、「中学生のいる世帯」(9.2%)、「高校生のいる世帯」(10.2%)はいずれも1割程度となっている。

<図表3-1-1-2 震災発生当時の世帯構成>



<図表3-1-1-3 震災発生当時の世帯構成(年齢別)>

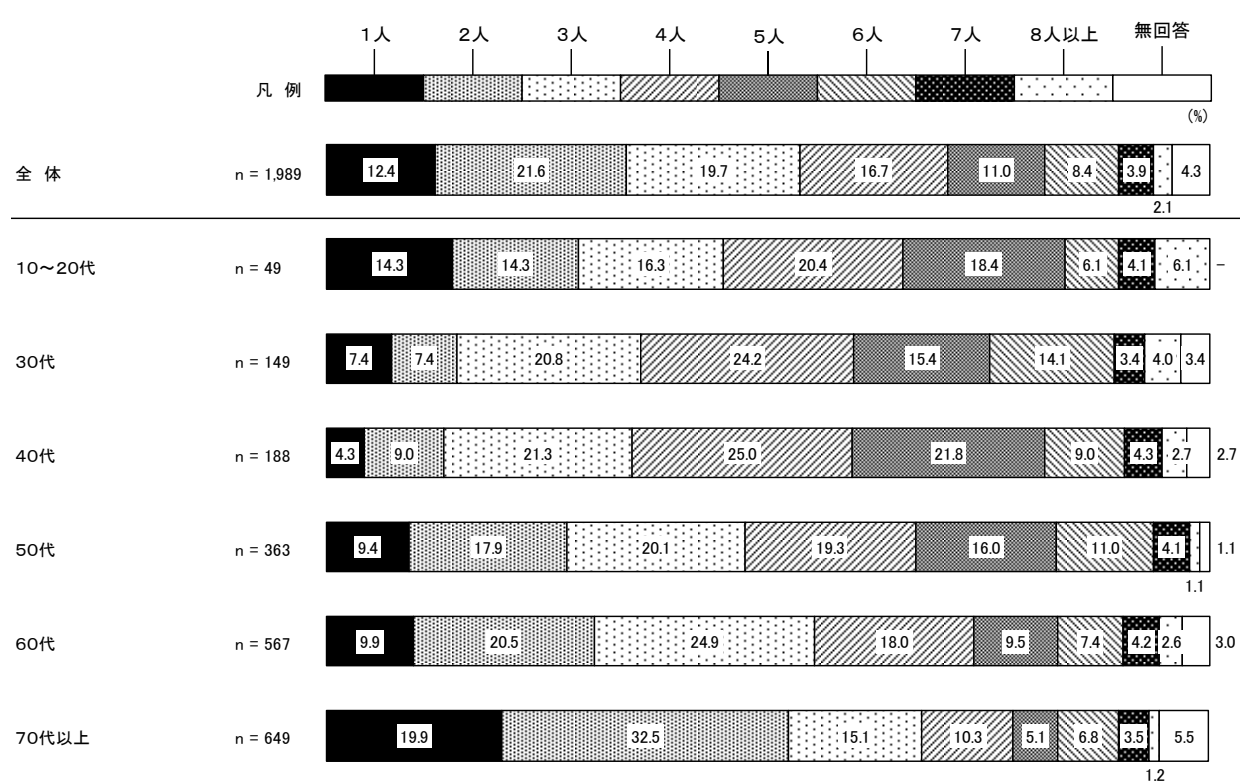


② 震災発生当時の世帯人数

震災発生当時の世帯人数については、「2人」が21.6%と最も高く、次いで「3人」が19.7%、「4人」が16.7%となっている。

回答者の年齢別にみると、「1人」は70代以上（19.9%）、「2人」は70代以上（32.5%）、「3人」は60代（24.9%）、「4人」は30代（24.2%）、40代（25.0%）で、他の年齢と比べて割合が高くなっている。

<図表3-1-1-4 震災発生当時の世帯人数（年齢別）>



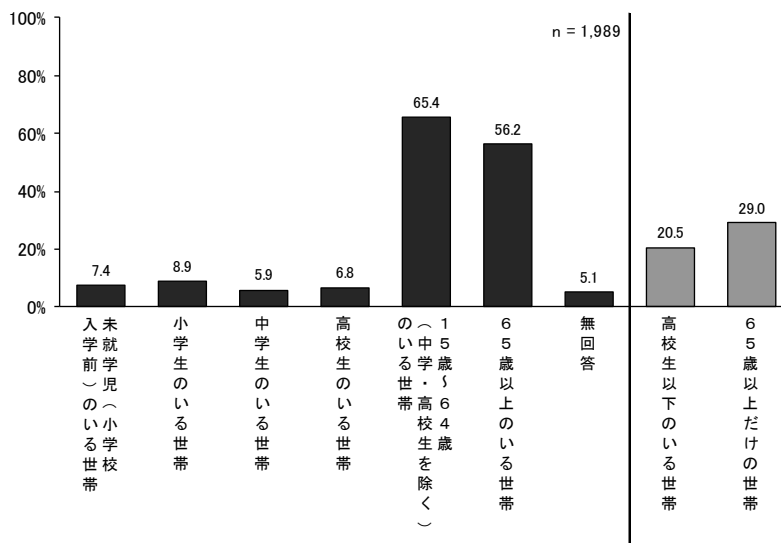
(3) 現在の世帯構成・人数

問8 現在の世帯構成についてうかがいます。現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

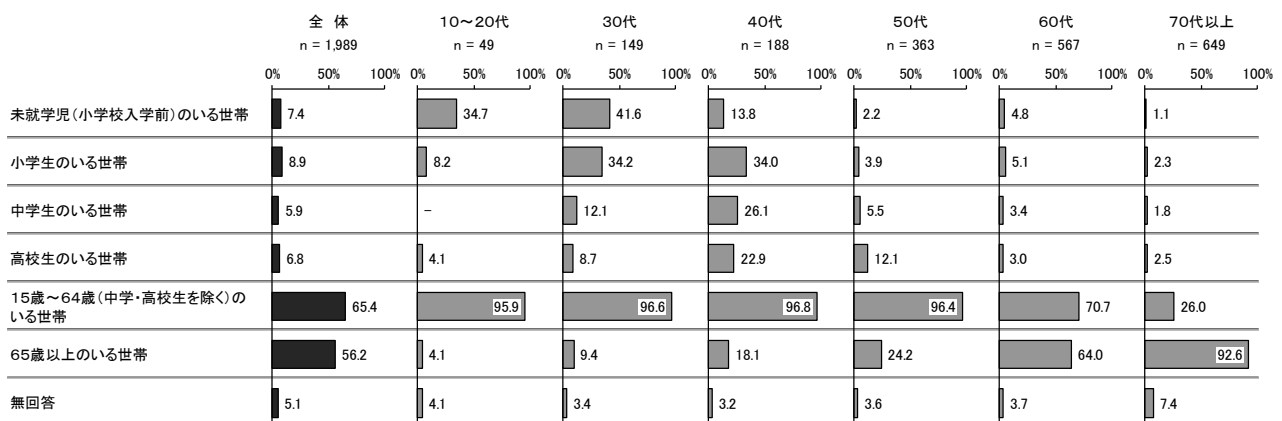
① 現在の世帯構成

現在の世帯構成については、「15歳～64歳（中学・高校生を除く）のいる世帯」が65.4%と最も高く、次いで「65歳以上のいる世帯」が56.2%、「小学生のいる世帯」が8.9%となっている。

<図表3-1-1-5 現在の世帯構成>



<図表3-1-1-6 現在の世帯構成(年齢別)>

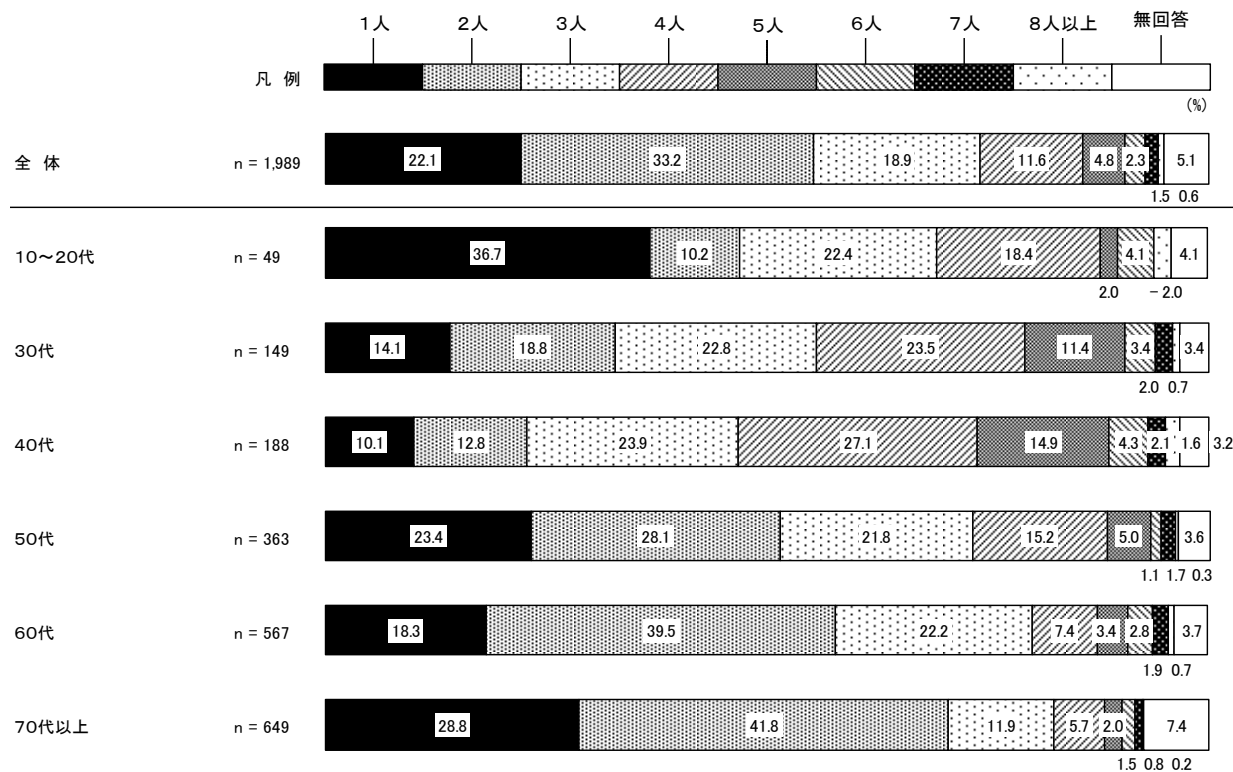


② 現在の世帯人数

現在の世帯人数については、「2人」が33.2%と最も高く、次いで「1人」(22.1%)、「3人」(18.9%)となっている。図表3-1-1-4の震災発生当時の世帯人数と比較すると、震災発生当時より単身世帯の割合が高くなっている。

回答者の年齢別にみると、「1人」は10~20代(36.7%)、「2人」は60代(39.5%)、70代以上(41.8%)で他の年齢と比べて割合が高くなっている。

<図表3-1-1-7 現在の世帯人数(年齢別)>



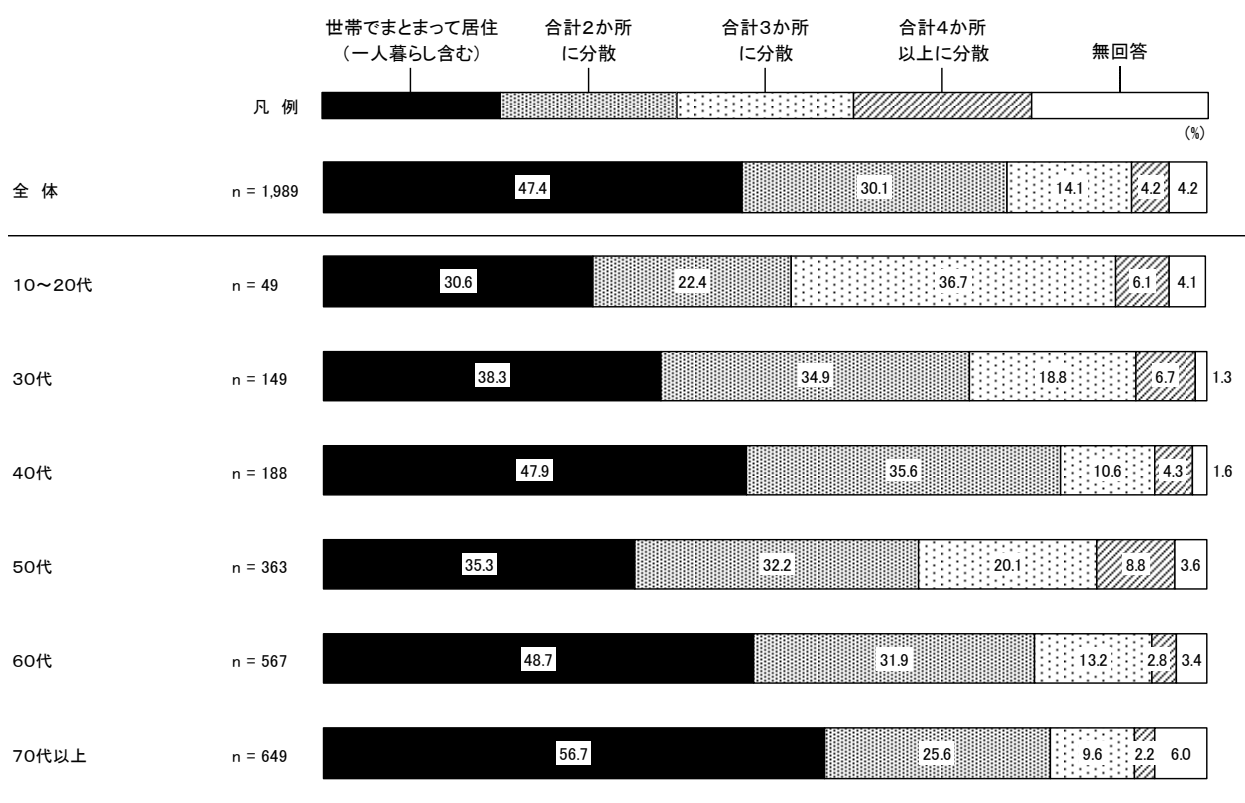
(4) 世帯の分散状況

問9 震災発生当時一緒にお住まいであった家族は、現在、何か所に分散してお住まいですか。(〇は1つ)

震災発生当時の世帯の分散状況については、「世帯でまとまって居住（一人暮らし含む）」(47.4%) が最も高く、次いで「合計2か所に分散」(30.1%)、「合計3か所に分散」(14.1%)と続いており、分散している世帯がほぼ半数となっている(48.4%)。

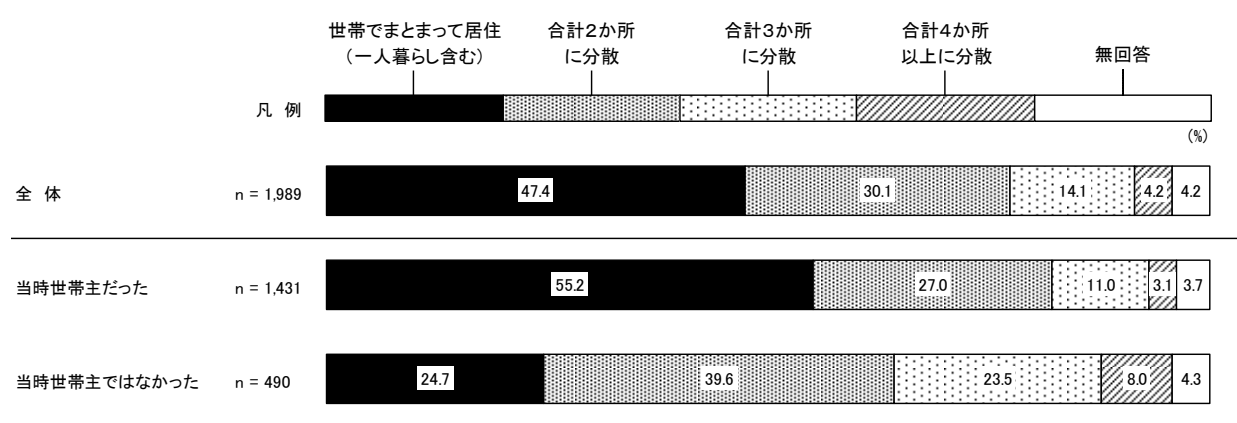
回答者の年齢別にみると、70代以上では「世帯でまとまって居住（一人暮らし含む）」が56.7%と他の年齢に比べて割合が高くなっている。一方、10~20代では「合計3か所に分散」が36.7%と他の年齢と比べて割合が高くなっている。

<図表3-1-1-8 世帯の分散状況（年齢別）>



震災発生当時の世帯での立場別にみると、当時世帯主だった方では「世帯でまとまって居住（一人暮らし含む）」（55.2%）が過半数となっている。一方、当時世帯主ではなかった方では「合計2か所に分散」が39.6%と最も高く、次いで「世帯でまとまって居住（一人暮らし含む）」が24.7%、「合計3か所に分散」が23.5%となっている。

<図表3-1-1-9 世帯の分散状況（震災発生当時の世帯での立場別）>



3-1-2 職業

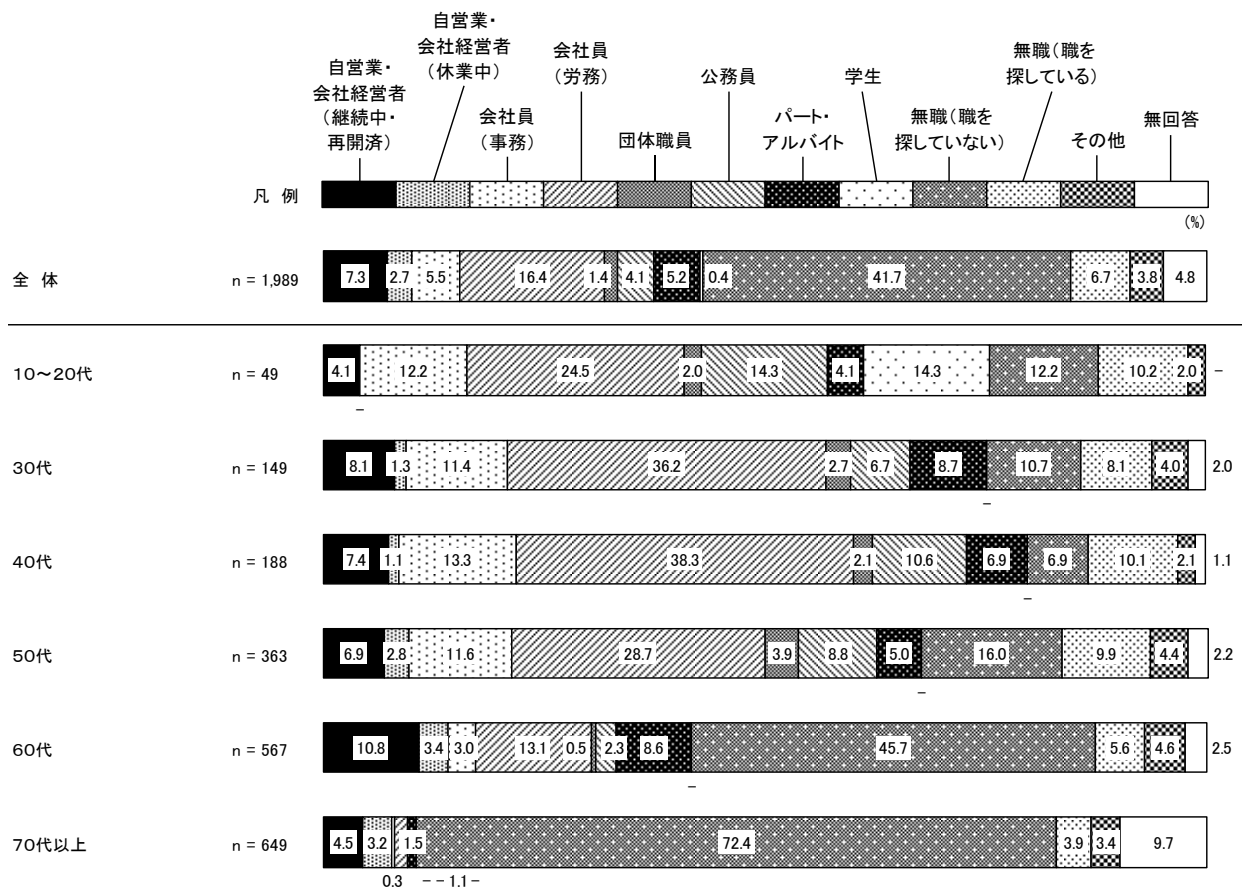
(1) 現在の職業（就業形態）

問10 現在のあなたの職業を教えてください。現在、仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合には、主な収入源になっているものを選択してください。
 (1) 職業（就業形態）(○は1つ)

現在の職業（就業形態）については、「無職（職を探していない・職を探している）」以外では、「会社員（労務）」が16.4%と最も高く、次いで、「自営業・会社経営者（継続中・再開済）」が7.3%、「会社員（事務）」が5.5%となっている。

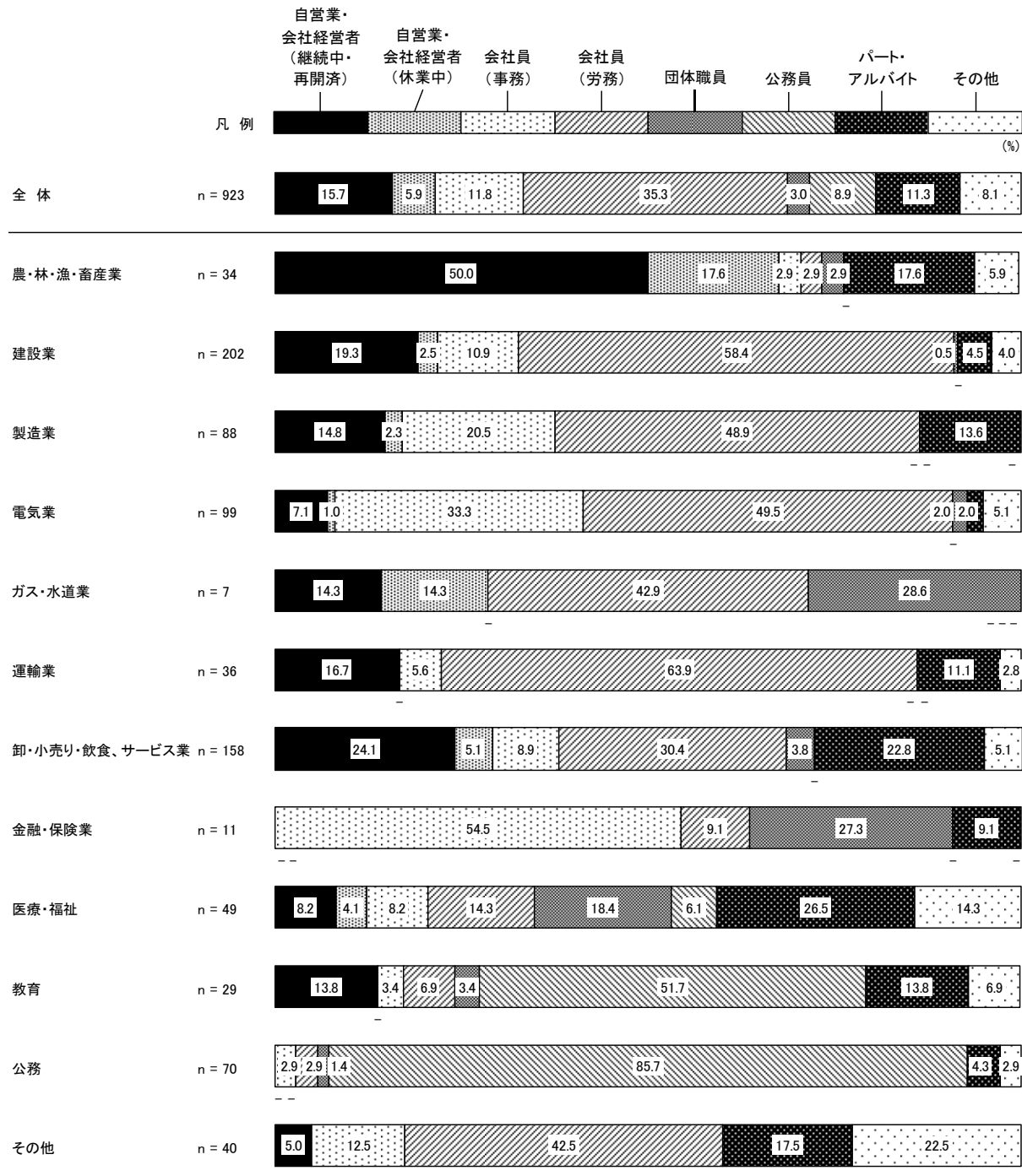
回答者の年齢別にみると、10～20代は「会社員（労務）」が24.5%、30代は「会社員（労務）」が36.2%、40代は「会社員（労務）」が38.3%、50代は「会社員（労務）」が28.7%、60代は「無職（職を探していない）」が45.7%、70代以上は「無職（職を探していない）」が72.4%とそれぞれの年齢で割合が高くなっている。

<図表3-1-2-1 現在の職業（年齢別）>



業種別にみると、建設業、製造業、電気業、運輸業では「会社員（労務）」が他の業種と比べて割合が高くなっている。

<図表3-1-2-2 現在の職業（業種別）>



(2) 現在の業種

問10 現在のあなたの職業を教えてください。現在、仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合には、主な収入源になっているものを選択してください。

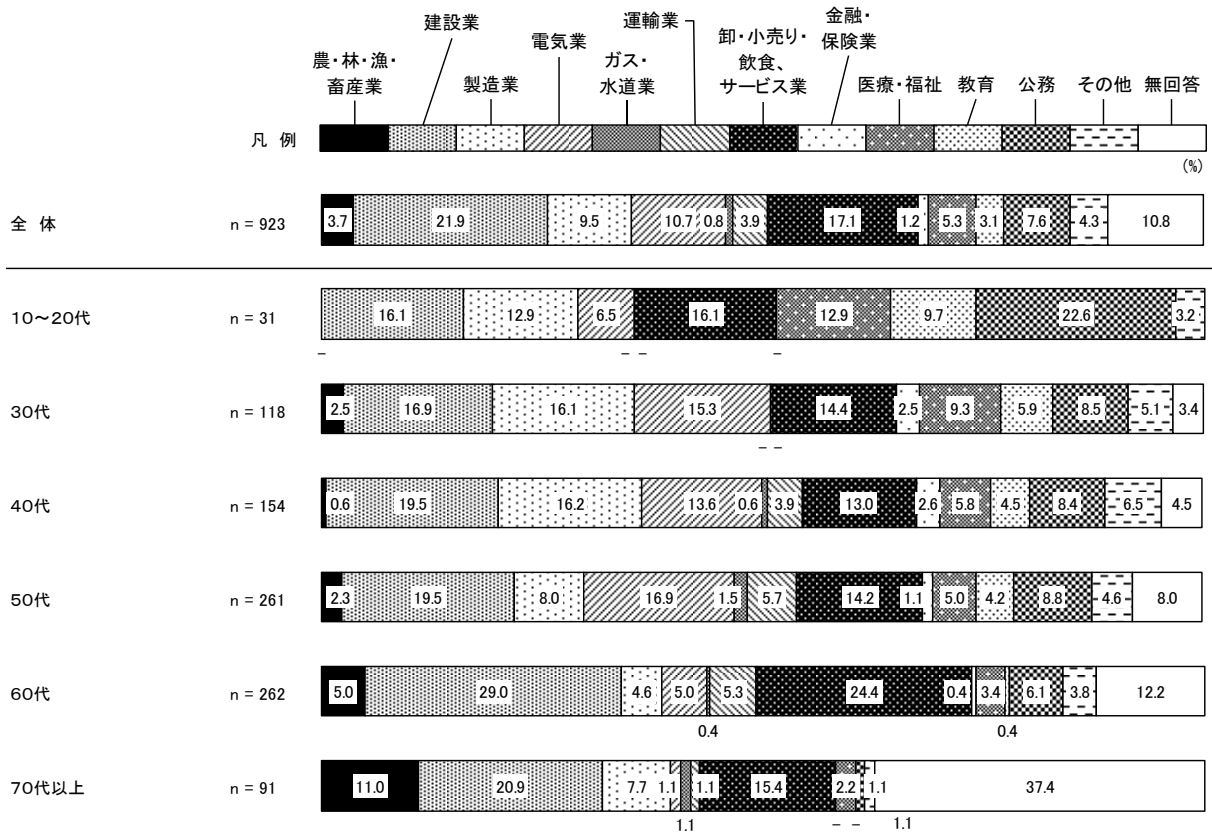
【就業している方にかがいます。】

(2) 業種 (〇は1つ)

現在の業種については、「建設業」が21.9%と最も高く、次いで「卸・小売り・飲食、サービス業」が17.1%、「電気業」が10.7%となっている。

回答者の年齢別にみると、「建設業」60代(29.0%)、「卸・小売り・飲食、サービス業」60代(24.4%)がともに他の年齢に比べて割合が高くなっている。

<図表3-1-2-3 業種(年齢別)>



3-1-3 現在の状況

(1) 現在の檜葉町内での住居形態

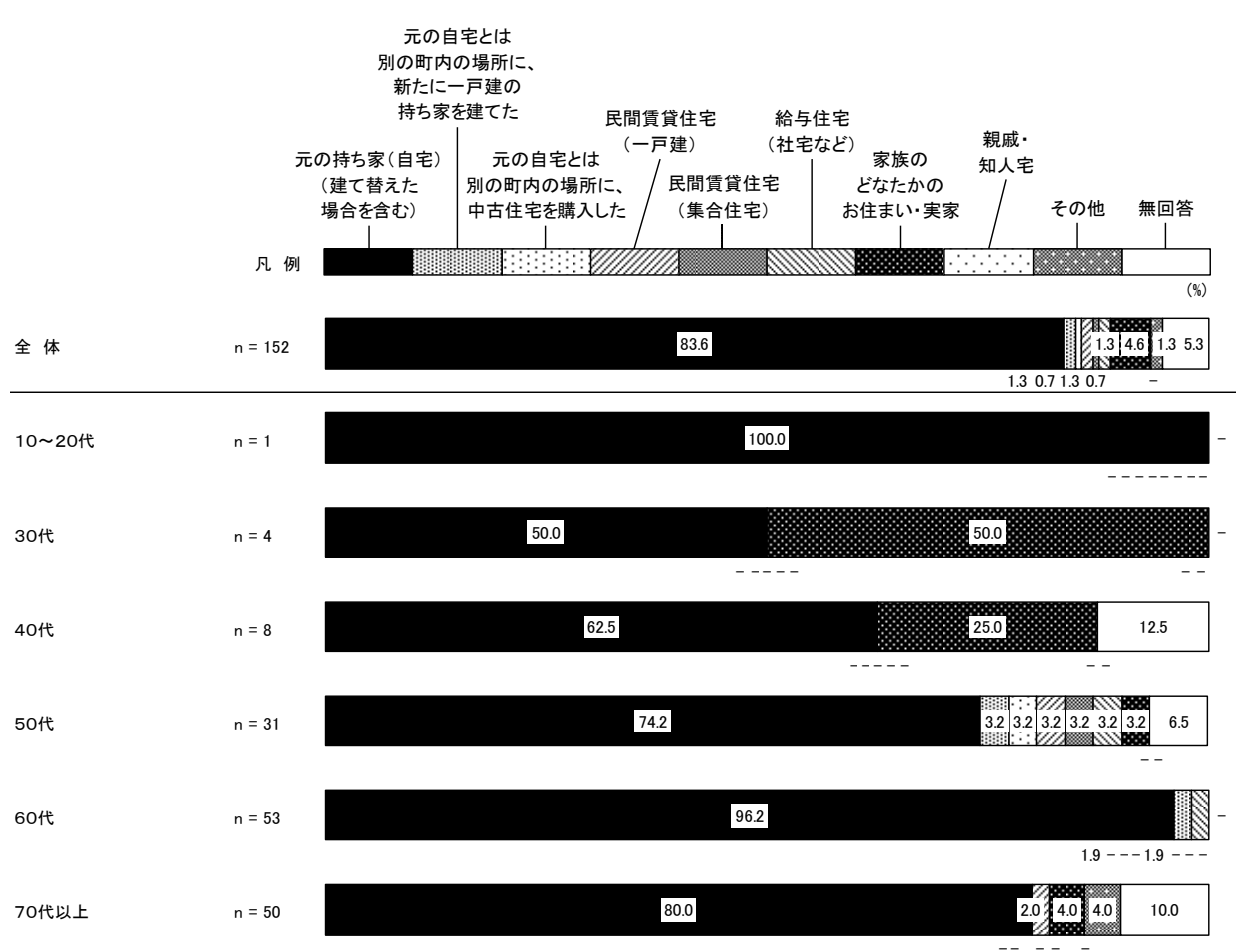
【問13は、問12で、「1 現在、檜葉町に戻っている」と回答した方にうかがいます。】

問13(1) 現在、檜葉町内でお住まいの住宅は、どのような形態ですか。(〇は1つ)

現在の檜葉町内での住居形態については、「元の持ち家(自宅)(建て替えた場合を含む)」が83.6%で8割以上を占めている。

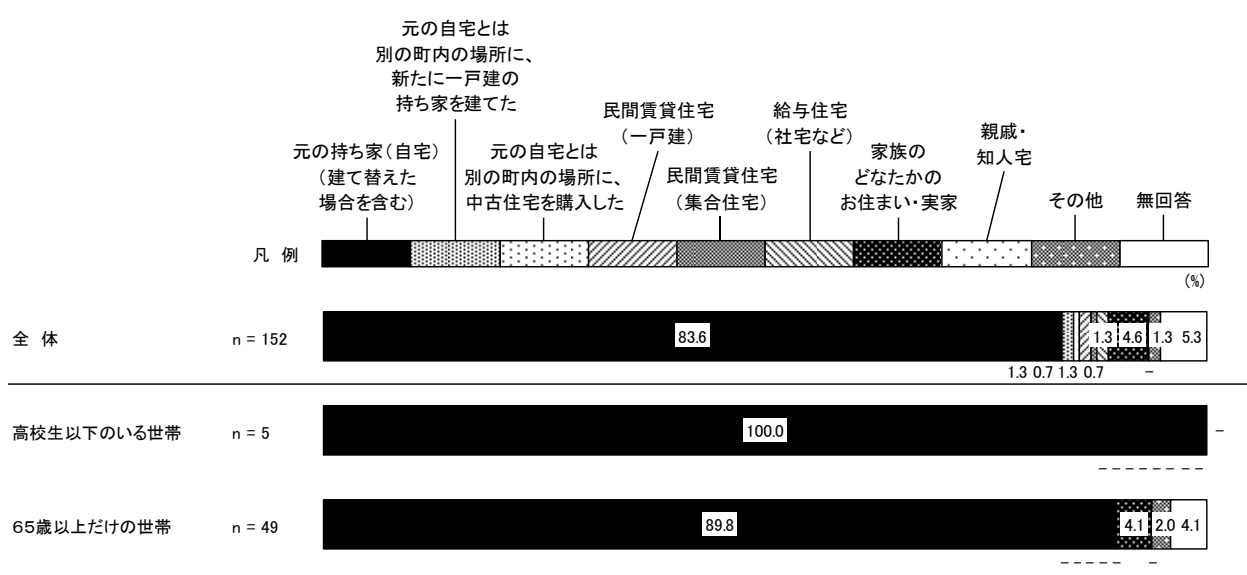
回答者の年齢別にみると、「元の持ち家(自宅)(建て替えた場合を含む)」が概ね年齢が高くなるにつれ割合も高くなり、60代は96.2%となっている。

<図表3-1-3-1 現在の檜葉町内での住居形態(年齢別)>



世帯構成別にみると、いずれの世帯であっても、「元の持ち家（自宅）（建て替えた場合を含む）」が最も高くなっている。

<図表3-1-3-2 現在の檜葉町内での住居形態（世帯構成別）>



(2) 現在の居住自治体

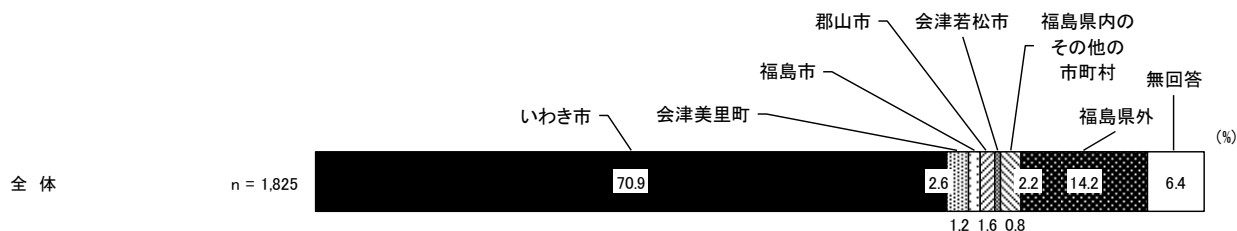
【問14は、問12で、「2」～「5」と回答した方にうかがいます。】

問14(1) あなたが現在お住まいの自治体名を教えてください。(〇は1つ)

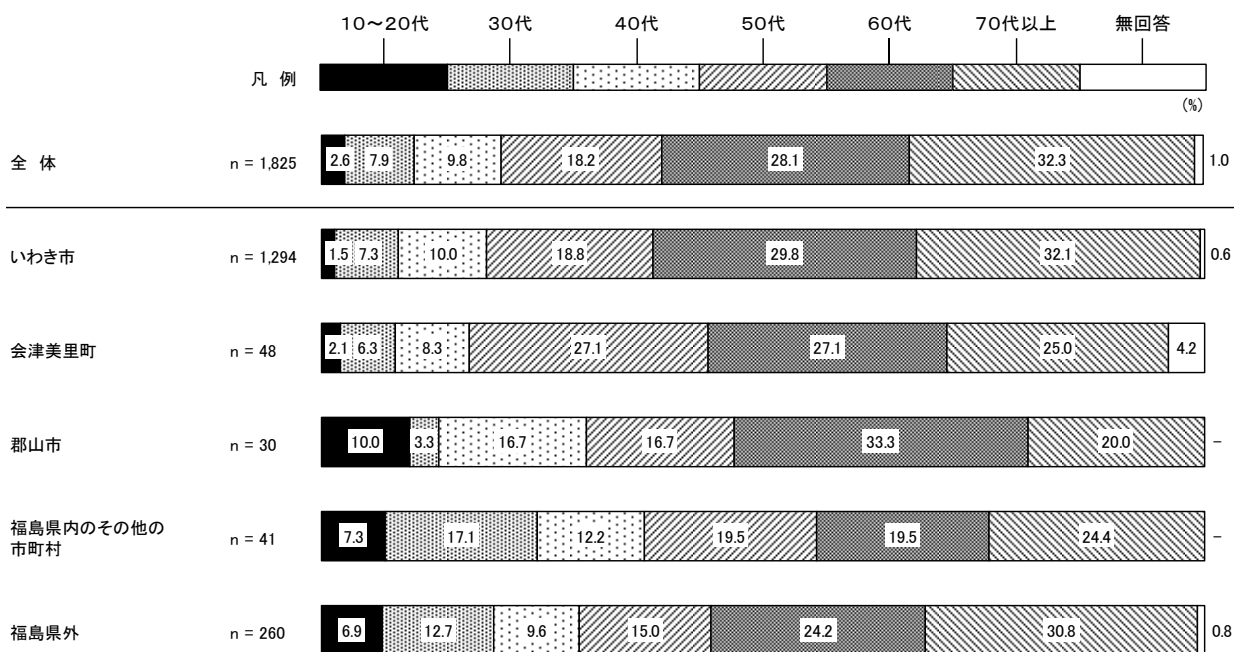
問12で「現在、楡葉町に戻っている」と回答した方以外の現在の居住自治体については、「いわき市」が70.9%と最も高く、次いで「福島県外」が14.2%となっている。

主な現在の居住自治体について回答者の年齢別にみると、「いわき市」は60代以上で約6割を占め、高齢層で割合が高くなっている。

<図表3-1-3-3 現在の居住自治体>



<図表3-1-3-4 主な現在の居住自治体の年齢構成>



震災発生当時の住まいの行政区別にみると、すべての行政区において「いわき市」が最も高くなっている。

<図表3-1-3-5 主な現在の居住自治体（震災発生当時の住まいの行政区別）>

	n	(%)				
		いわき市	会津美里町	郡山市	福島県内のその他の市町村	福島県外
全体	1,825	70.9	2.6	1.6	2.2	14.2
旭ヶ丘	8	62.5	-	-	-	12.5
営団	97	66.0	2.1	5.2	4.1	19.6
乙次郎	1	100.0	-	-	-	-
下井出	123	67.5	0.8	1.6	4.1	19.5
下小埜	211	76.3	0.5	0.5	1.4	14.7
下繁岡	75	72.0	4.0	1.3	1.3	12.0
山所布	1	-	-	-	-	-
山田岡	236	68.6	3.4	2.1	2.1	15.7
山田浜	55	87.3	1.8	-	-	7.3
女平	9	88.9	-	-	-	-
松館	44	75.0	-	-	-	13.6
上井出	291	65.6	5.8	2.7	1.0	15.8
上小埜	102	70.6	2.0	2.0	1.0	12.7
上繁岡	114	75.4	3.5	1.8	2.6	7.9
前原	62	71.0	1.6	-	8.1	12.9
大坂	7	85.7	-	-	-	-
大谷	83	74.7	1.2	-	2.4	12.0
楸木下	2	100.0	-	-	-	-
波倉	54	66.7	3.7	3.7	-	20.4
繁岡	61	78.7	-	1.6	4.9	11.5
北田	147	75.5	2.0	0.7	2.7	10.2
その他	18	22.2	5.6	-	11.1	33.3

(3) 榑葉町以外の居住者の現在の住居形態

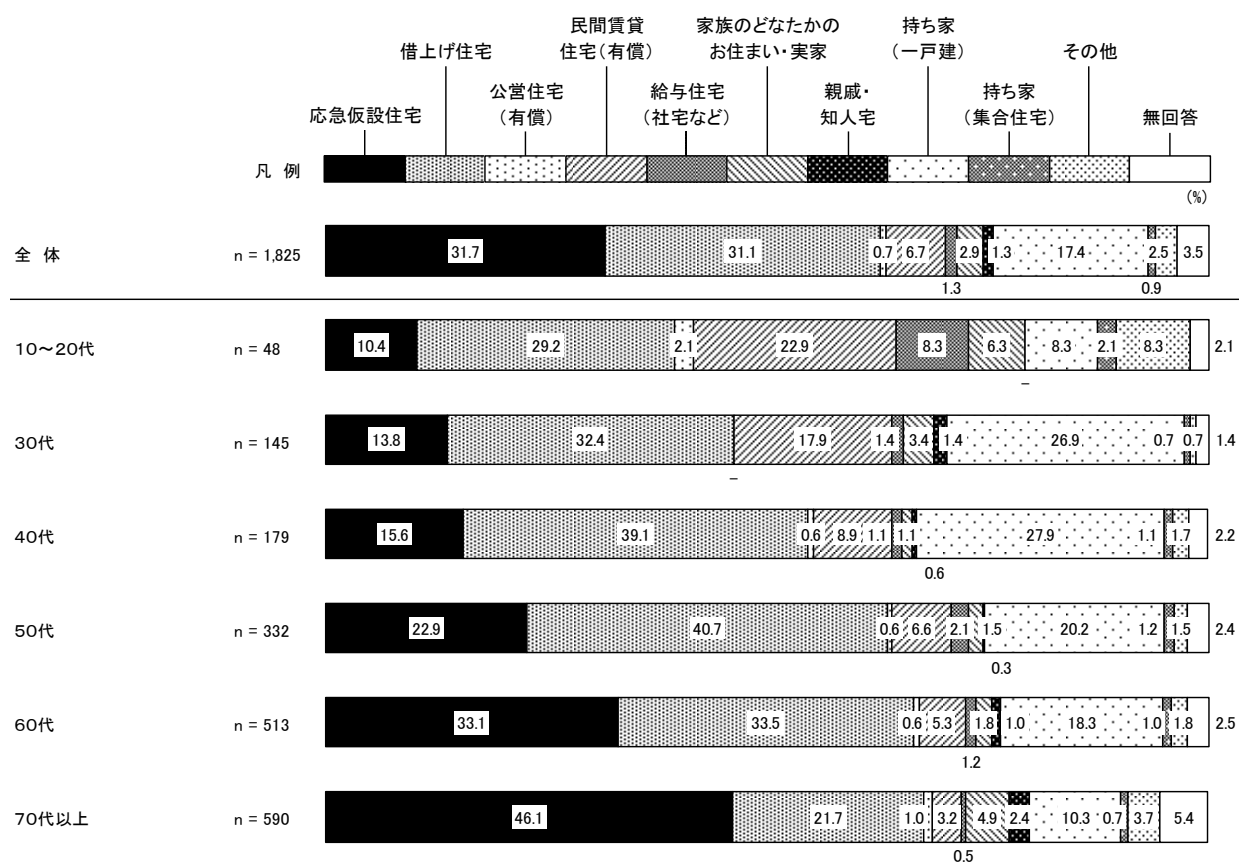
【問14は、問12で、「2」～「5」と回答した方にうかがいます。】

問14(2) 現在お住まいの住居は、どのような住居形態ですか。(〇は1つ)

問12で「現在、榑葉町に戻っている」と回答した方以外の現在の住居形態については、「応急仮設住宅」が31.7%と最も高く、次いで「借上げ住宅」が31.1%、「持ち家（一戸建）」が17.4%となっている。

回答者の年齢別にみると、「民間賃貸住宅（有償）」は若年層で割合が高く、10～20代で22.9%となっている。一方、「応急仮設住宅」は年齢が高くなるにつれ割合が高くなり、70代以上では46.1%となっている。

<図表3-1-3-6 榑葉町以外の居住者の現在の住居形態（年齢別）>

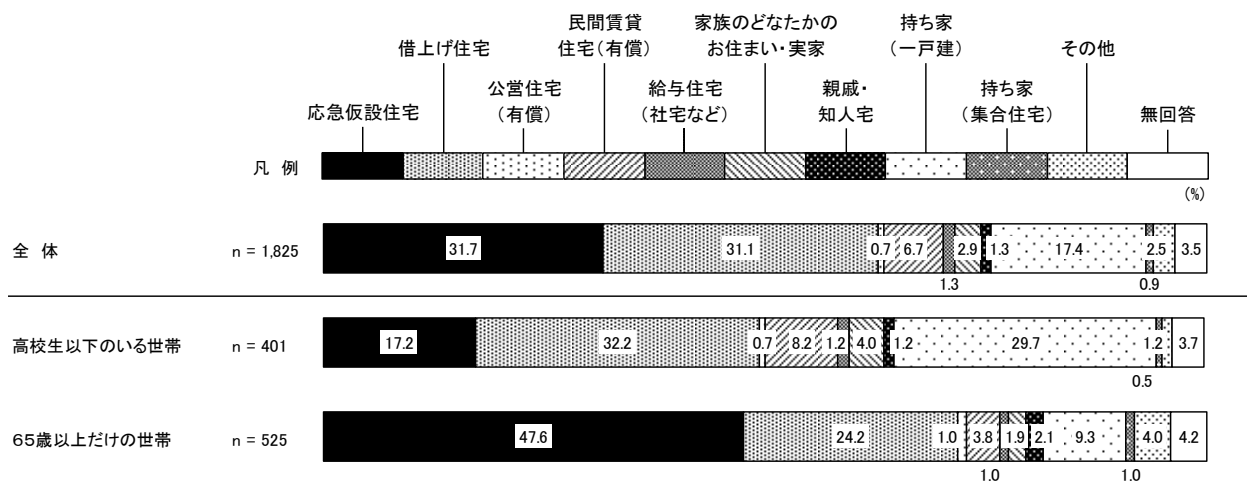


III 調査結果

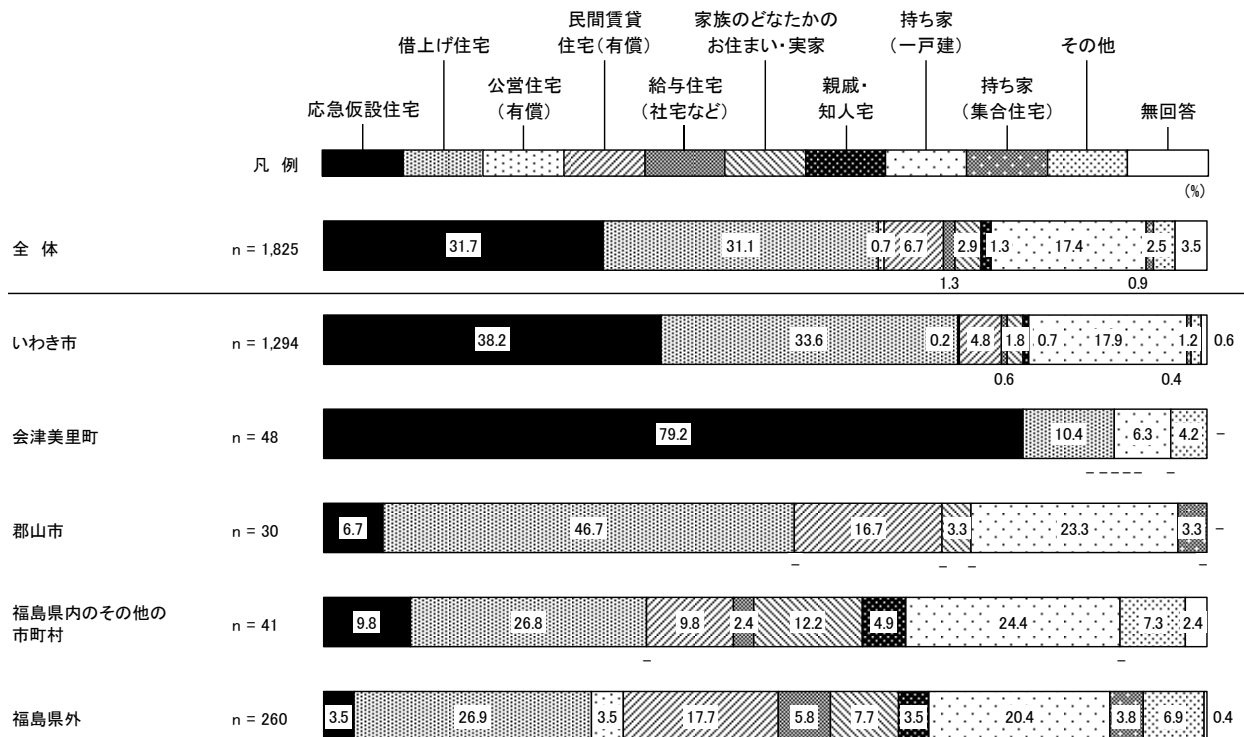
世帯構成別にみると、65歳以上だけの世帯では「応急仮設住宅」が47.6%と最も高くなっている一方、高校生以下のいる世帯では「借上げ住宅」が32.2%と最も高くなっている。

主な現在の居住自治体別にみると、会津美里町で「応急仮設住宅」(79.2%)が特に高くなっている。

<図表3-1-3-7 現柵葉町以外の居住者の現在の住居形態(世帯構成別)>



<図表3-1-3-8 柵葉町以外の居住者の現在の住居形態(主な現在の居住自治体別)>



3-2 震災発生当時の住居形態

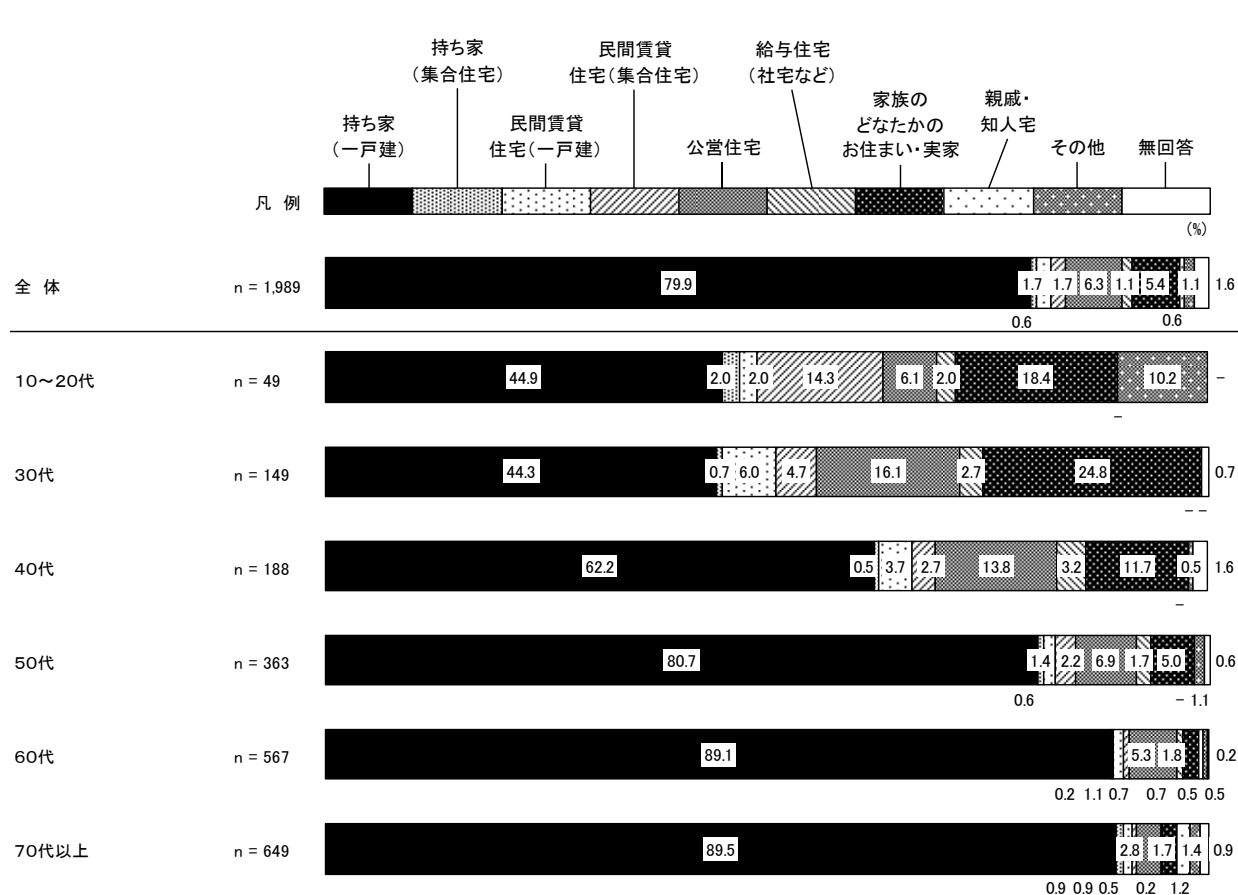
3-2-1 震災発生当時の住居形態

問6 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(〇は1つ)

震災発生当時の住居形態については、「持ち家（一戸建）」が約8割を占めている。

回答者の年齢別にみると、「持ち家（一戸建）」は年齢が高くなるにつれて割合が高くなり、70代以上では89.5%と約9割を占めている。

<図表3-2-1-1 震災発生当時の住居形態（年齢別）>



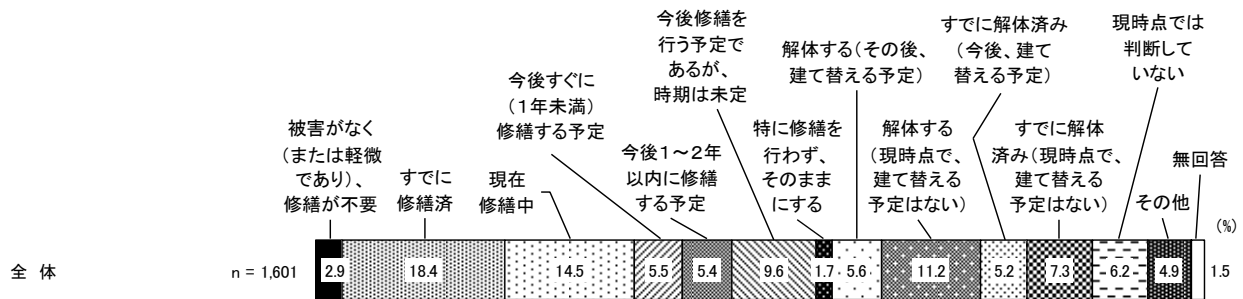
3-2-2 震災発生当時の持ち家の今後の予定

【問6で、「1 持ち家（一戸建）」または「2 持ち家（集合住宅）」と回答した方にかがいます。】

問7 震災発生当時にお住まいだった持ち家（自宅）は、今後どのようにされる予定ですか。（〇は1つ）

震災発生当時の持ち家の今後の予定については、「既に修繕済」が18.4%と最も高く、次いで「現在修繕中」が14.5%、「解体する（現時点で、建て替える予定はない）」が11.2%となっている。

<図表3-2-2-1 震災発生当時の持ち家の今後の予定>



3-3 将来の意向

3-3-1 今後の職業についての意向

(1) 今後の職業についての意向

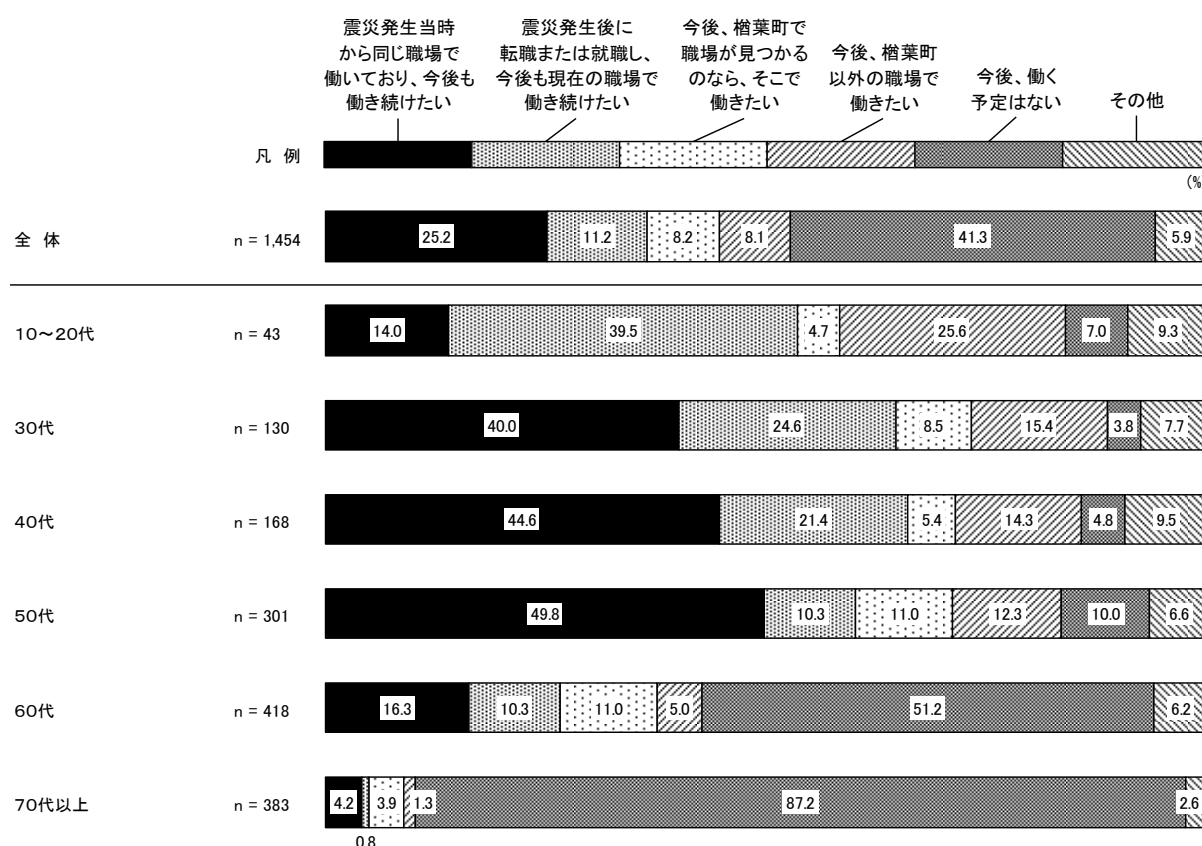
【問11は、震災発生当時の職業が自営業・会社経営者以外（会社員、団体職員、公務員、パート・アルバイト、学生、無職、その他）の方は下記にご回答ください。】

問11(1) 今後の職業について、どのようにお考えですか。(〇は1つ)

震災発生当時の職業が自営業・会社経営者以外だった人の今後の職業についての意向については、「今後、働く予定はない」が41.3%と最も高く、次いで「震災発生当時から同じ職場で働いており、今後も働き続けたい」が25.2%、「震災発生後に転職または就職し、今後も現在の職場で働き続けたい」が11.2%となっている。

回答者の年齢別にみると、30代、40代、50代で「震災発生当時から同じ職場で働いており、今後も働き続けたい」の割合が最も高くなっているが、10~20代では「震災発生後に転職または就職し、今後も現在の職場で働き続けたい」(39.5%)の割合が最も高くなっている。

<図表3-3-1-1 今後の職業についての意向（自営業・会社経営者以外）（年齢別）>

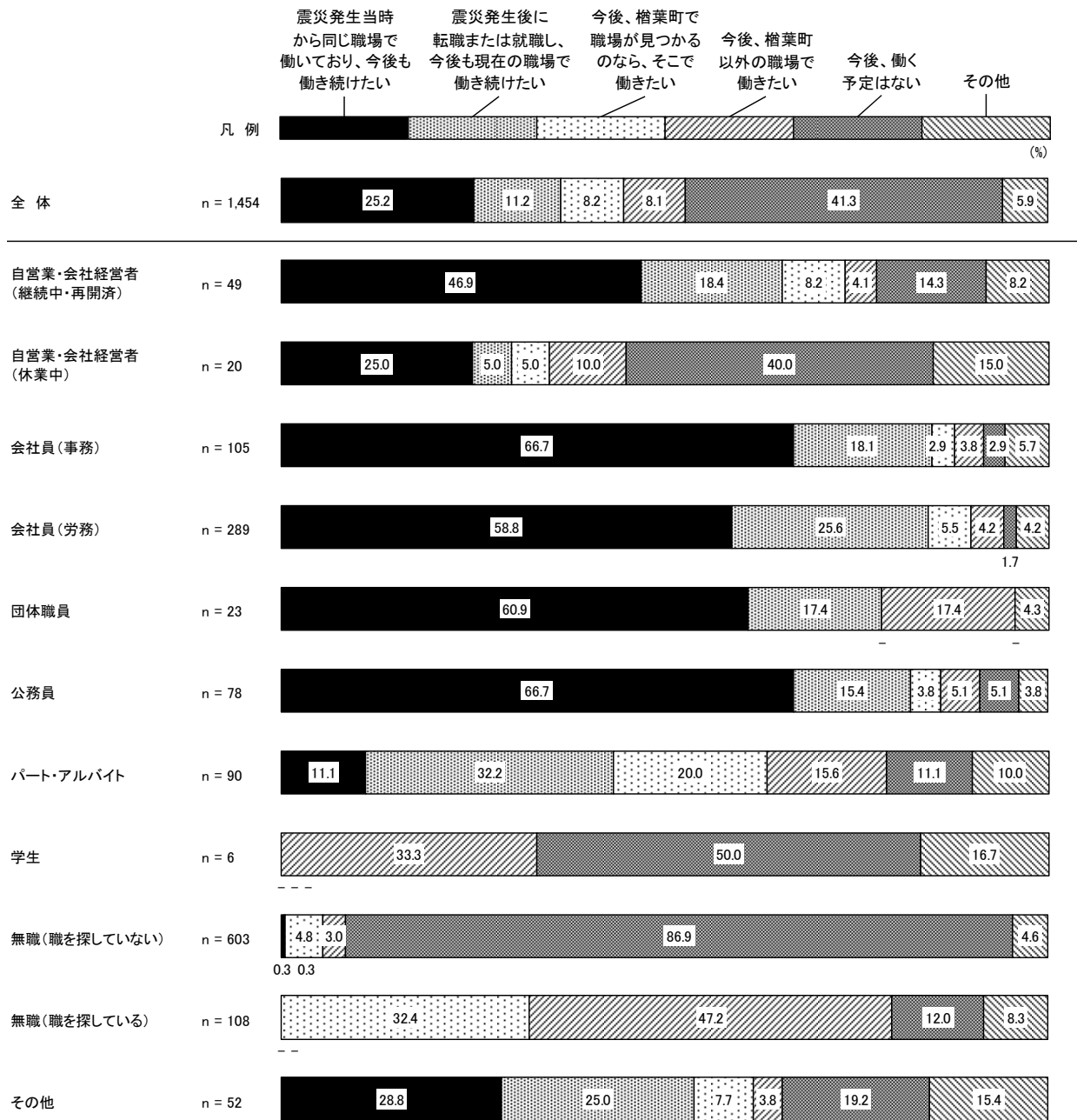


III 調査結果

職業別にみると、「震災発生当時から同じ職場で働いており、今後も働き続けたい」は会社員（事務）（66.7%）、会社員（労務）（58.8%）、公務員（66.7%）で5割以上であり、他の職業に比べて割合が高くなっている。

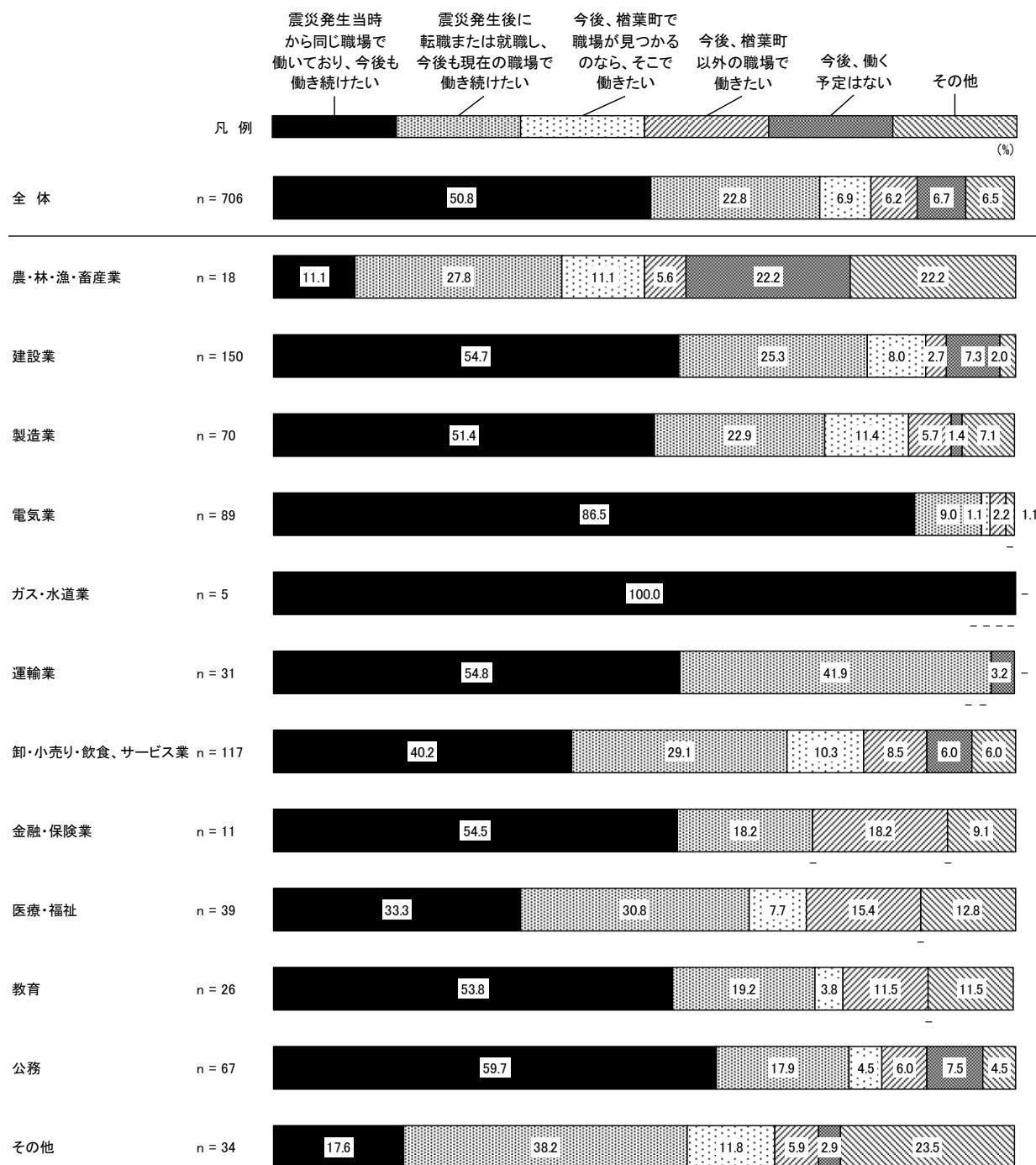
また「今後、榊葉町で職場が見つかるのなら、そこで働きたい」はパート・アルバイト（20.0%）、無職（職を探している）（32.4%）が他の職業に比べて割合が高くなっている。

＜図表3-3-1-2 今後の職業についての意向（自営業・会社経営者以外）（職業別）＞



業種別にみると、「震災発生当時から同じ職場で働いており、今後も働き続けたい」は電気業（86.5%）が他の業種に比べて割合が高くなっている。一方、「震災発生後に転職または就職し、今後も現在の職場で働き続けたい」は運輸業（41.9%）が他の業種に比べて割合が高くなっている。

<図表3-3-1-3 今後の職業についての意向（自営業・会社経営者以外）（業種別）>



(2) 檜葉町内で求職や就労する際の支障や希望する支援策

【問11(1)で、「3 今後、檜葉町で職場が見つかるのなら、そこで働きたい」と回答した方にうかがいます。】

問11(2) 今後、町内で職場を探し、仕事をする上で何か支障となること、支援策として事業者や行政に望むことがありましたら、自由なお考えをご回答ください。

檜葉町内で求職や就労する際の支障や希望する支援策について、代表的な意見は以下のとおり。

[檜葉町内で求職や就労する際の支障や希望する支援策]

- 檜葉町民に対する求人数の増加。(30代)
- 檜葉町での就職にあたり、現在の居住地からの交通アクセス。(30代)
- 賃金や福利厚生充実。(40代)
- 町内で継続して働ける環境整備。企業の積極的な誘致と紹介。(40代)
- 安定した産業の立案(次世代免疫制御による拠点や核融合発電所等)。(40代)
- 年齢に伴う希望の収入金額の確保。(50代)
- 安心して就労するための除染。(50代)
- 高齢者が安心して働ける環境を整備。公営住宅の整備。(50代)
- 中高年の雇用拡大。(50代)
- 農業従事のための農地除染。(50代)
- 子どもと介護が必要な親が居る為、檜葉に戻っての仕事が困難。(50代)
- 自営業での顧客も避難し、自営再開は困難(50代)
- 資格の所有にかかわらず、年齢による雇用問題。(60代)
- 除染による環境整備。(60代)
- 雇用にかかる情報量の増加。(60代)
- 定年後も再就職出来る企業の誘致。(60代)
- 会社寮の整備。(60代)

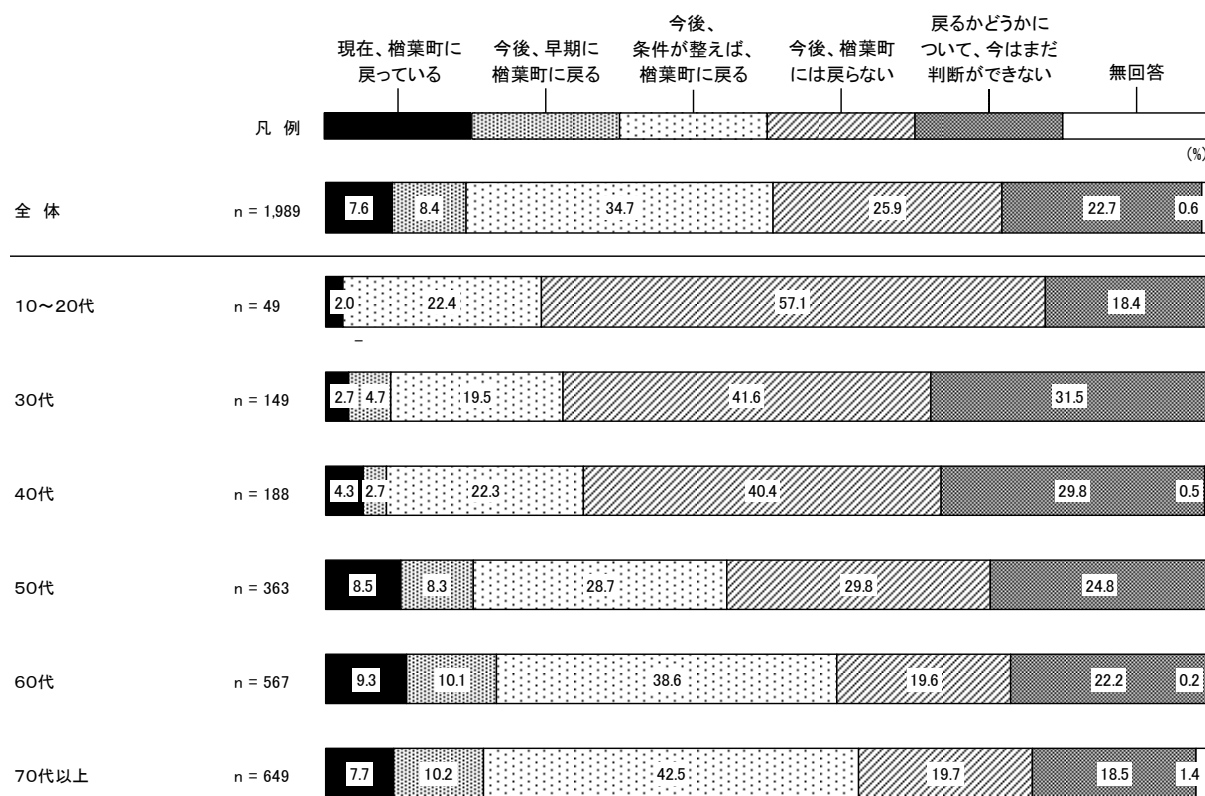
3-3-2 榑葉町への帰還意向

問12 今後のお住まいについて、どのようにお考えですか。(〇は1つ)

榑葉町への帰還意向については、「現在、榑葉町に戻っている」が7.6%、「今後、早期に榑葉町に戻る」が8.4%、「今後、条件が整えば、榑葉町に戻る」が34.7%で、ほぼ半数の方が「戻っている」、「戻る」と回答している。

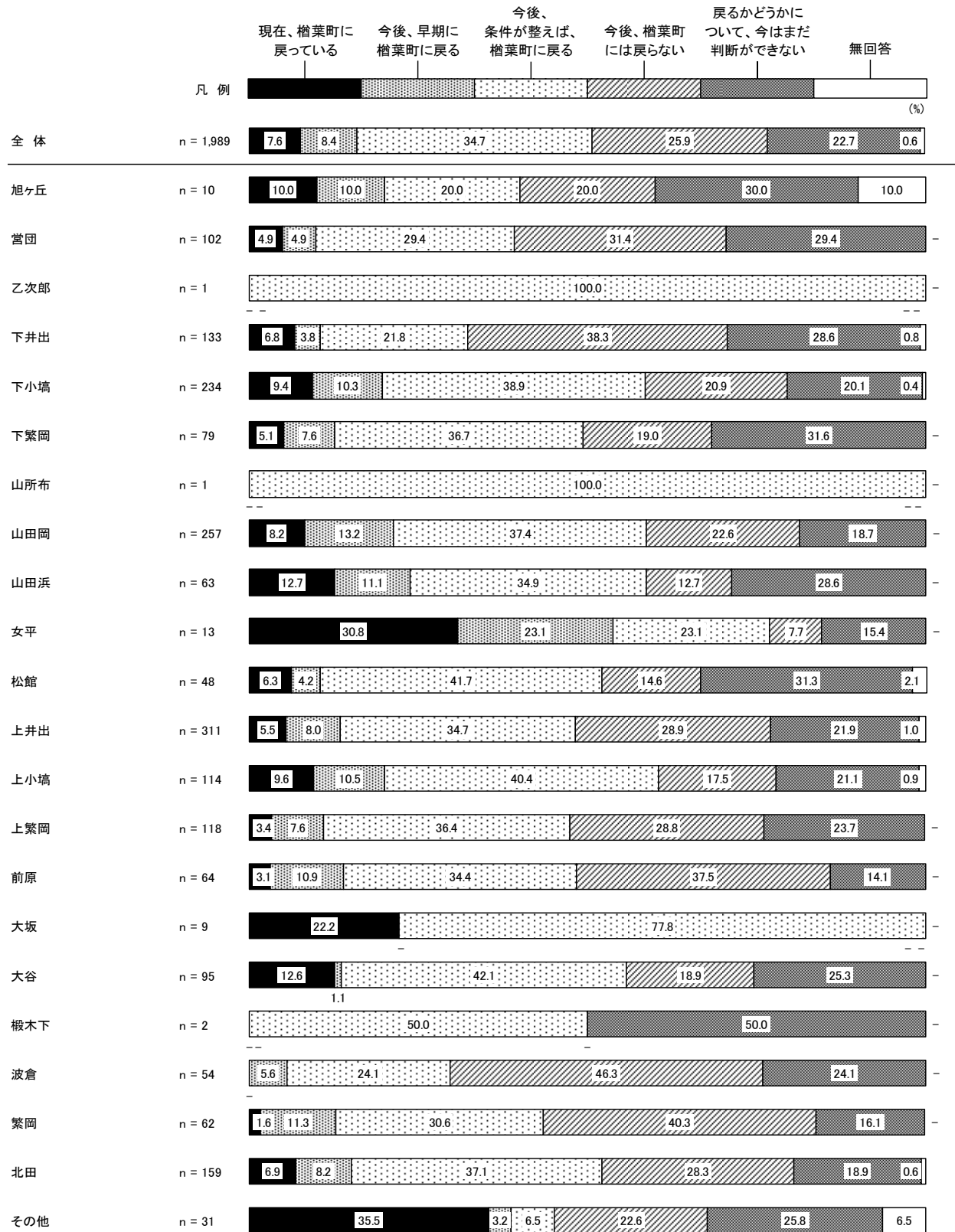
回答者の年齢別にみると、「今後、条件が整えば、榑葉町に戻る」は年齢が高くなるにつれて割合が高くなっている。一方、「今後、榑葉町には戻らない」は年齢が低くなるにつれて割合が高くなっている。また、「戻るかどうかについて、今はまだ判断ができない」は30代、40代が高くなっている。

<図表3-3-2-1 榑葉町への帰還意向(年齢別)>



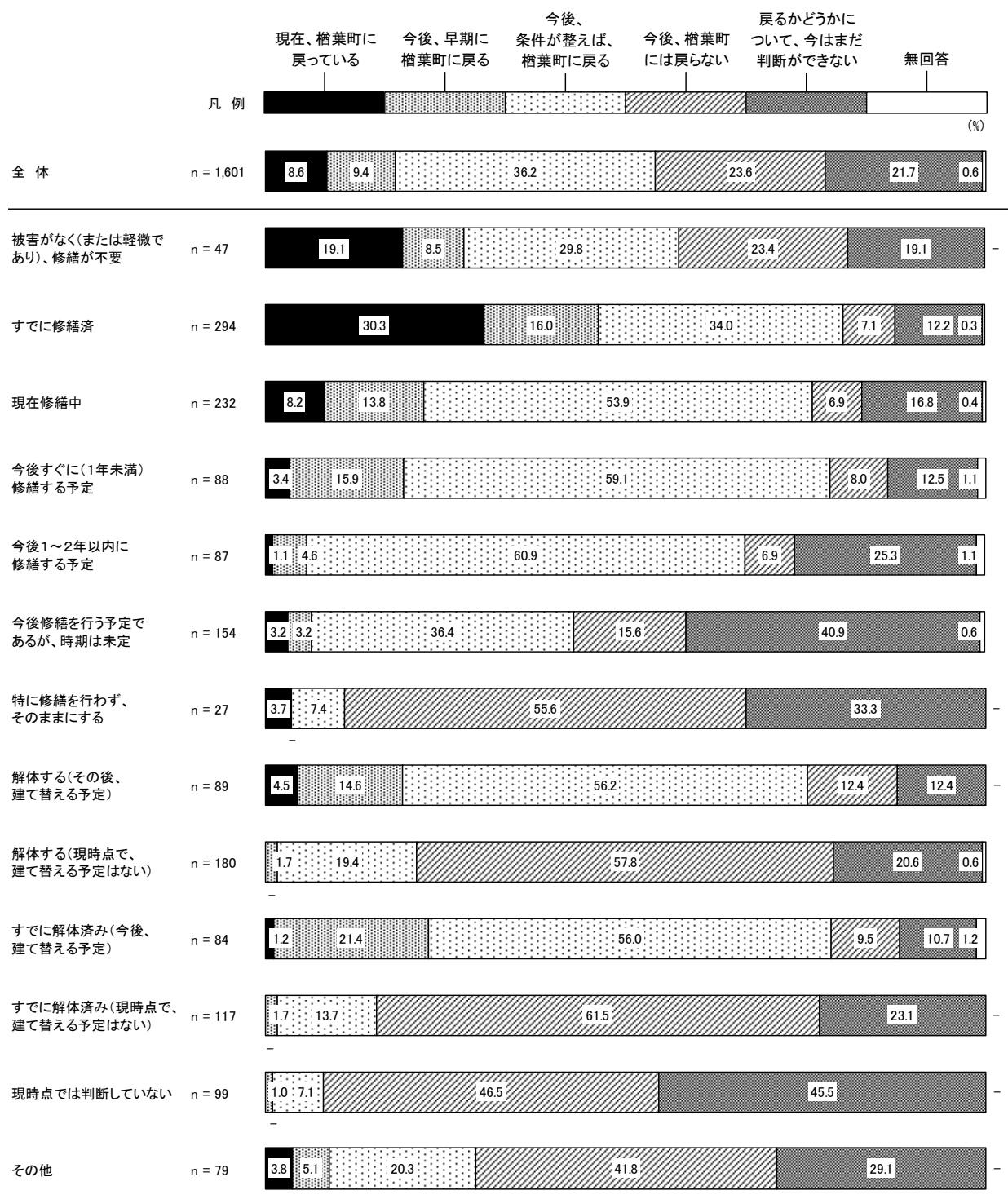
震災発生当時の住まいの行政区別に見ると、「今後、条件が整えば、榑葉町に戻る」が3割程度の行政区が多数を占めている。

<図表3-3-2-2 榑葉町への帰還意向（震災発生当時の住まいの行政区別）>



自宅修繕の進捗状況別にみると、「今後、条件が整えば、榎葉町に戻る」の割合は、今後1～2年以内に修繕する予定(60.9%)、今後すぐに(1年未満)に修繕する予定(59.1%)、解体する(その後、建て替える予定)(56.2%)、すでに解体済み(今後、建て替える予定)(56.0%)、現在修繕中(53.9%)で他の修繕の進捗状況と比較して割合が高くなっている。

<図表3-3-2-3 榎葉町への帰還意向(自宅修繕の進捗状況別)>

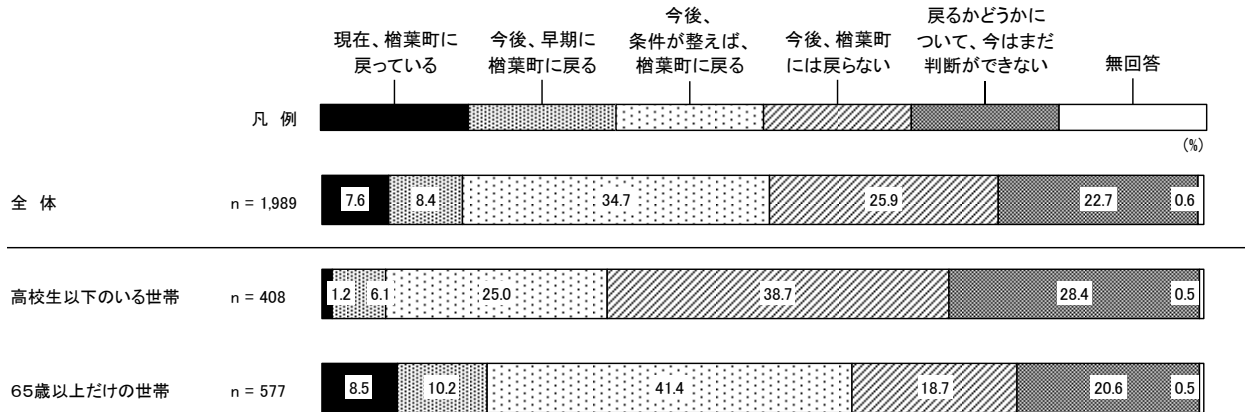


III 調査結果

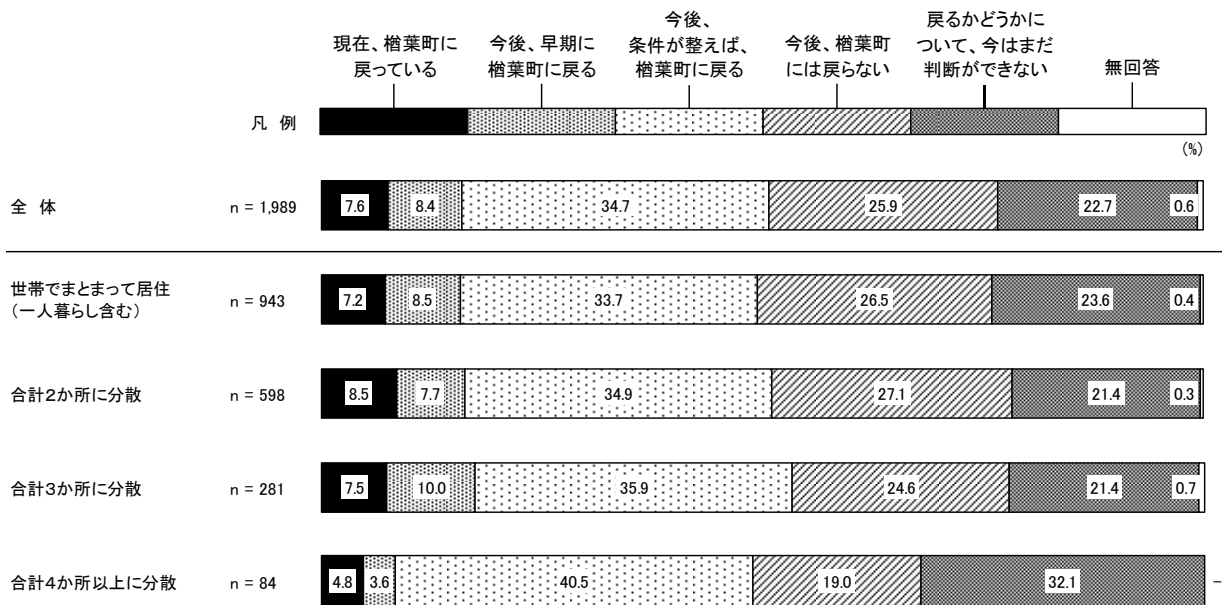
世帯構成別にみると、65歳以上だけの世帯では「現在、榎葉町に戻っている」と「今後、早期に榎葉町に戻る」と「今後、条件が整えば、榎葉町に戻る」が合わせて60.1%となっている。一方、高校生以下のいる世帯では「榎葉町には戻らない」が38.7%となっている。

世帯の分散状況別にみると、どの分散状況においても「今後、条件が整えば、榎葉町に戻る」の割合が最も高くなっている。

<図表3-3-2-4 榎葉町への帰還意向（世帯構成別）>

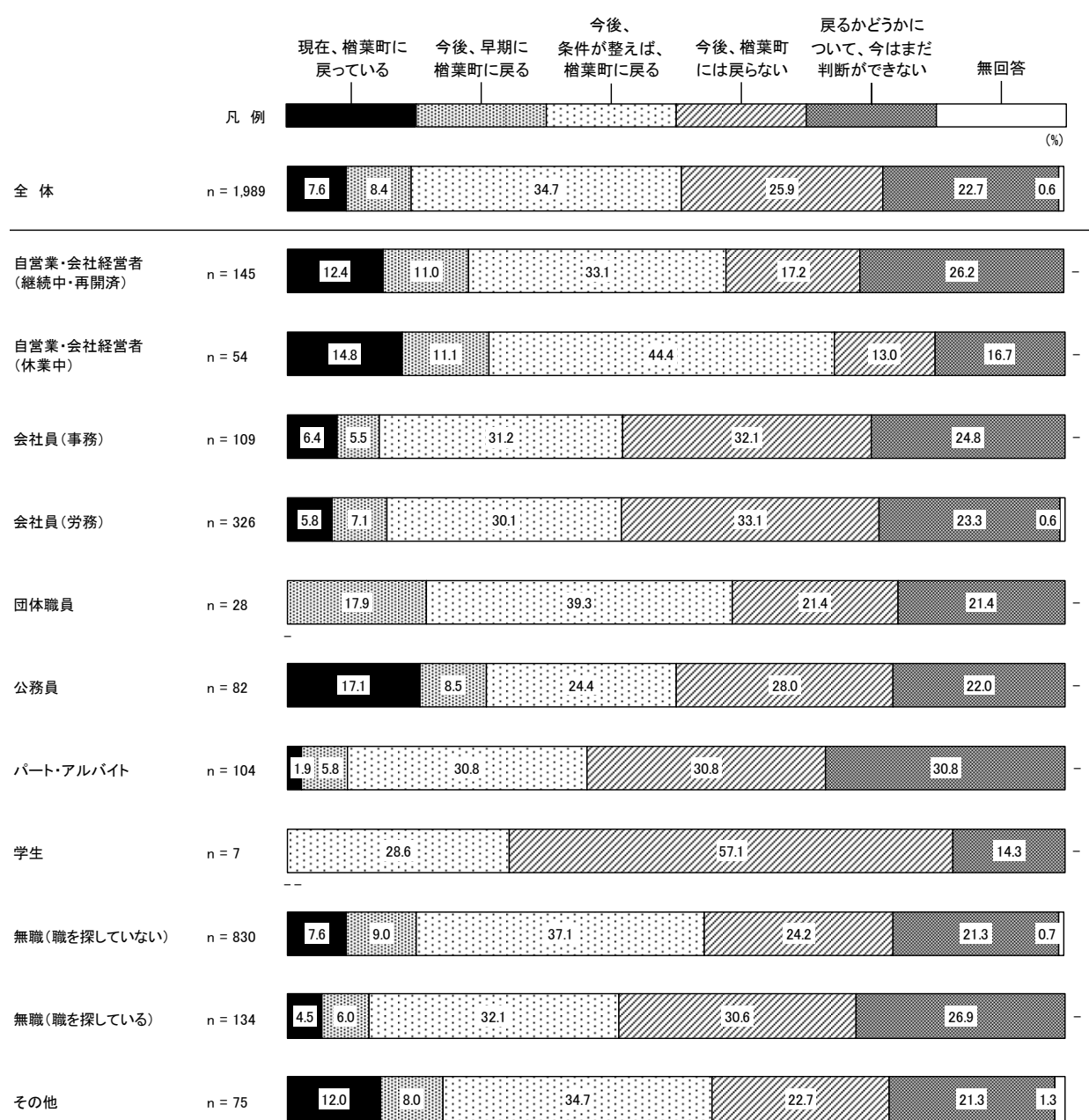


<図表3-3-2-5 榎葉町への帰還意向（世帯の分散状況別）>



職業別にみると、「今後、条件が整えば、榎葉町に戻る」は自営業・会社経営者（休業中）（44.4%）が他の職業に比べて割合が高くなっている。一方、「今後、榎葉町には戻らない」は会社員（労務）（33.1%）、会社員（事務）（32.1%）が他の職業に比べて割合が高くなっている。

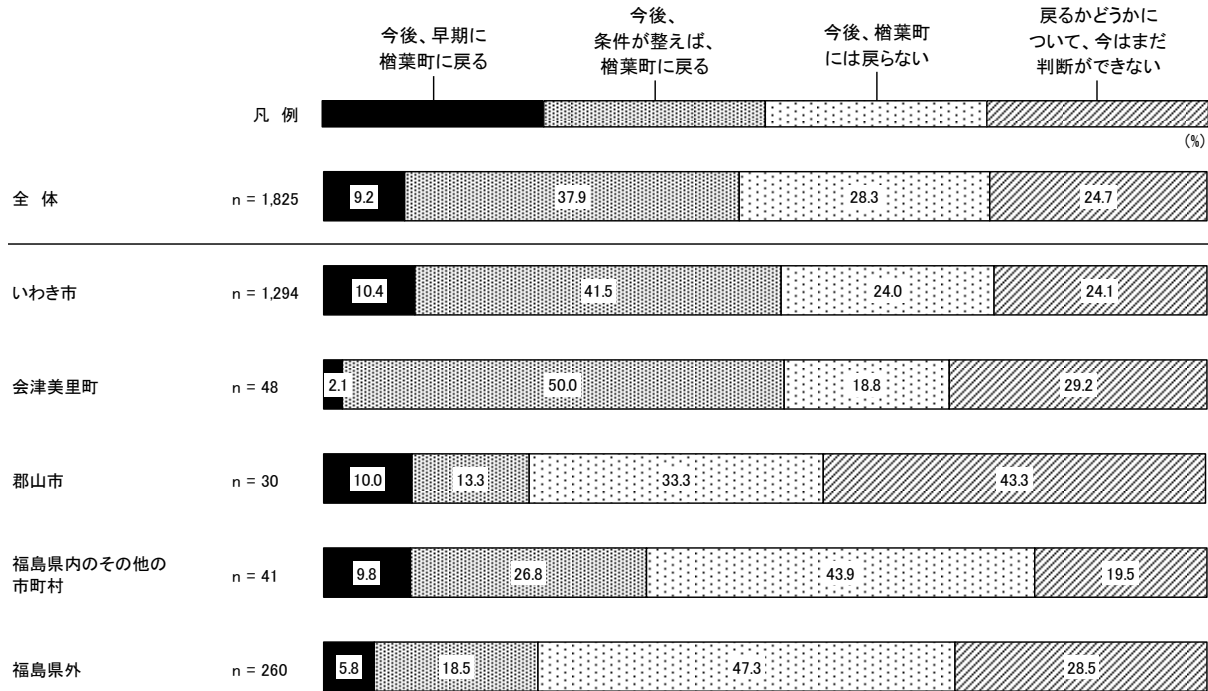
<図表3-3-2-6 榎葉町への帰還意向（職業別）>



III 調査結果

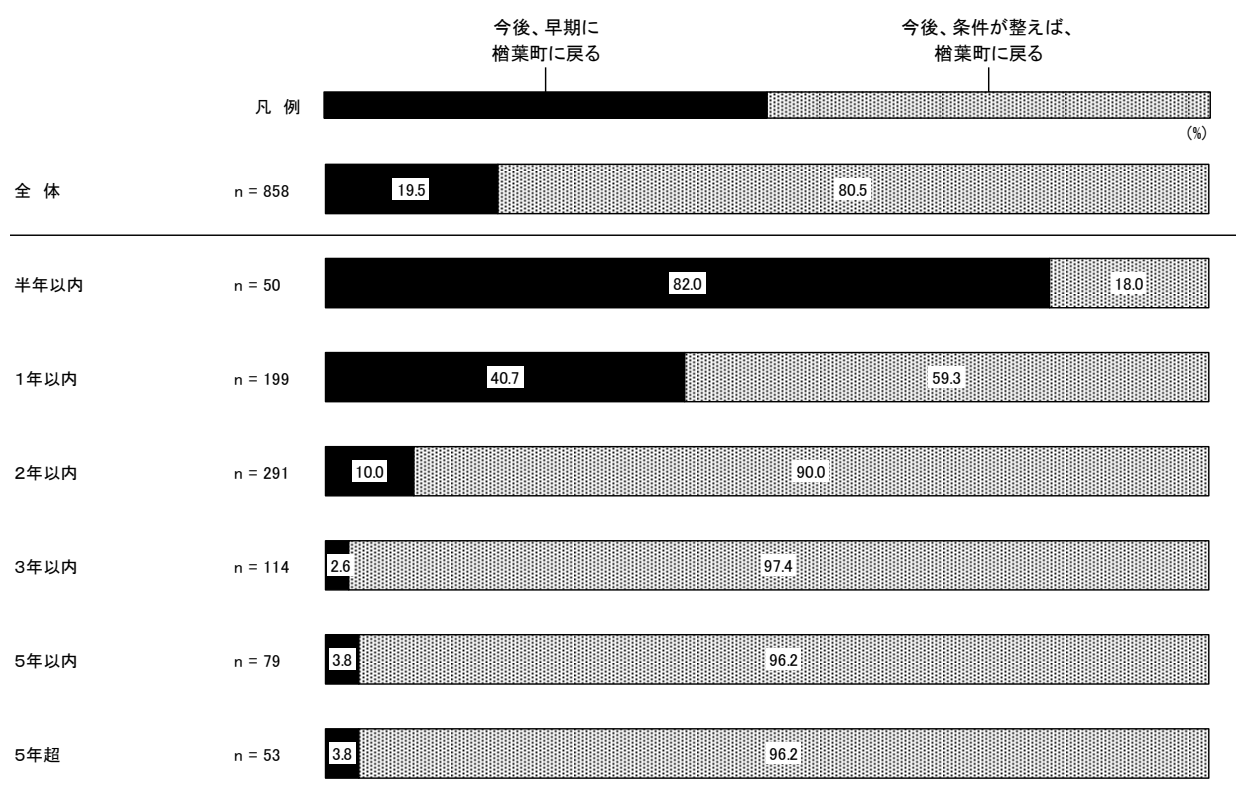
主な現在の居住自治体別にみると、「今後、早期に榊葉町に戻る」はいわき市では 10.4%、郡山市では 10.0%、福島県内のその他の市町村では 9.8%となっている。また、「今後、条件が整えば、榊葉町に戻る」はいわき市で 41.5%、会津美里町で 50.0%と他の自治体に比べて割合が高くなっている。一方、「今後、榊葉町には戻らない」は福島県外で 47.3%となっている。

<図表3-3-2-7 榊葉町への帰還意向（主な現在の居住自治体別）>



檜葉町への帰還時期別にみると、半年以内では「今後、早期に檜葉町に戻る」が約8割を占めているが、2年以内、3年以内、5年以内、5年超では「今後、条件が整えば、檜葉町に戻る」がほとんどの割合を占めている。

<図表3-3-2-8 檜葉町への帰還意向（檜葉町への帰還時期別）>



3-3-3 榑葉町内での今後の生活において求める支援

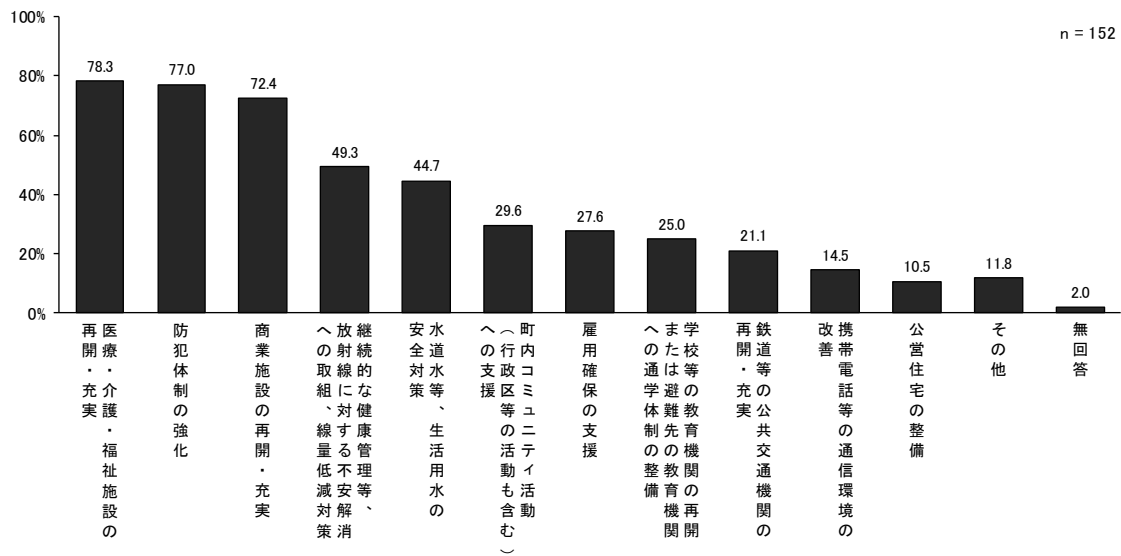
(1) 榑葉町内での今後の生活において求める支援

【問13は、問12で、「1 現在、榑葉町に戻っている」と回答した方にうかがいます。】

問13(2) 榑葉町内での今後の生活において、行政にどのような支援を望みますか。(〇はいくつでも)

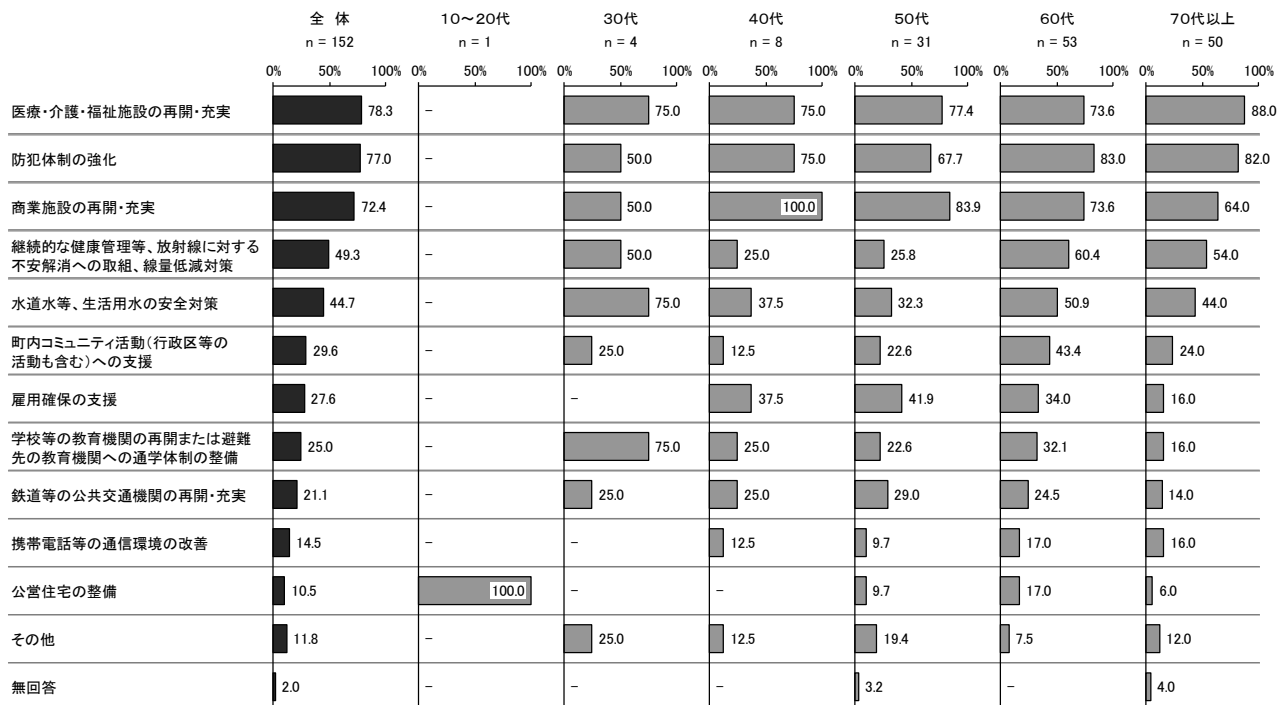
榑葉町内での今後の生活において求める支援については、「医療・介護・福祉施設の再開・充実」(78.3%)が最も高く、次いで「防犯体制の強化」(77.0%)、「商業施設の再開・充実」(72.4%)となっている。

<図表3-3-3-1 榑葉町内での今後の生活において求める支援>



回答者の年齢別にみると、70代以上では「医療・介護・福祉施設の再開・充実」が88.0%、60代では「防犯体制の強化」が83.0%、50代では「商業施設の再開・充実」が83.9%で最も高くなっている。

<図表3-3-3-2 檜葉町内での今後の生活において求める支援（年齢別）>



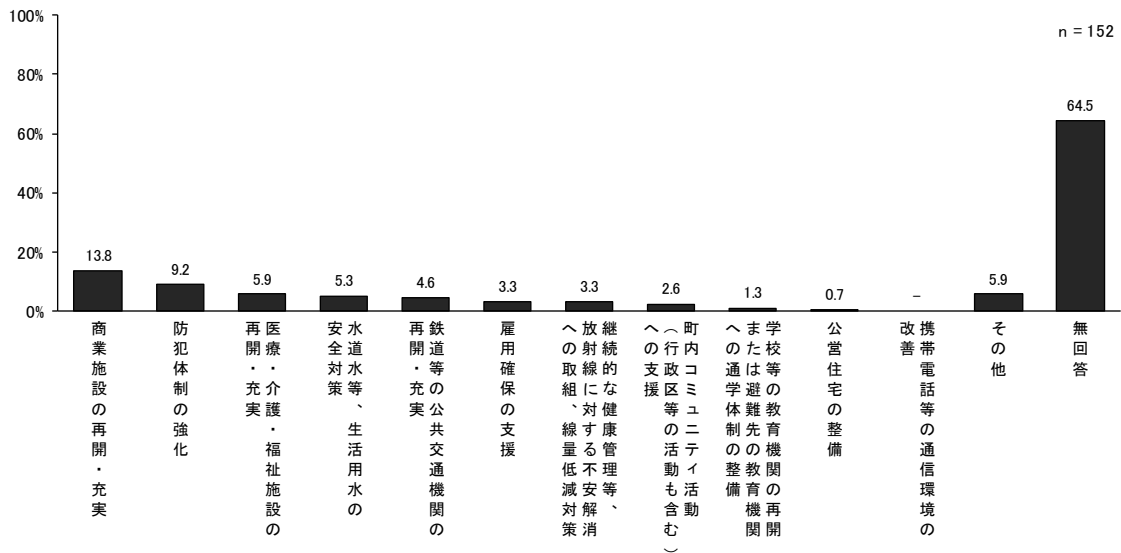
(2) 榑葉町内での今後の生活において求める支援の具体的な考え

【問13は、問12で、「1 現在、榑葉町に戻っている」と回答した方にうかがいます。】

問13(3) 問13(2)で選択した支援のうちで、具体的なお考えがあれば、選択肢番号の欄にご記入ください。
そして、その支援について、自由なお考えをご回答ください。

榑葉町内での今後の生活において求める支援の具体的な考えについては、「商業施設の再開・充実」が13.8%と最も高く、次いで「防犯体制の強化」が9.2%、「医療・介護・福祉施設の再開・充実」が5.9%となっている。

＜図表3-3-3-3 榑葉町内での今後の生活において求める支援の具体的な考え＞



上位項目の主な意見は、以下のとおり。

[商業施設の再開・充実]

- 安く買い物ができ、何でも揃う大手商業施設がほしい。(30代)
- 商業施設が再開、充実しないと榑葉に住んでいる意味がない。(40代)
- 「ここなら商店街」とコンビニの他に、町の商業施設の整備。(50代)
- 早期に帰って来ている人の事を考えた商店街。(50代)
- 個人には限界がある。公設が望ましい。(50代)
- 夜間も買物や飲食ができる商業施設の整備。クリーニング店・理容室を町で整備してほしい。(60代)
- 仮設店の時間帯、日曜日の営業など榑葉に戻っている人の事を考えた営業。(60代)
- 仮設の店で食料品が不足しているので、スーパーなど作ってほしい。ホームセンターもあれば。(60代)
- 植木・草花等が買えるホームセンター。(70代以上)
- 地区別の商業施設。(70代以上)

[防犯体制の強化]

- 街路灯の増設。(30代)
- 防犯体制として緊急通報手段の整備。空き屋、空き地が多く、不安。(50代)
- 街路灯や防犯カメラ等の設置。(60代)
- 現在65才以上限定の「緊急通報システム」を年齢制限なしにすべき。防犯灯の増設。(60代)
- 防犯体制強化の継続。(60代)
- 夜中のパトロール(深夜12:00~3:00)をしてほしい。(70代以上)

[医療・介護・福祉施設の再開・充実]

- 医療センターのようないろいろな外・内・整形外科など診てもらえる施設があればよい。(50代)
- できるだけ大型の医療施設。(50代)
- 調剤薬局を町で整備してほしい。入院設備をもつ医療機関を整備してほしい。(60代)
- 地元での医療施設や介護の充実を完全に実行してもらいたい。(70代以上)

3-3-4 避難指示解除から帰還までの期間

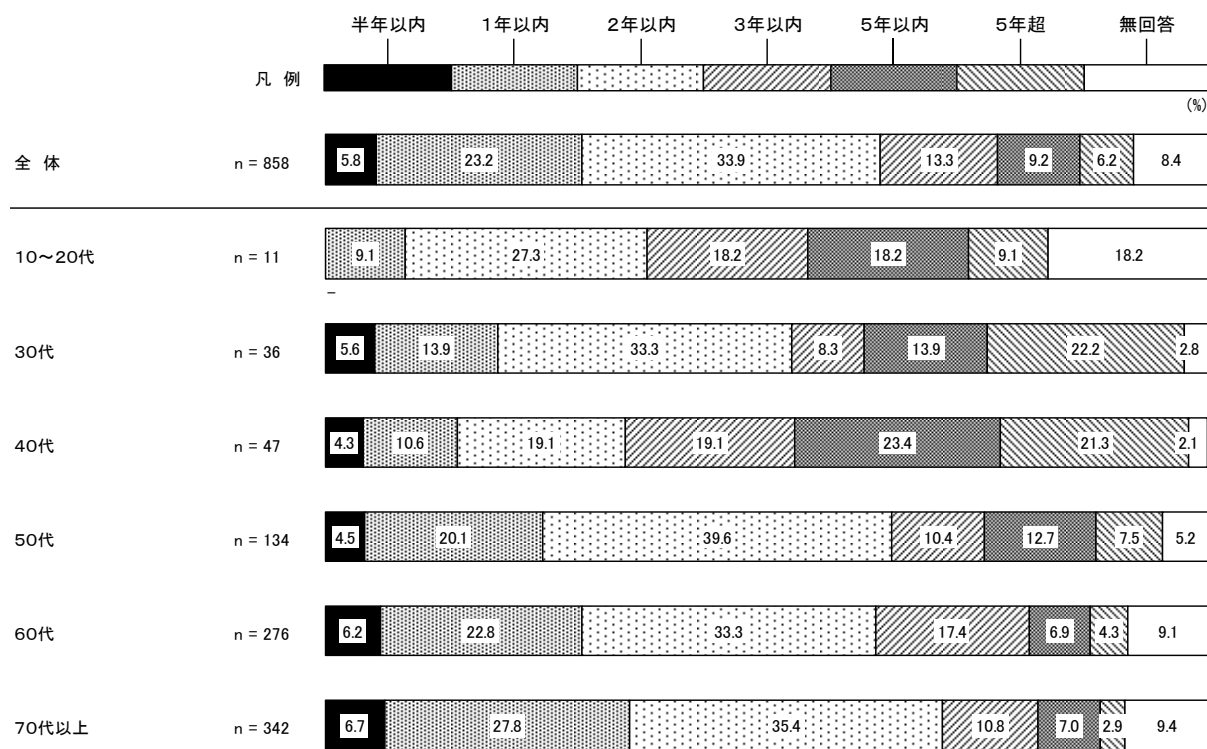
【問15は、問12で、「2 今後、早期に櫛葉町に戻る」または「3 今後、条件が整えば、櫛葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。】

問15(1) 櫛葉町に戻る場合、避難指示解除(平成27年9月5日)から何年以内に戻りたいとお考えですか。
(〇は1つ)

避難指示解除から帰還までの期間については、「2年以内」(33.9%)が最も高く、次いで「1年以内」(23.2%)、
「3年以内」(13.3%)となっている。

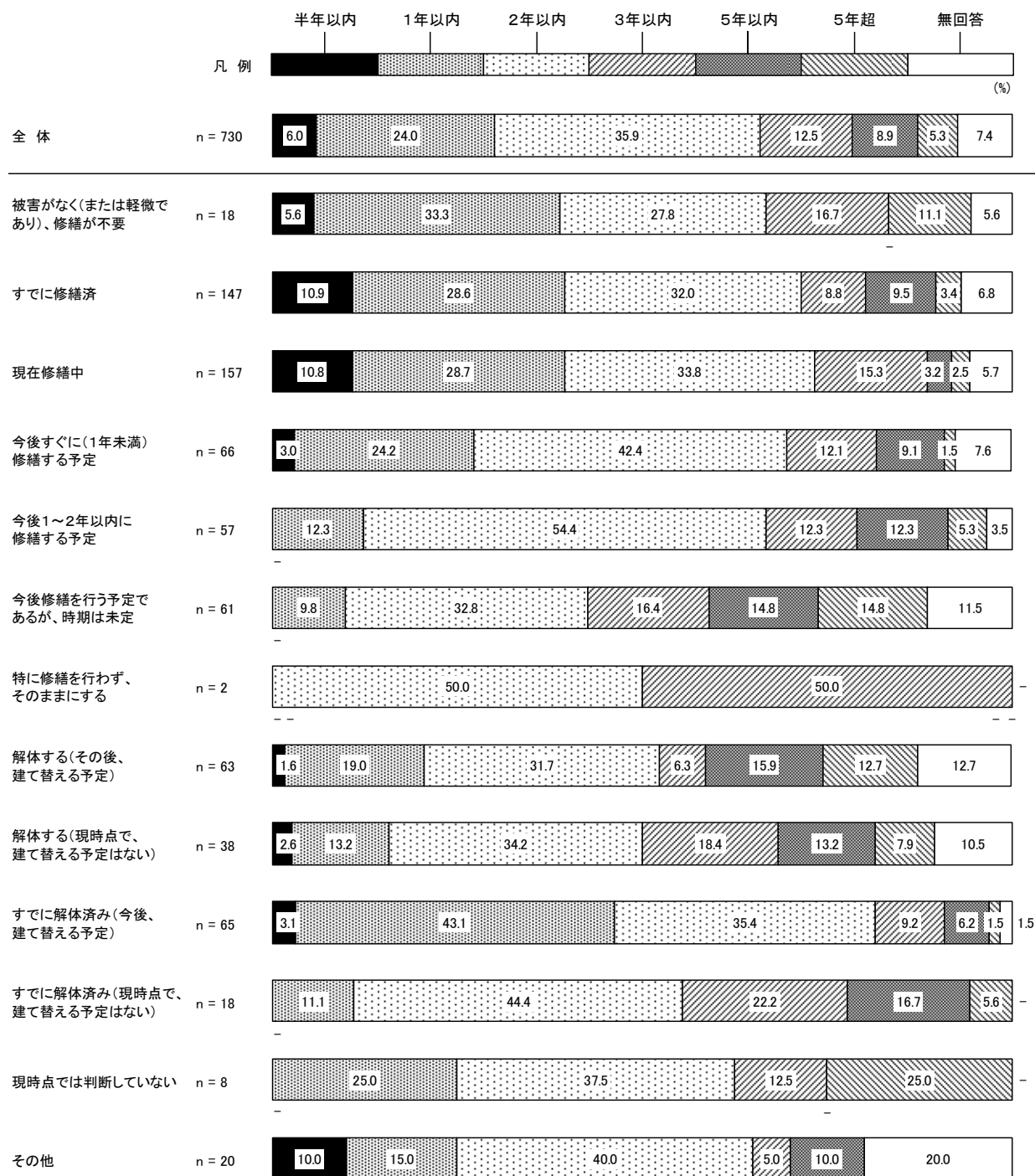
回答者の年齢別にみると、50代では「2年以内」(39.6%)が他の年齢に比べて割合が高くなっている。
一方、40代では「5年以内」(23.4%)が他の年齢と比べて割合が高くなっている。

<図表3-3-4-1 避難指示解除から帰還までの期間(年齢別)>



自宅修繕の進捗状況別にみると、「1年以内」は「すでに解体済み（今後、建て替える予定）」（43.1%）で他の修繕状況と比べて高くなっている。「2年以内」は「今後、1～2年以内に修繕する予定」（54.4%）、「今後すぐに（1年未満）修繕する予定」（42.4%）で他の修繕状況と比べて高くなっている。

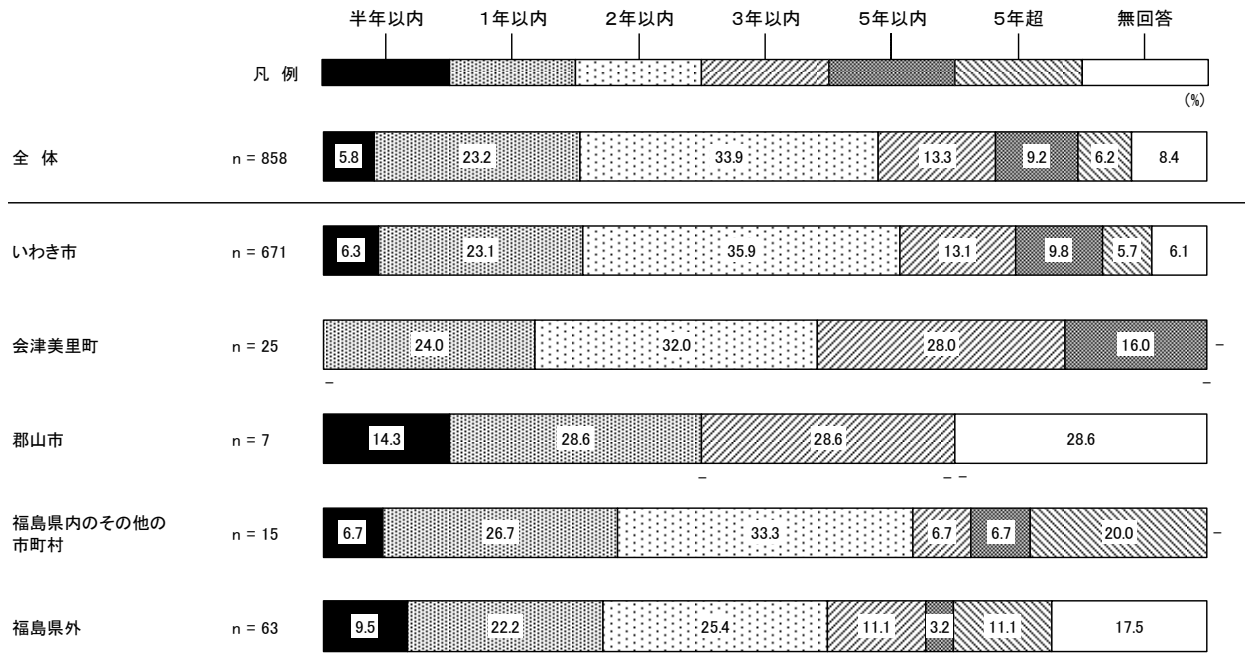
＜図表3-3-4-2 避難指示解除から帰還までの期間（自宅修繕の進捗状況別）＞



III 調査結果

主な現在の居住自治体別にみると、各自治体とも「半年以内」、「1年以内」、「2年以内」、「3年以内」で7割程度を占めている。

＜図表3-3-4-3 避難指示解除から帰還までの期間（主な現在の居住自治体別）＞



3-3-5 帰還後の世帯構成・人数

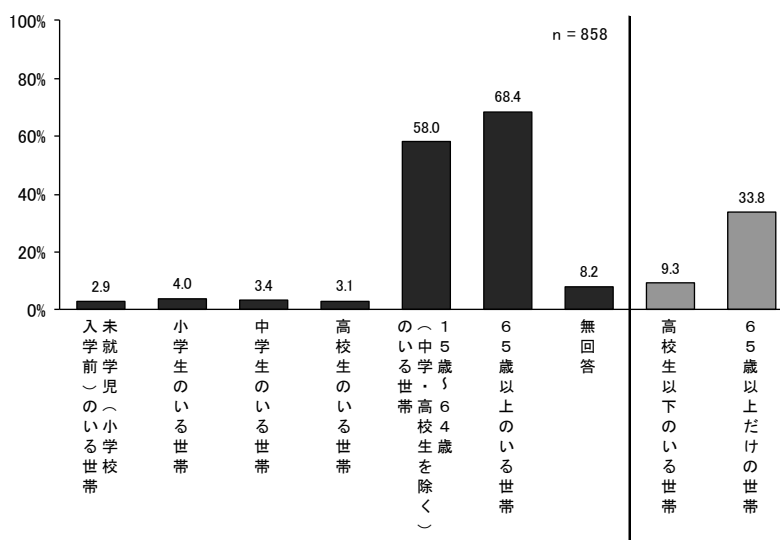
【問15は、問12で、「2 今後、早期に檜葉町に戻る」または「3 今後、条件が整えば、檜葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。】

問15(2) 檜葉町への帰還後、どのような家族構成になると考えていますか。あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

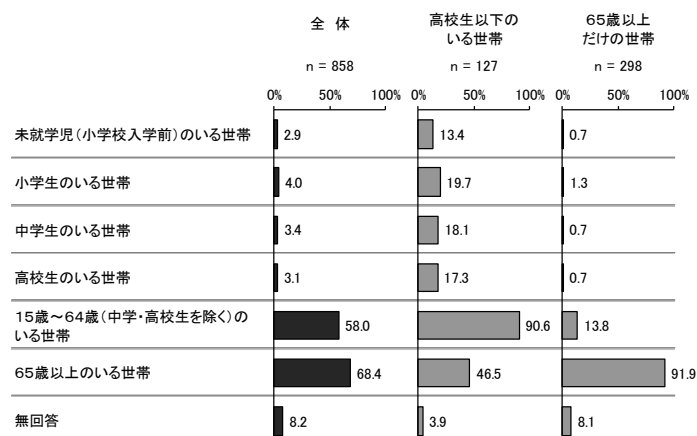
帰還後の世帯構成は、「65歳以上のいる世帯」が68.4%、次いで「15歳～64歳(中学・高校生を除く)の世帯」が58.0%となっている。

世帯構成別にみると、65歳以上の世帯では帰還後も「65歳以上のいる世帯」(91.9%)が最も高くなっており、高齢層のみの世帯構成となる。

<図表3-3-5-1 帰還後の世帯構成>



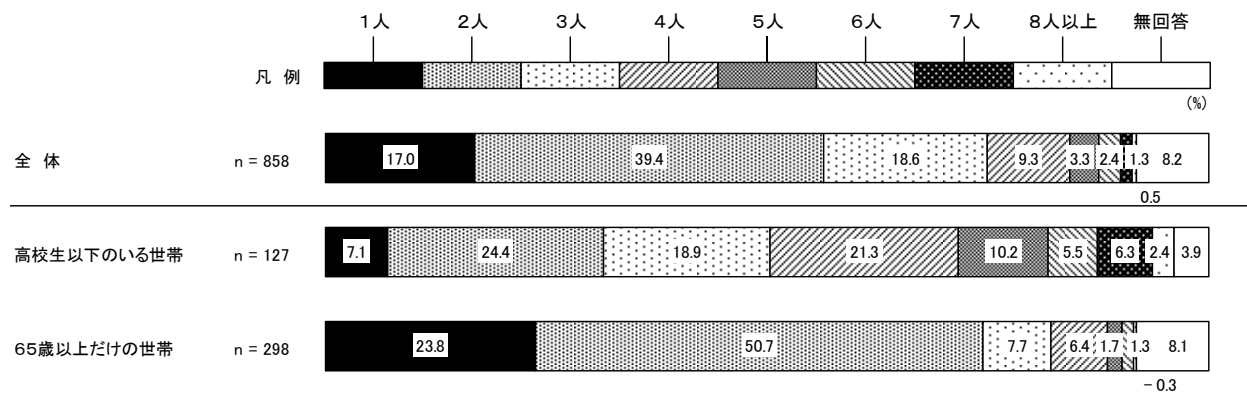
<図表3-3-5-2 帰還後の世帯構成(世帯構成別)>



III 調査結果

帰還後の世帯人数を世帯構成別にみると、65歳以上だけの世帯では「1人」(23.8%)と「2人」(50.7%)をあわせた2人以下の割合が、7割以上と高くなっている。一方、高校生以下のいる世帯では「3人」(18.9%)、「4人」(21.3%)、「5人」(10.2%)と3人以上の割合がそれぞれ65歳以上だけの世帯と比べて高くなっている。

＜図表3-3-5-3 帰還後の世帯人数（世帯構成別）＞



3-3-6 檜葉町へ帰還する場合の住居形態

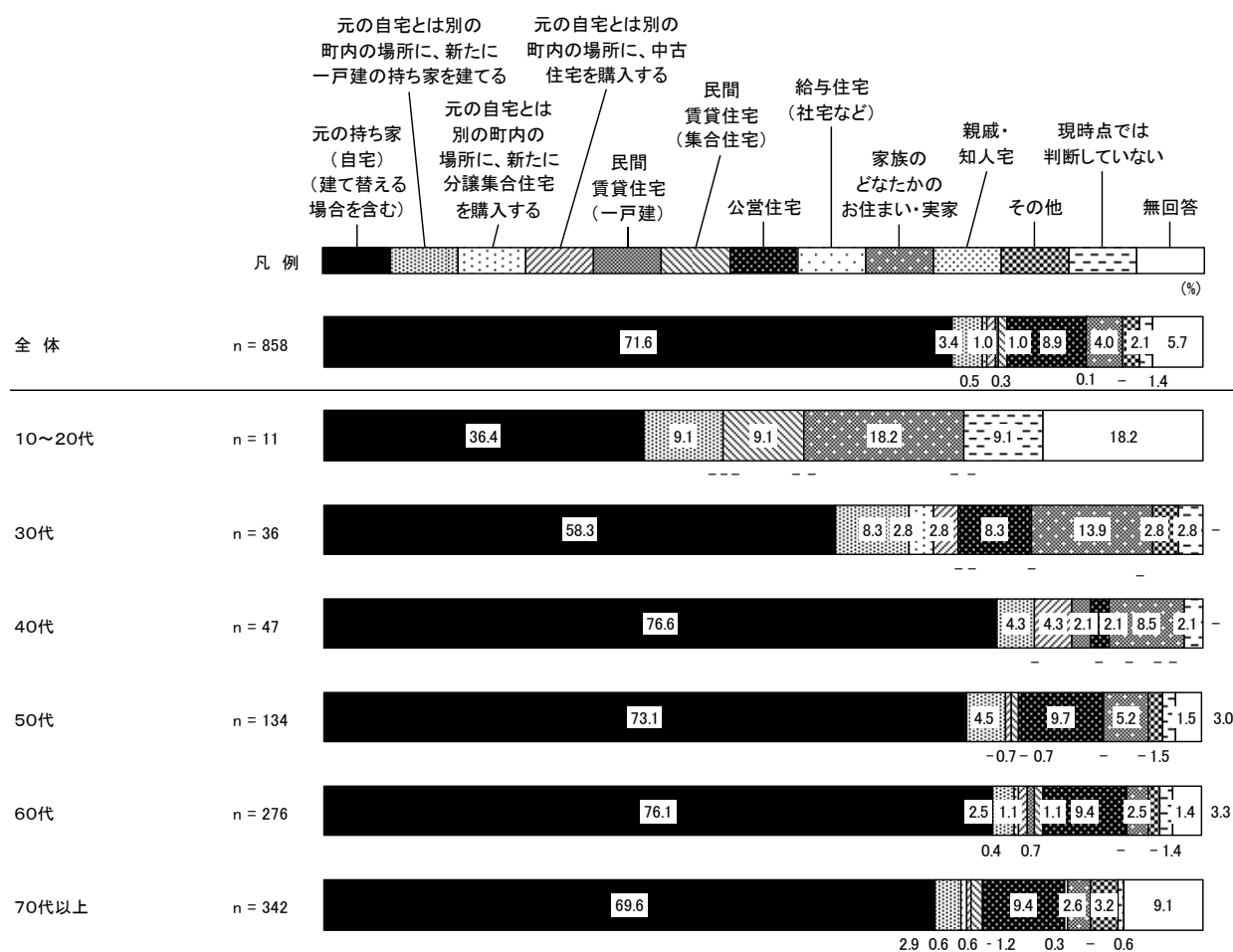
【問15は、問12で、「2 今後、早期に檜葉町に戻る」または「3 今後、条件が整えば、檜葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。】

問15 (3) 檜葉町へ帰還した場合のお住まいは、どのような形態を予定されていますか。(〇は1つ)

檜葉町へ帰還する場合の住居形態については、「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」（71.6%）が最も高く、次いで「公営住宅」（8.9%）、「家族のどなたかのお住まい・実家」（4.0%）となっている。

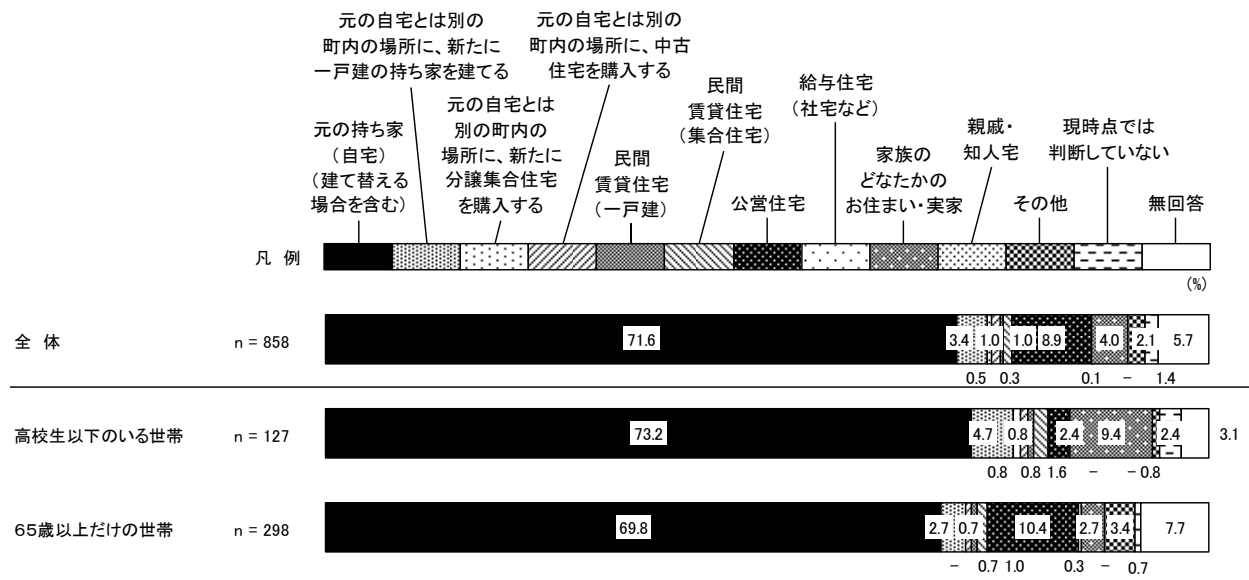
回答者の年齢別にみると、40代以上で「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」は約7割を占めている。一方、30代で「元の自宅とは別の町内の場所に、新たに一戸建の持ち家を建てる」（8.3%）が他の年齢と比べて割合が高くなっている。

<図表3-3-6-1 檜葉町へ帰還する場合の住居形態（年齢別）>



世帯構成別にみると、いずれの世帯構成においても「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」が約7割となり、最も高くなっている。

<図表3-3-6-2 榎葉町へ帰還する場合の住居形態（世帯構成別）>



震災発生当時の住まいの行政区別にみると、すべての行政区において「元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）」が最も高くなっている。

<図表3-3-6-3 檜葉町へ帰還する場合の住居形態（震災発生当時の住まいの行政区別）>

	n	(%)												
		元の持ち家（自宅） （建て替える場合を含む）	元の持ち家とは別の町内 建の持ち家を新たに建て替える	元の持ち家とは別の町内 集住住宅を購入する	元の持ち家とは別の町内 購入する	元の持ち家とは別の町内 中古住宅を購入する	民間賃貸住宅 （一戸建）	民間賃貸住宅 （集合住宅）	公営住宅	給与住宅（社宅など）	家族のどなたかのお住まい・実家	親戚・知人宅	その他	現時点では判断して いない
全体	858	71.6	3.4	0.5	1.0	0.3	1.0	8.9	0.1	4.0	-	2.1	1.4	5.7
旭ヶ丘	3	33.3	-	-	-	-	-	66.7	-	-	-	-	-	-
営団	35	71.4	8.6	-	-	-	-	17.1	-	-	-	-	-	2.9
乙次郎	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下井出	34	52.9	2.9	2.9	2.9	-	-	11.8	-	8.8	-	8.8	2.9	5.9
下小埜	115	74.8	-	-	3.5	0.9	0.9	6.1	-	6.1	-	0.9	0.9	6.1
下繁岡	35	91.4	-	2.9	-	-	-	2.9	-	2.9	-	-	-	-
山所布	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
山田岡	130	66.9	3.1	-	1.5	0.8	1.5	11.5	-	3.1	-	3.1	2.3	6.2
山田浜	29	58.6	13.8	3.4	3.4	-	-	6.9	-	3.4	-	-	6.9	3.4
女平	6	50.0	-	-	-	-	-	16.7	-	16.7	-	-	-	16.7
松館	22	90.9	4.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.5
上井出	133	67.7	7.5	-	-	0.8	1.5	12.8	-	1.5	-	2.3	0.8	5.3
上小埜	58	89.7	-	-	-	-	-	1.7	-	3.4	-	-	-	5.2
上繁岡	52	71.2	1.9	-	-	-	1.9	11.5	-	3.8	-	3.8	-	5.8
前原	29	65.5	6.9	-	3.4	-	-	10.3	-	6.9	-	6.9	-	-
大坂	7	71.4	-	-	-	-	-	-	-	28.6	-	-	-	-
大谷	41	78.0	2.4	-	-	-	-	-	-	2.4	-	-	4.9	12.2
楸木下	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
波倉	16	25.0	6.3	6.3	-	-	6.3	25.0	6.3	-	-	6.3	6.3	12.5
繁岡	26	76.9	-	-	-	-	3.8	-	-	7.7	-	-	-	11.5
北田	72	79.2	1.4	-	-	-	-	6.9	-	5.6	-	2.8	-	4.2
その他	3	66.7	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-

3-3-7 早期に帰還する場合に今後の生活において求める支援

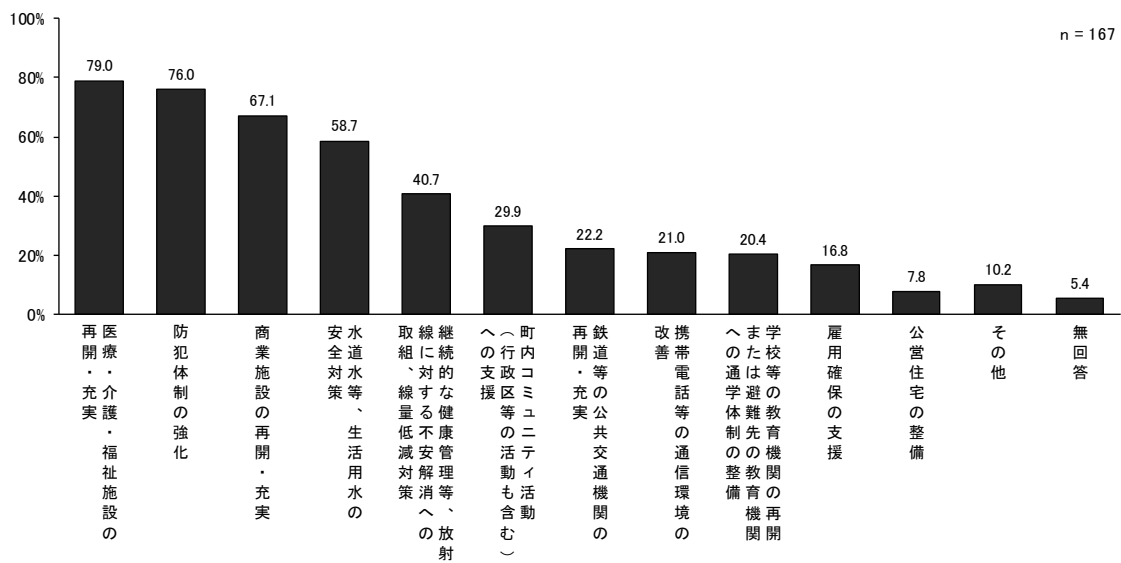
(1) 早期に帰還する場合に今後の生活において求める支援

【問16は、問12で、「2 今後、早期に榊葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。】

問16(1) 榊葉町内での今後の生活において、行政にどのような支援を望みますか。(〇はいくつでも)

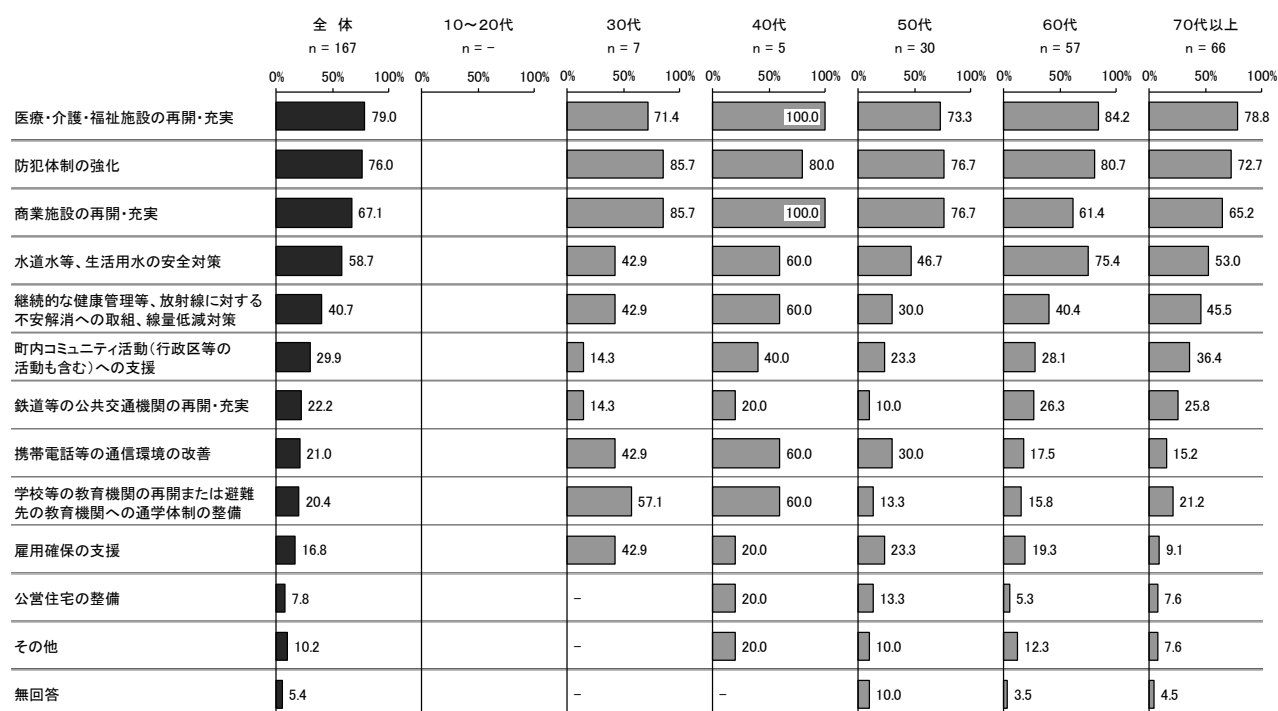
早期に帰還する場合に今後の生活において求める支援については、「医療・介護・福祉施設の再開・充実」が79.0%と最も高く、次いで「防犯体制の強化」が76.0%となっている。

<図表3-3-7-1 早期に帰還する場合に今後の生活において求める支援>



回答者の年齢別にみると、「医療・介護・福祉施設の再開・充実」は60代（84.2%）が他の年齢と比べて割合が高くなっている。また、「防犯体制の強化」でも60代（80.7%）が他の年齢と比べて割合が高くなっている。

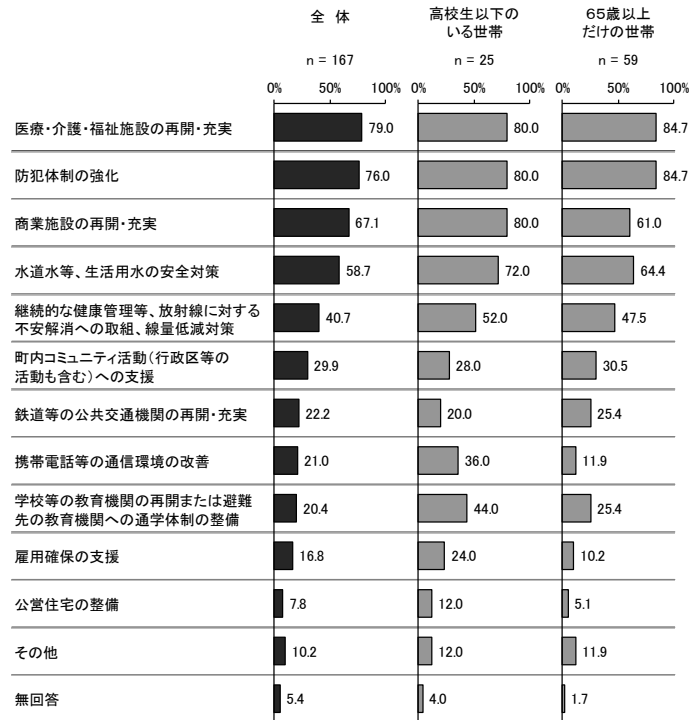
<図表3-3-7-2 早期に帰還する場合に今後の生活において求める支援（年齢別）>



III 調査結果

世帯構成別にみると、「医療・介護・福祉施設の再開・充実」、「防犯体制の強化」がいずれの世帯においても約8割を占めている。

＜図表3-3-7-3 早期に帰還する場合に今後の生活において求める支援（世帯構成別）＞



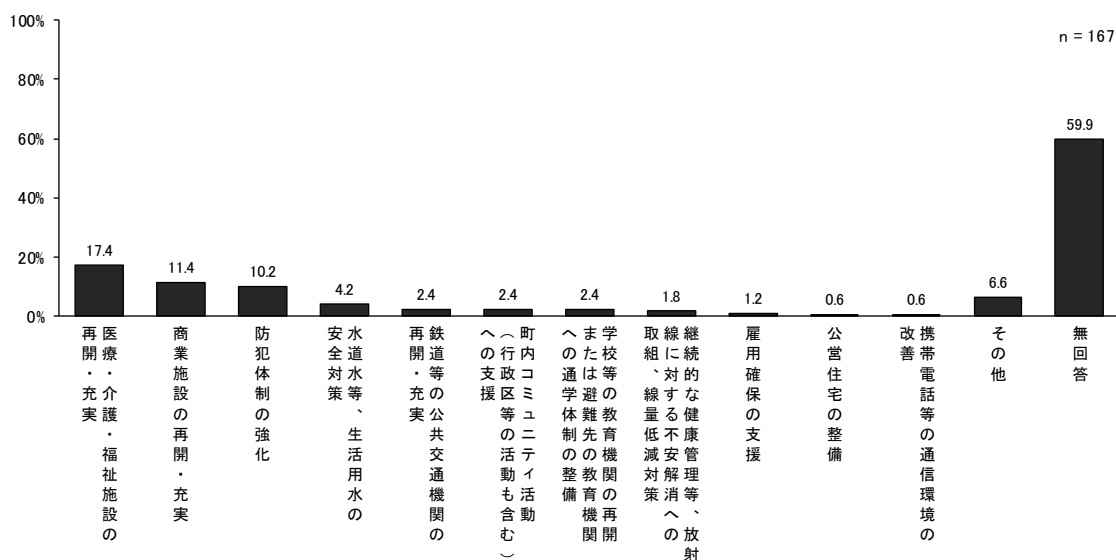
(2) 早期に帰還する場合に今後の生活において求める支援の具体的な考え

【問16は、問12で、「2 今後、早期に榑葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。】

問16(2) 問16(1)で選択した支援のうちで、具体的なお考えがあれば、選択肢番号の欄にご記入ください。
そして、その支援について、自由なお考えをご回答ください。

早期に帰還する場合に今後の生活において求める支援の具体的な考えについては、「医療・介護・福祉施設の再開・充実」が17.4%と最も高く、次いで「商業施設の再開・充実」が11.4%、「防犯体制の強化」が10.2%となっている。

<図表3-3-7-4 早期に帰還する場合に今後の生活において求める支援の具体的な考え>



上位項目の主な意見は、以下のとおり。

[医療・介護・福祉施設の再開・充実]

- 児童デイサービスの充実。(40代)
- 小児科医師の手配。(40代)
- 夜間医療の充実。(50代)
- 月に1回程度、県立医大から医師の派遣。(60代)
- 双葉地方を見すえた医療施設の充実。(60代)
- 一人暮らしや緊急時の問題などに対応する福祉施設。(60代)
- 入院施設のある医療機関を整備。(60代)
- 高齢者のグループホームなど、入所、ショートスティのできる施設を整備。(60代)
- 医療体制の確立。(70代以上)
- リハビリができる施設、薬の確保。(70代以上)
- 高齢者の外出の足となる「町内定期巡回バス」の運行。(70代以上)
- 町内での介護施設の再開。(70代以上)

Ⅲ 調査結果

[商業施設の再開・充実]

- ホームセンターの誘致、整備。(30代)
- コンビニ以外の店(服、食料品、ペット用品)の整備、外食できる場所の充実。(40代)
- ホームセンターやドラッグストアの営業(再開含む)、ガソリンスタンドの充実。(40代)
- 全ての買物が揃う大型商業施設の整備(特に食べ物、食材、生活雑貨)。エンターテインメント施設等。(50代)
- 買い物の利便性向上の為、買い物バス、宅配等のサービス向上。(60代)
- 町内に大手のスーパー総合品店。(60代)
- 1ヶ所で買い物が出来る施設(スーパー+ホームセンター+ドラッグストア等)。(60代)
- 商業、医療の両施設等が隣接した同一区画内への設立(交通の利便性)。(70代以上)

[防犯体制の強化]

- 防犯カメラの多数の設置(安心か環境の創造)。(50代)
- 現在の見回り隊、警察のパトロールの継続。(60代)
- 夜に何かあったときに、すぐ警察に連絡取れるような体制。(60代)
- 女性が1人でも散歩できるような防犯体制。(70代以上)
- 防犯灯の設置を早目にしてほしい。(70代以上)

3-3-8 檜葉町への帰還を判断する上で考慮する情報

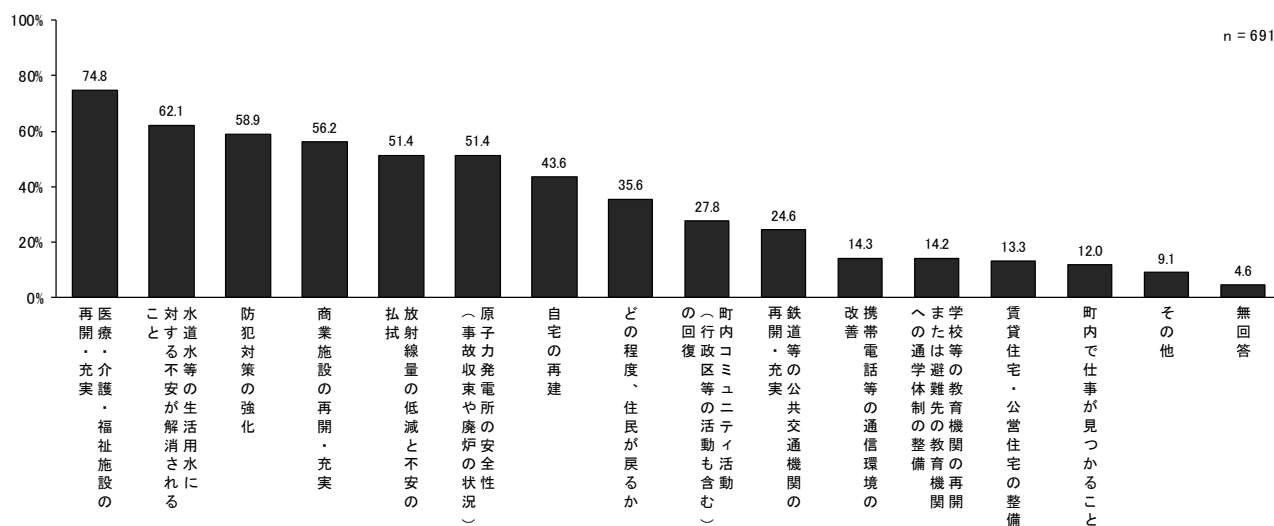
(1) 檜葉町への帰還を判断する上で考慮する情報

【問17は、問12で、「3 今後、条件が整えば、檜葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。】

問17(1) 檜葉町に戻るにあたり、あなたがその条件として考慮する項目についてあてはまるものをお選びください。(〇はいくつでも)

檜葉町への帰還を判断する上で考慮する情報については、「医療・介護・福祉施設の再開・充実」が74.8%と最も高く、次いで「水道水等の生活用水に対する不安が解消されること」が62.1%となっている。

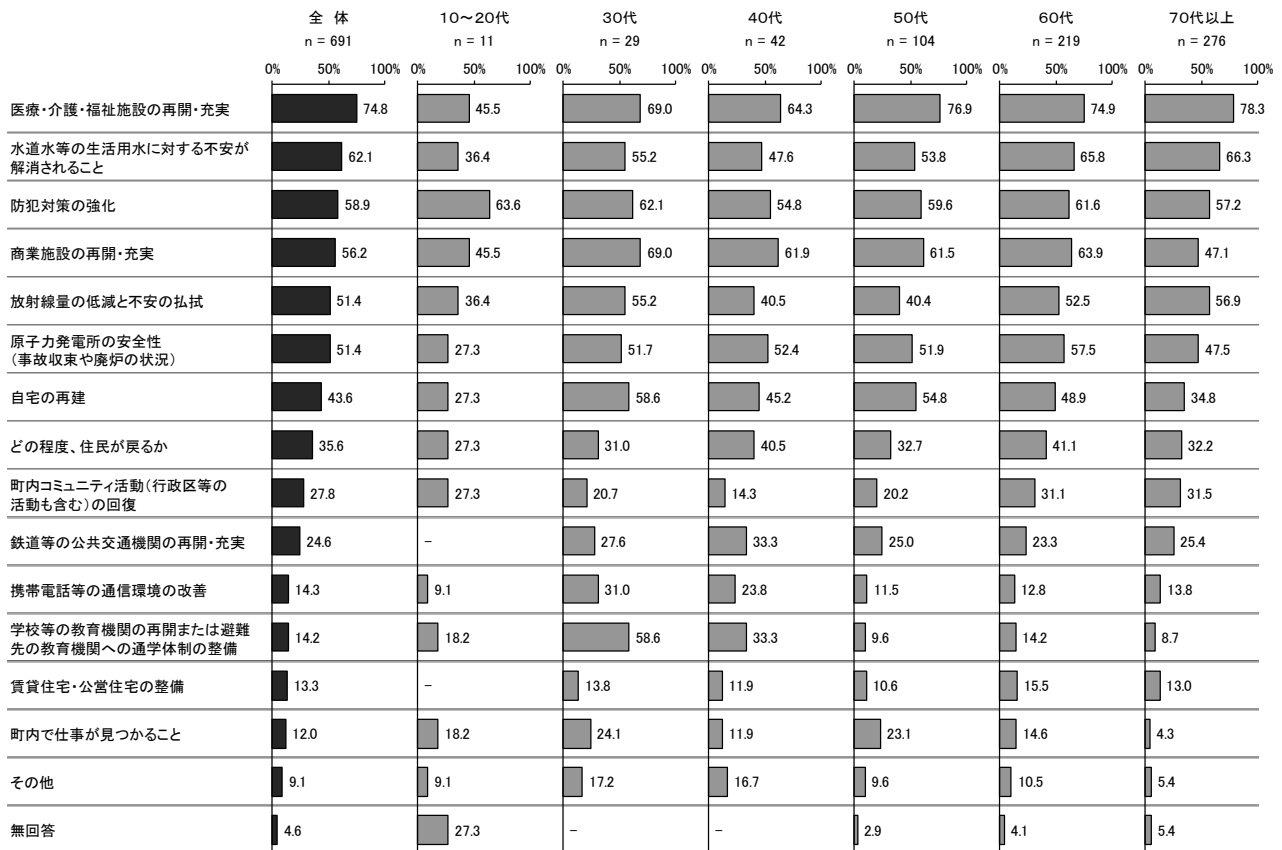
<図表3-3-8-1 檜葉町への帰還を判断する上で考慮する情報>



III 調査結果

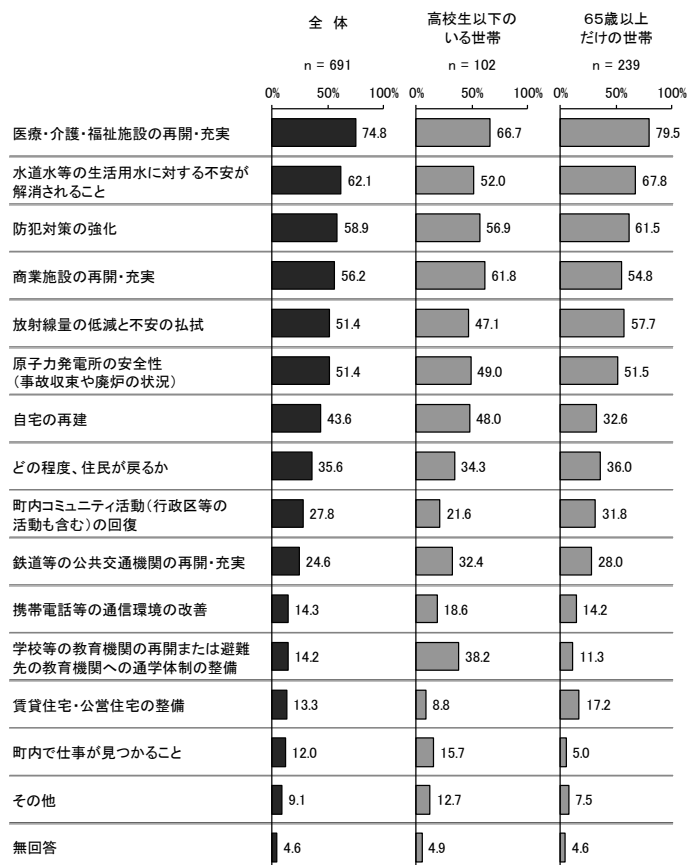
回答者の年齢別にみると、「医療・介護・福祉施設の再開・充実」は50代以上が7割以上となっている。「水道水等の生活用水に対する不安が解消されること」は60代以上が6割以上となっている。

<図表3-3-8-2 檜葉町への帰還を判断する上で考慮する情報（年齢別）>



世帯構成別にみると、65歳以上の世帯で「医療・介護・福祉施設の再開・充実」(79.5%)、「水道水等の生活用水に対する不安が解消されること」(67.8%)が高校生以下のいる世帯よりも、1割以上高くなっている。

<図表3-3-8-3 檜葉町への帰還を判断する上で考慮する情報(世帯構成別)>



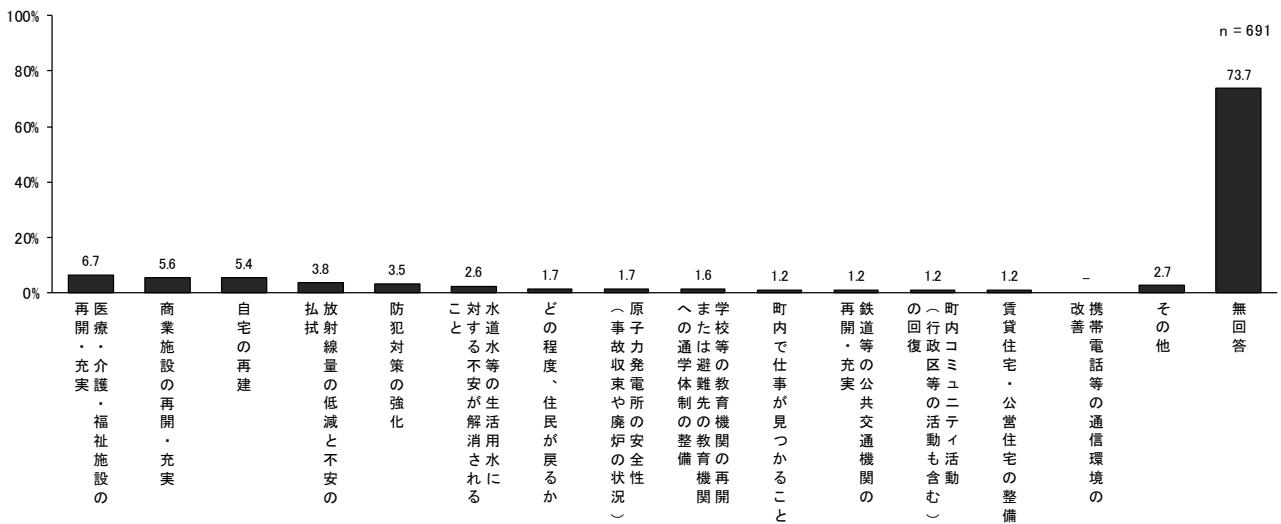
(2) 榑葉町への帰還を判断する上で考慮する情報の具体的な考え

【問17は、問12で、「3 今後、条件が整えば、榑葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。】

問17(2) 問17(1)で選択した条件として考慮する項目のうちで、具体的なお考えがあれば、選択肢番号の欄にご記入ください。そして、項目について、自由なお考えをご回答ください。

榑葉町への帰還を判断する上で考慮する情報の具体的な考えについては、「医療・介護・福祉施設の再開・充実」が6.7%と最も高く、次いで「商業施設の再開・充実」が5.6%、「自宅の再建」が5.4%となっている。

<図表3-3-8-4 榑葉町への帰還を判断する上で考慮する情報の具体的な考え>



上位項目の主な意見は、以下のとおり。

[医療・介護・福祉施設の再開・充実]

- ・ 町医療だけの小さな施設でなく、大きな医療施設の設立。(50代)
- ・ 高齢者が通院できる医療施設と、介護が必要になった時の介護施設の再開。(50代)
- ・ 町内でなくてもいいが、近くに眼科、歯科ができれば。(50代)
- ・ 介護施設の充実。(50代)
- ・ 総合病院等の開設。(50代)
- ・ 町内福祉施設の再開。(60代)
- ・ 診療時間の延長。(60代)
- ・ 二次医療の確立が出来るよう希望。(60代)
- ・ 介護認定を受けなくても、高齢者が入居できる福祉施設。(60代)
- ・ 町内医療施設の充実(曜日を制限しない。常駐化する等)。(60代)
- ・ 高齢化しているので医療機関ができれば戻りたい。(70代以上)
- ・ とにかく病院(総合、夜間、緊急の受入れ)が出来る病院。特別養護老人ホームの再開。(70代以上)

[商業施設の再開・充実]

- 商店街を復活させ、子供達に喜んでもらえるような施設作り、イベント作り。(30代)
- 何でもそろえるスーパーやホームセンター、ドラッグストアなどの誘致。(40代)
- 地区ごとにも、小規模で良いのでスーパーがあれば。(50代)
- 年中無休のホームセンターやスーパー。(50代)
- 少なくとも近所に生活必需品が購入できる店が欲しい。(50代)
- いわき市へ通わなくとも、ある程度不便なく生活ができる食料品、飲食施設の充実。(60代)
- 一刻も早く目に見えるコンパクトタウン構想の商業施設ゾーン実現。(60代)
- 町に人が来るよう、駅前にスーパー、デパート。(70代以上)
- 休祭日でもショッピングできるスーパー・ホームセンターなど商店街の充実。(70代以上)

[自宅の再建]

- 住める状態になれば戻りたい。(30代)
- 自宅の再建が済めば、戻る。(40代)
- 「空き家バンク」で作業員を一般の住居に入れることは、帰ろうとする気持ちを無くすため、やめてほしい。(50代)
- 業者の施工費が高く、町の斡旋等があれば良いと思う。(60代)
- ハウスメーカーが混んでいる。(60代)

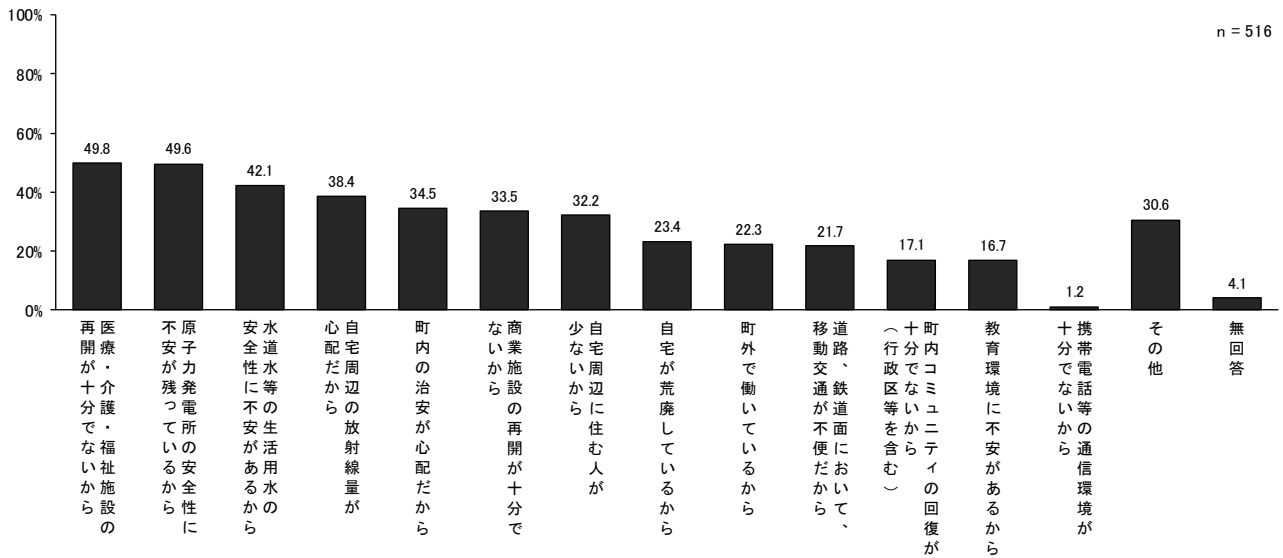
3-3-9 戻らないと決めている理由

【問18は、問12で、「4 今後、榿葉町には戻らない」と回答した方にうかがいます。】

問18(1) 榿葉町に戻らないと決めている理由はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

現時点で戻らないと決めている理由については、「医療・介護・福祉施設の再開が十分でないから」(49.8%)が最も高く、次いで、「原子力発電所の安全性に不安が残っているから」(49.6%)、「水道水等の生活用水の安全性に不安があるから」(42.1%)となっている。

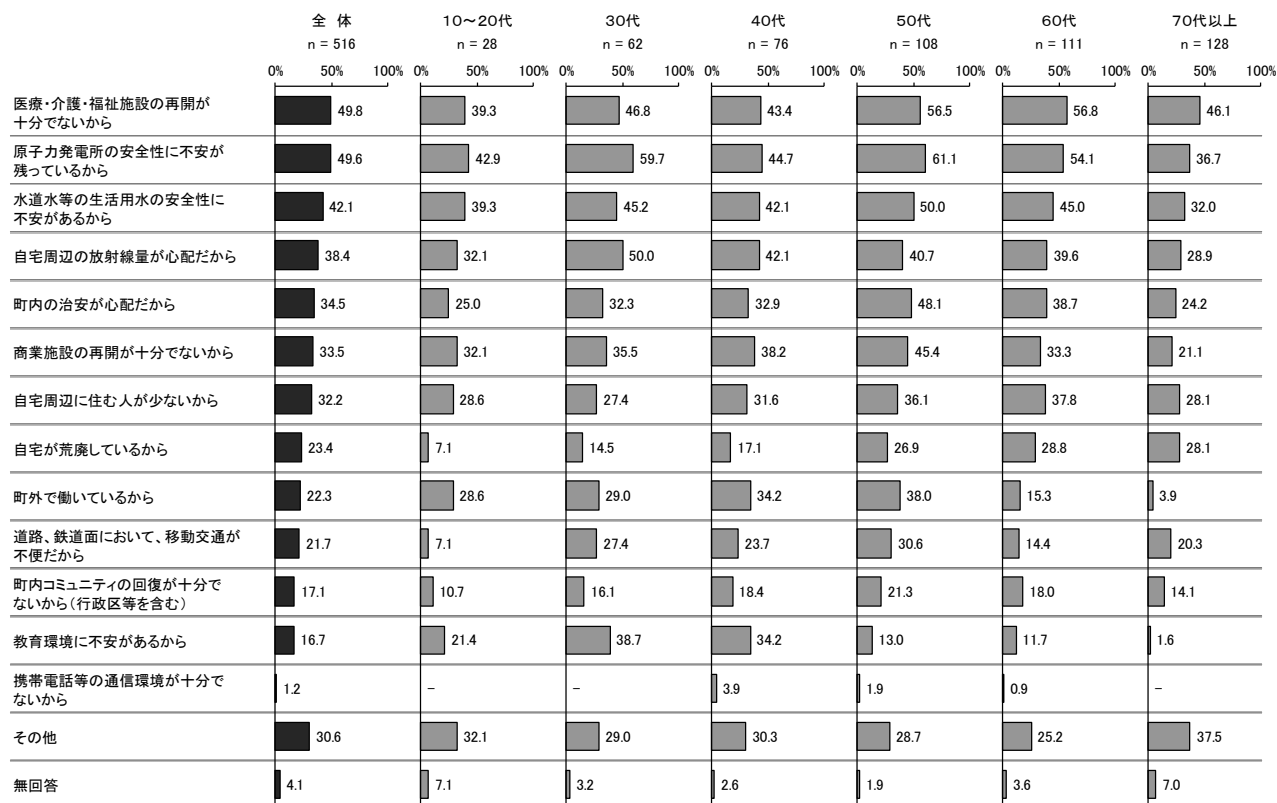
<図表3-3-9-1 戻らないと決めている理由>



回答者の年齢別にみると、「医療・介護・福祉施設の再開が十分でないから」が60代(56.8%)、50代(56.5%)において他の年齢と比較して割合が高くなっている。

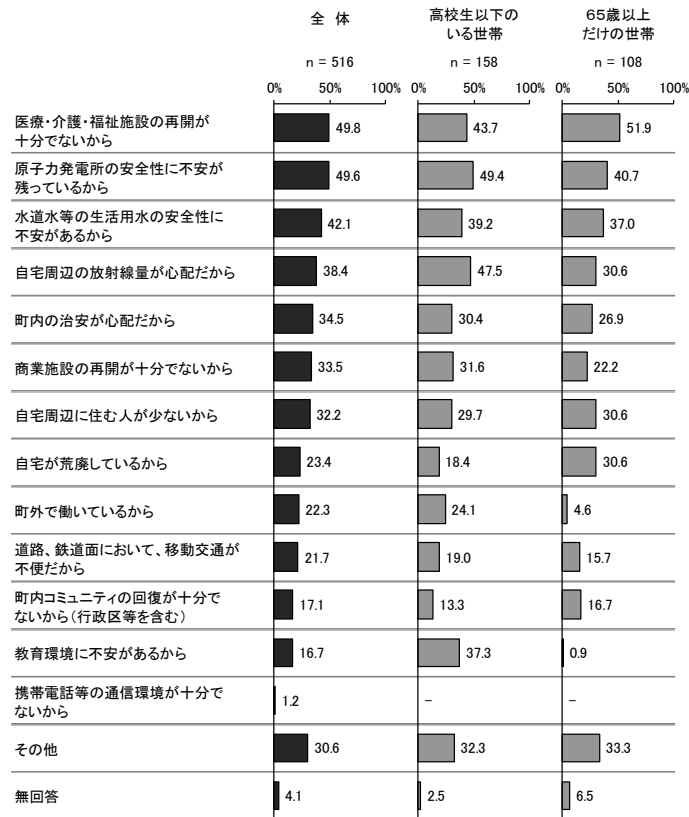
また、「原子力発電所の安全性に不安が残っているから」が50代(61.1%)で他の年齢と比較して割合が高くなっている。

<図表3-3-9-2 戻らないと決めている理由(年齢別)>



世帯構成別にみると、高校生以下のいる世帯では「原子力発電所の安全性に不安が残っているから」(49.4%)、「自宅周辺の放射線量が心配だから」(47.5%)が高くなっている。一方、65歳以上の世帯では「医療・介護・福祉施設の再開が十分でないから」(51.9%)が最も高くなっている。

<図表3-3-9-3 戻らないと決めている理由(世帯構成別)>



3-3-10 帰還しない場合に居住する自治体

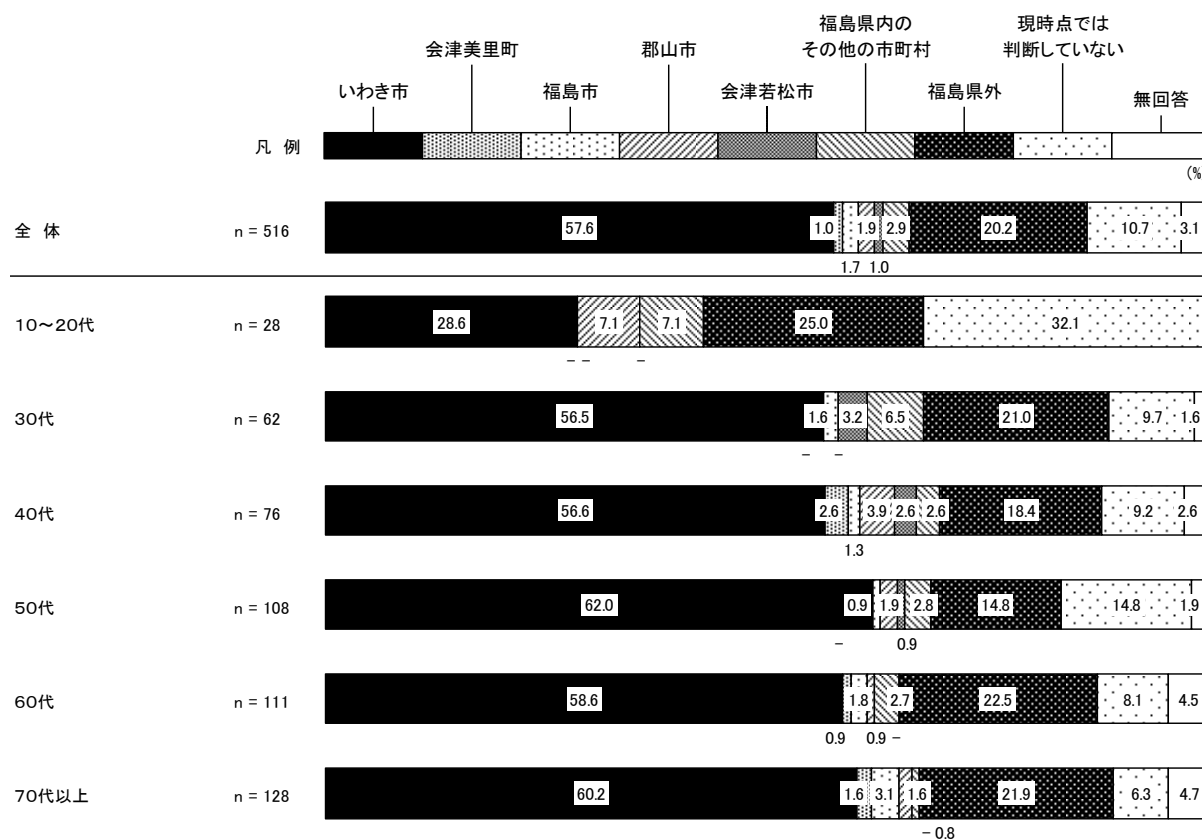
【問18は、問12で、「4 今後、楡葉町には戻らない」と回答した方にうかがいます。】

問18(2) 楡葉町に戻らない場合、今後どの自治体で居住を予定されていますか。(〇は1つ)

帰還しない場合に居住する自治体については、「いわき市」(57.6%)が最も高く、次いで「福島県外」(20.2%)、「現時点では判断していない」(10.7%)となっている。

回答者の年齢別にみると、10~20代を除いた年齢で「いわき市」が過半数を占めている。

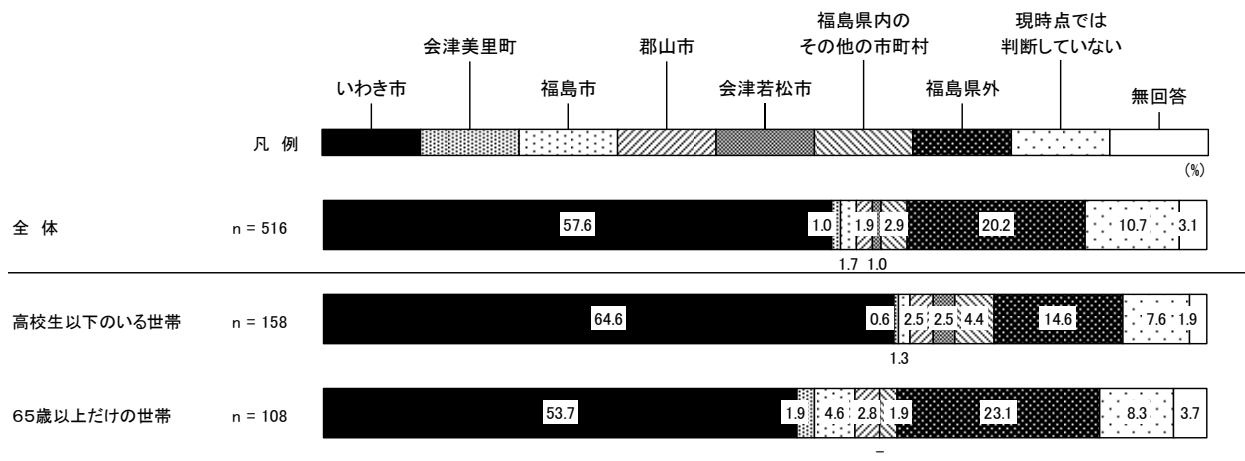
<図表3-3-10-1 帰還しない場合に居住する自治体(年齢別)>



III 調査結果

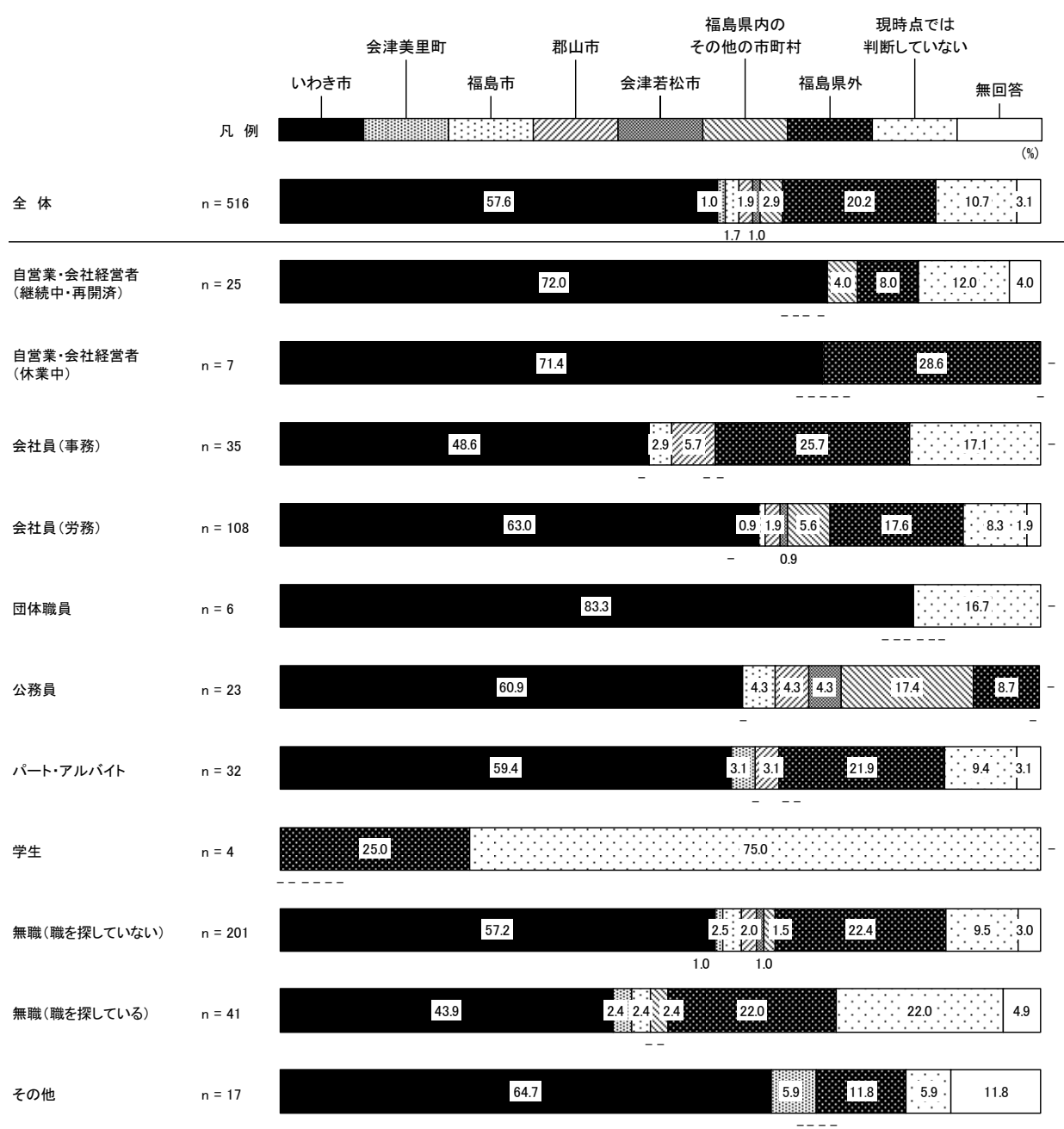
世帯構成別にみると、高校生以下のいる世帯では「いわき市」(64.6%)が65歳以上だけの世帯と比べて高くなっている。

<図表3-3-10-2 帰還しない場合に居住する自治体(世帯構成別)>



職業別にみると、ほとんどの職業で「いわき市」の割合が高くなっている。

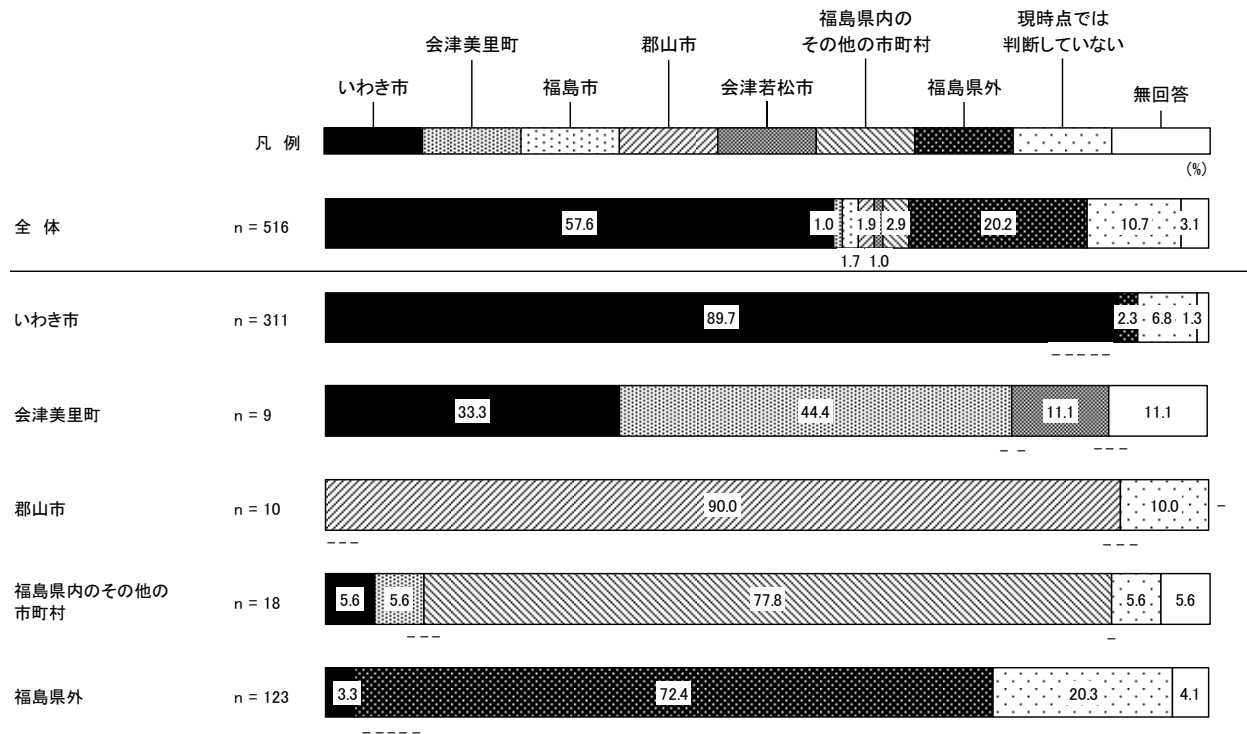
<図表3-3-10-3 帰還しない場合に居住する自治体（職業別）>



III 調査結果

主な居住自治体別にみると、いずれの自治体でも、現在居住する自治体にそのまま居住を希望する割合が高くなっている。

＜図表3-3-10-4 帰還しない場合に居住する自治体（主な居住自治体別）＞



3-3-11 帰還しない場合の住居形態

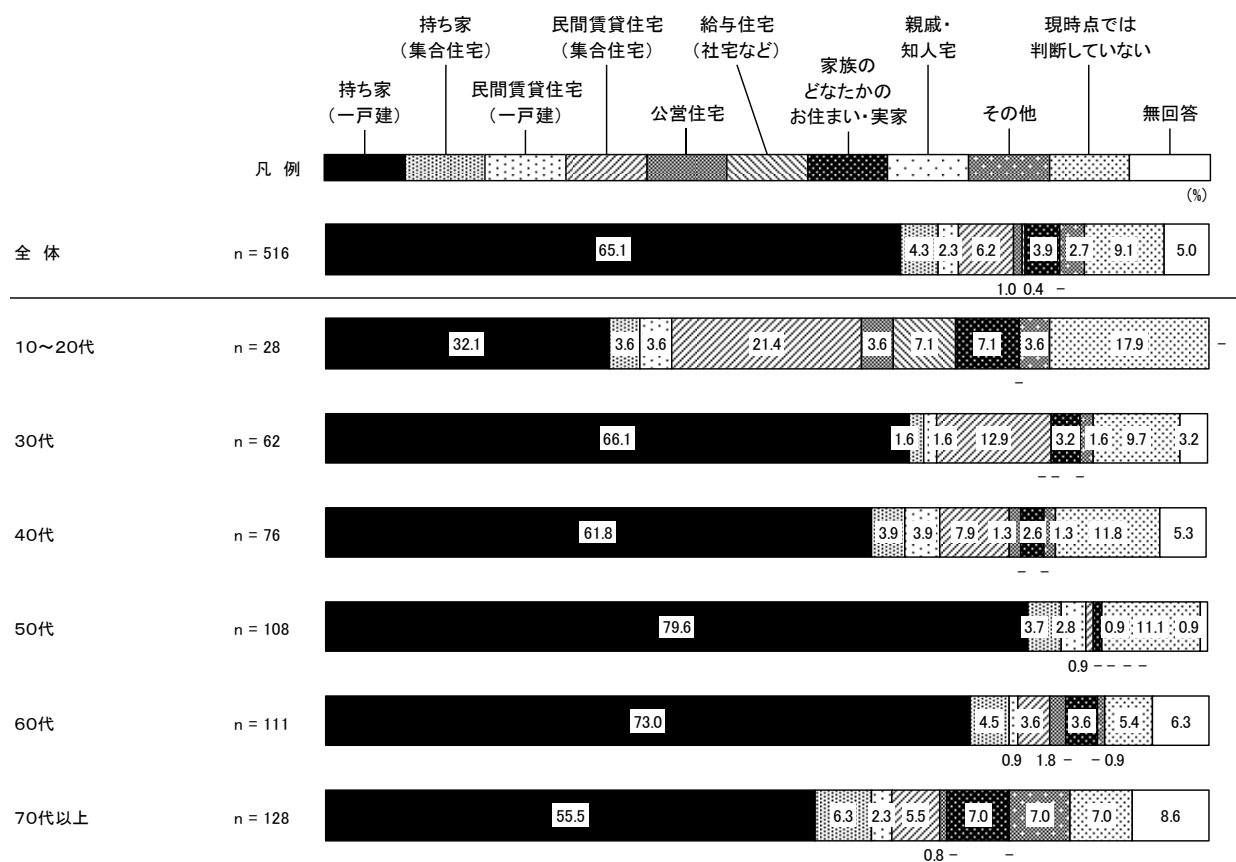
【問18は、問12で、「4 今後、檜葉町には戻らない」と回答した方にうかがいます。】

問18 (3) 今後、居住する住宅はどのような形態 (の予定) ですか。(〇は1つ)

帰還しない場合の住居形態については、「持ち家（一戸建）」(65.1%) が最も高く、次いで「現時点では判断していない」(9.1%)、「民間賃貸住宅（集合住宅）」(6.2%) となっている。

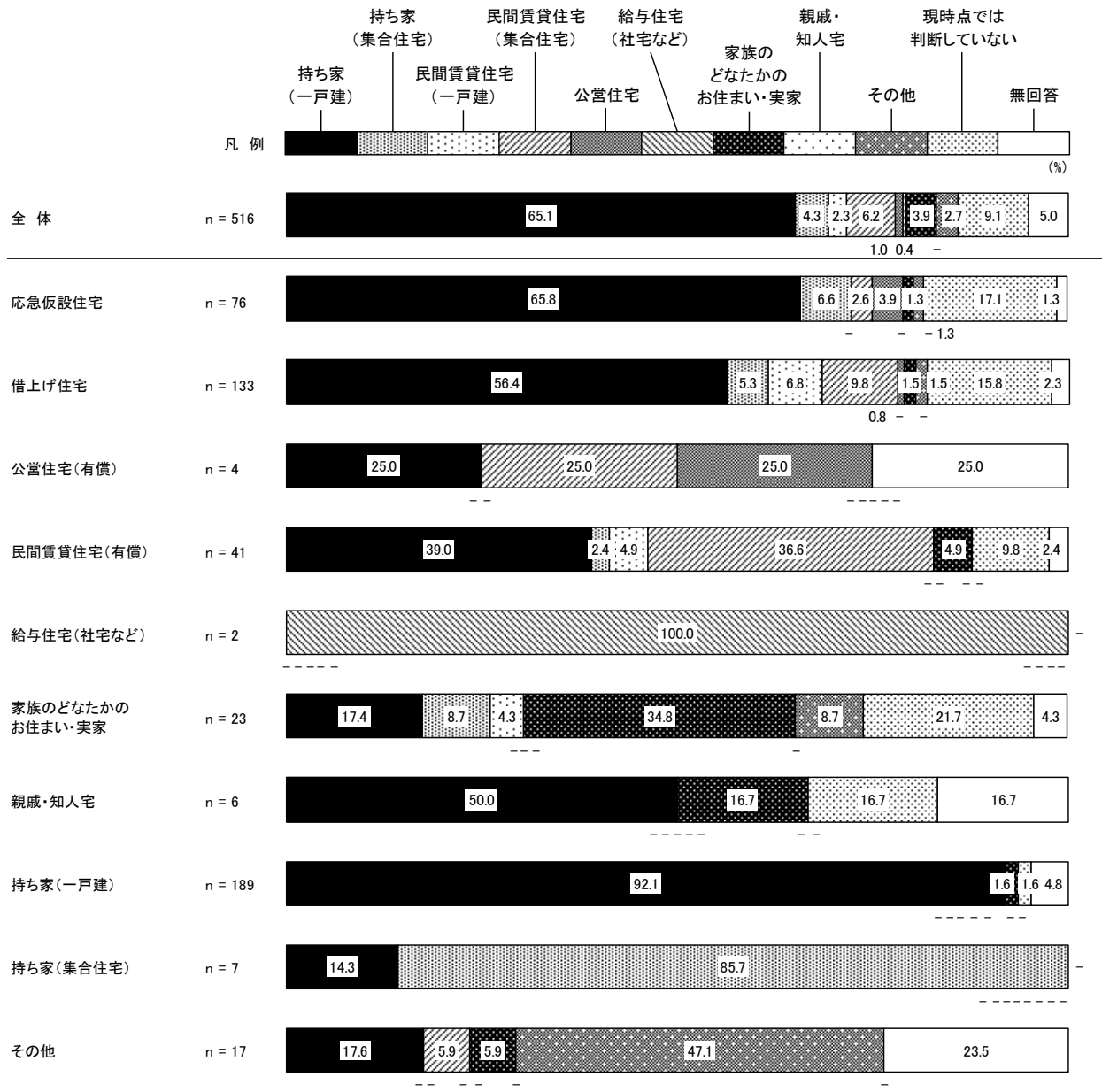
回答者の年齢別にみると、30代以上では「持ち家（一戸建）」が過半数を占めている。

<図表3-3-11-1 帰還しない場合の住居形態（年齢別）>



現在の住居形態別にみると、概ねいずれの現在の居住形態でも、帰還しない場合の居住形態は「持ち家（一戸建）」の割合が高くなっている。

<図表3-3-11-2 帰還しない場合の住居形態（現在の住居形態別）>



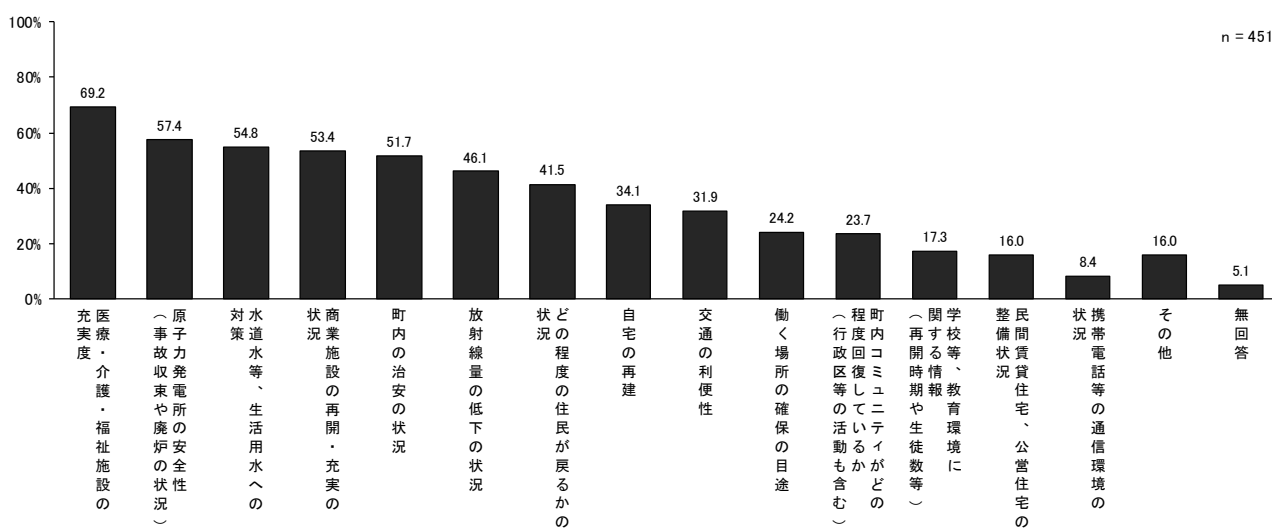
3-3-12 檜葉町への帰還を判断する上で参考とする情報

【問19は、問12で、「5 戻るかどうかについて、今はまだ判断ができない」と回答した方にうかがいます。】

問19 檜葉町に戻るかどうかの判断をする際に、あなたが参考にする項目について、あてはまるものをお選びください。(〇はいくつでも)

檜葉町への帰還を判断する上で参考とする情報については、「医療・介護・福祉施設の充実度」(69.2%)が最も高く、次いで「原子力発電所の安全性(事故収束や廃炉の状況)」(57.4%)、「水道水等、生活用水への対策」(54.8%)となっている。

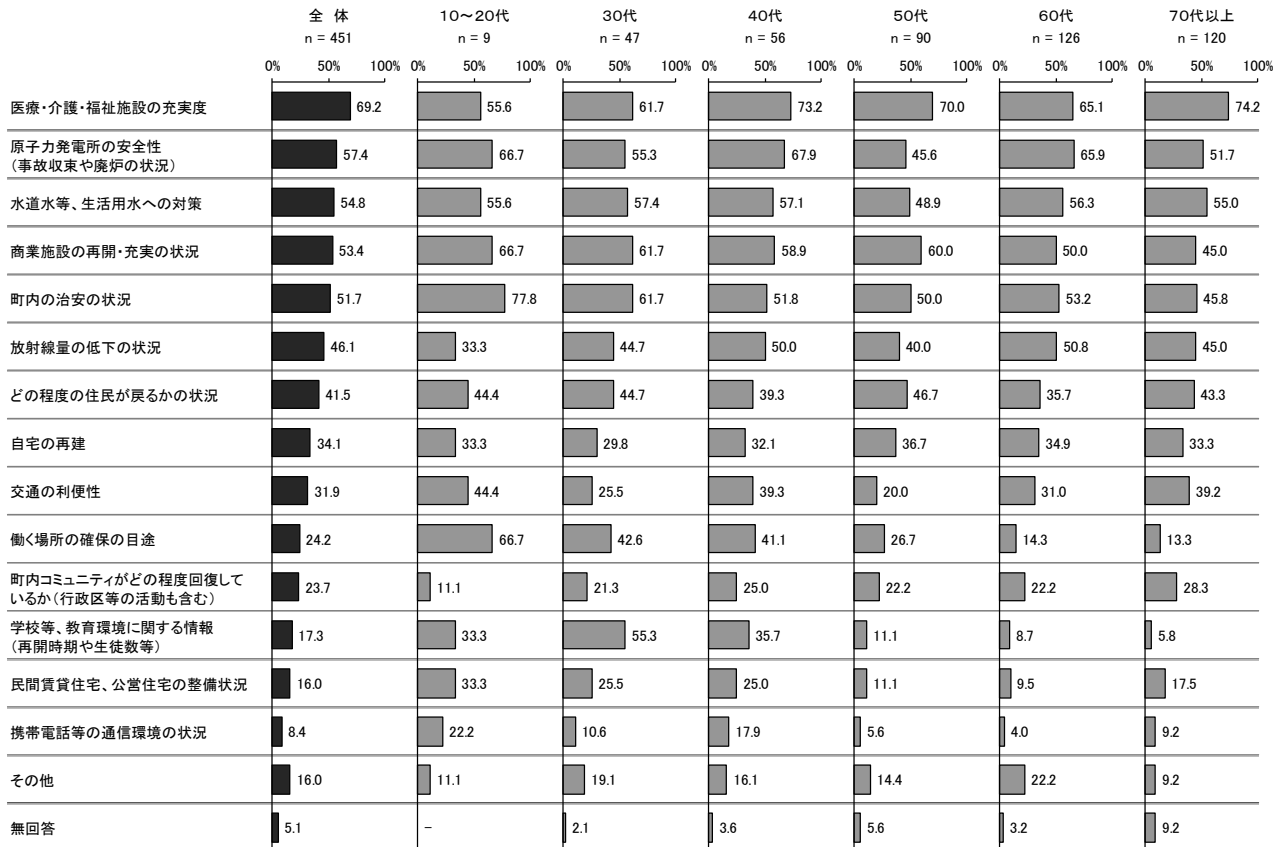
<図表3-3-12-1 檜葉町への帰還を判断する上で参考とする情報>



III 調査結果

回答者の年齢別にみると、「医療・介護・福祉施設の充実度」は、いずれの年代においても5割以上となっている。また「学校等、教育環境に関する情報（再開時期や生徒数等）」は、30代（55.3%）が他の年齢と比べて割合が高くなっている。

＜図表3-3-12-2 檜葉町への帰還を判断する上で参考とする情報（年齢別）＞

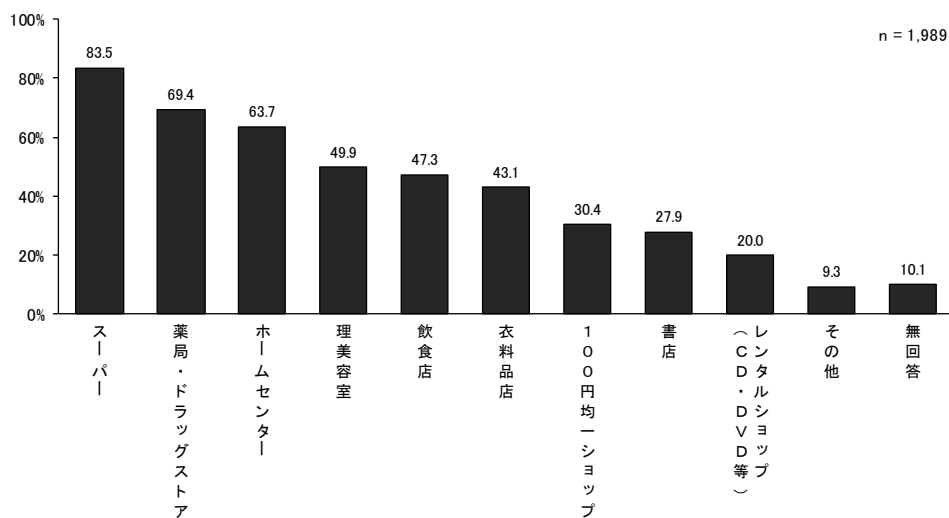


3-3-13 榑葉町内に希望する店舗・商業施設

問20 今後、榑葉町内にどういった店舗・商業施設を望みますか。(〇はいくつでも)

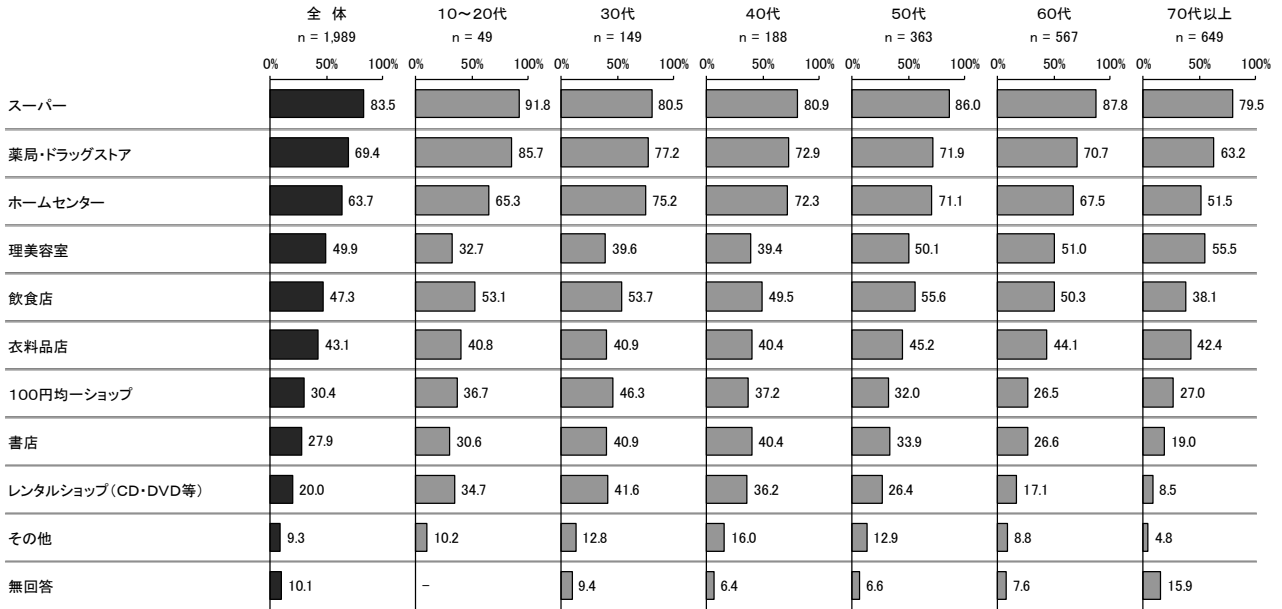
榑葉町内に希望する店舗・商業施設については、「スーパー」が83.5%と最も高く、次いで「薬局・ドラッグストア」が69.4%、「ホームセンター」が63.7%となっている。

<図表3-3-13-1 榑葉町内に希望する店舗・商業施設>



回答者の年齢別にみると、「スーパー」はいずれの年代においても8割を超え、最も高くなっている。
 また「薬局・ドラッグストア」は、10～20代(85.7%)が他の年齢と比べて割合が高くなっている。

<図表3-3-13-2 檜葉町内に希望する店舗・商業施設(年齢別)>



3-4 意見・要望

問21 町の復興に対して、日頃お感じになっているお気持ちや今後のあなたの展望などを自由にお書きください。

国や自治体への要望、復興に対する展望や気持ちなどについて、557世帯から回答があった。ここでは、記入された回答を下記項目に分類し、代表的なものを抜粋して掲載する。

<p>●生活について</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難生活の長期化への不安 元の生活が取り戻せるかどうかの不安 元の生活、安定した生活の回復 元の生活に戻ることにあきらめ 現在の生活について 現在の生活の人間関係・コミュニティについて 現在の生活の経済的な不安について 現在の生活の健康に関する不安について 現在の生活の仕事・学業に関する不安について 現在の生活全般の不安について 将来の生活に関する考えについて 将来の生活の経済的な不安について 将来の生活の健康に関する不安について 将来の生活の仕事・学業に関する不安について 将来の生活全般の不安について 生活（再建）支援について 防犯（治安・安心）について その他 	<p>●除染について</p> <ul style="list-style-type: none"> 除染作業の意義について 除染作業にかかる費用の他への活用について 除染作業の効果などについて 除染作業の実施箇所などについて 除染作業の早期・迅速・的確な実施について 除染作業スケジュールの明確化について 除染廃棄物の処理について その他
<p>●震災発生前の居住地について</p> <ul style="list-style-type: none"> 帰還困難区域等の設定について 所有する住まい・土地の買取りについて 自宅の現状（被害状況）について 自宅の再建・改築・解体について 元の住居や土地などの管理・処分について 元の住居や土地に対する税について 所有する墓地の維持・管理・移転について その他 	<p>●復旧・復興について</p> <ul style="list-style-type: none"> 復旧・復興の遅れ、長期化について 復旧・復興のスケジュールについて 復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について 町村合併について ライフライン・インフラの整備について 社会福祉施設の整備について 医療施設の復興・充実について 学校の復興・充実について 商業の復興・充実について 住民の参加・自助努力について 早期の原状回復・復興実現について その他
<p>●賠償について</p> <ul style="list-style-type: none"> 賠償内容・方法について 賠償の取り組みの迅速化、方針やスケジュールの明確化について 所有する住まい・土地に対する賠償全般について その他 	<p>●原発の安全性について</p> <ul style="list-style-type: none"> 廃炉作業の迅速な実施について 廃炉作業全般について その他
<p>●帰還について</p> <ul style="list-style-type: none"> 帰還への不安 帰還可能時期の明確化について 帰還したい 帰還しない 現時点では帰還の判断ができない 帰還に関する施策について 帰還を望まない人への対応について その他 	<p>●原発事故に対する対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政や東電の対応について 対応の長期化、遅れについて 情報の開示・発信について 中長期的スケジュールについて その他
<p>●避難期間中及び将来の住宅について</p> <ul style="list-style-type: none"> 復興公営住宅の早期・迅速な建設について 復興公営住宅の建設地・形態等について 復興公営住宅に係る経済的負担について 復興公営住宅への入居がどうかの不安 復興公営住宅への入居について 居住場所の確保について 借上げ住宅について 住宅の購入について その他 	<p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後のエネルギー政策について 行政に対する謝意、励まし その他

※掲載する文章は原文を基本とするが、固有名詞が含まれている場合や長文の場合などは、一部省略している。

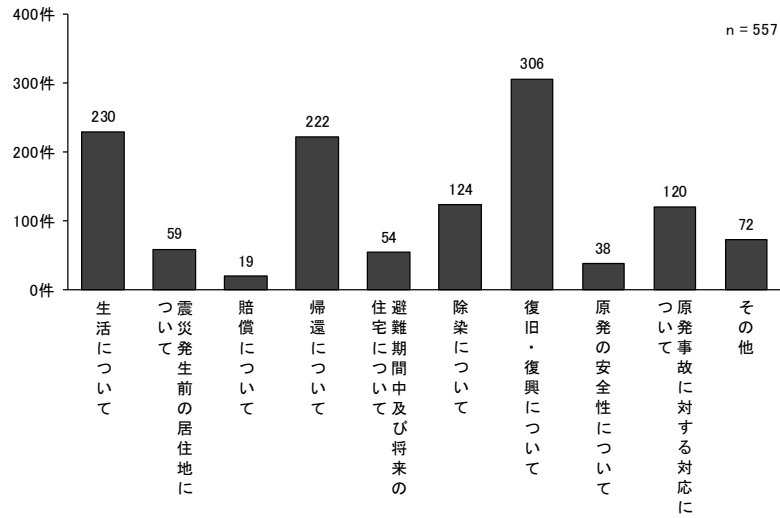
※一世帯の回答の内容が、複数のテーマにわたる場合は、それぞれの項目へ分類している。

Ⅲ 調査結果

まず、10の大項目についての、分類結果は下図のとおりとなった。

「復旧・復興について」が306件と最も多く、次いで「生活について」が230件、「帰還について」が222件となっている。

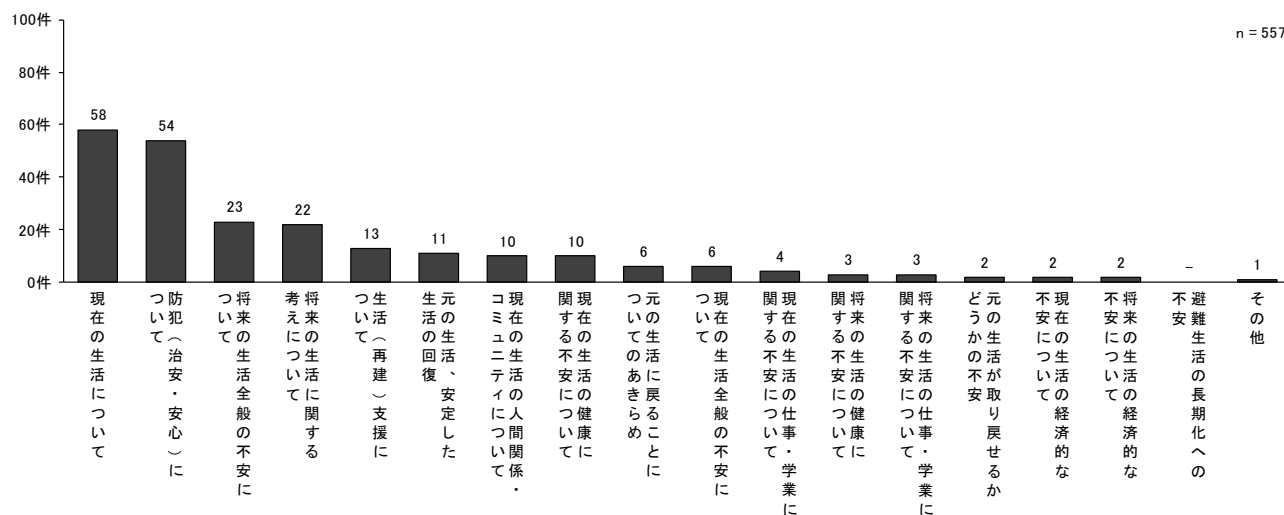
<図表3-4-1 意見に係る記入内容の分類結果>



(1) 生活について

生活についての具体的な意見としては、「現在の生活について」が58件と最も多く、次いで「防犯（治安・安心）について」が54件、「将来の生活全般の不安について」が23件となっている。

<図表3-4-2 生活についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【現在の生活について】

- 「檜葉へ戻る」という選択をするには、事故からあまりにも時間がたちすぎました。未就学だった長男も小学3年生、今の学校に通って3年です。今さら転校はできません。しかし、10年、20年後、子供達が自立し、自分達も退職や転職を考えるような事があれば、ぜひ檜葉に戻りたいと思います。(30代)
- 単身赴任で、公営住宅に住んでいました。震災後、実家に戻っても檜葉町からいろいろ援助していただきました。毎年送っていただいているお米も家族でおいしくいただいています。感謝の気持ちで一杯です。(50代)
- 現在、医療機関の充実している所に住んでおり、年齢も高くなって今後の事を考えると戻る事は不可能だと思っております。只、町の事はいつも気懸りで、これからも時折帰る予定です。(70代以上)

【防犯（治安・安心）について】

- 空家の貸し出しやプレハブ事務所等の建設によって、身知らぬ人が増え交通量も多くなってきています。あまり良い噂も聞かないので、防犯面の強化をして頂きたいです。(30代)
- 学校が再開するタイミングで戻りたいと思っておりますが、犯罪等の不安が大いにあるため、子供と一緒に戻るとすると考えてしまいます。(40代)
- 空家、空地の防犯対策。(60代)

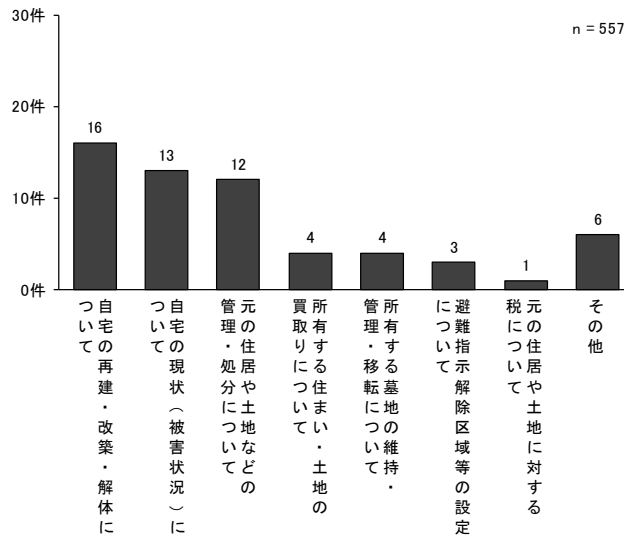
【将来の生活全般の不安について】

- 未だに荒れはてている所があったり、原発近くでは放射線量が心配されたりしているので、早くそういう問題が解決されることを願っています。(30代)
- 何も無い所には帰れません。どのように生活をすればよいのでしょうか。理容店を営んでいましたが、そこに人がいなくては商売が成り立ちません。(50代)
- 将来の町の存続に不安を感じます。(60代)

(2) 震災発生前の居住地について

震災発生前の居住地についての具体的な意見としては、「自宅の再建・改築・解体について」が16件と最も多く、次いで「自宅の現状（被害状況）について」が13件、「元の住居や土地などの管理・処分について」が12件となっている。

<図表3-4-3 震災発生前の居住地についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【自宅の再建・改築・解体について】

- 檜葉の自宅、修理の見積りの返事すら来ません。いつまでたっても修理できません。(30代)
- 現在、進んでいる家の解体は国の予算で無料です。しかし、戻る住民がリフォームで出た産業廃棄物は自己負担となりますが、原発事故のために処理費用が高くなっています。空屋対策も大事ですが、帰る住民の対策が先ではないかと思います。(50代)
- 家の修理、建て替えに対し、メーカーが対応出来ていない。(60代)

【自宅の現状（被害状況）について】

- 家は傷んでいるため、修繕してまで戻るべきなのか分からない。家族からも戻りたいという意識は弱くなってきている気がする。(30代)
- 公営住宅の整備が遅れている。従来通りの直しではなく、天井裏も清掃してほしいのだが、町ではそこまでの予算がないとの事。(50代)
- 現在は県外に避難しておりますが、自宅はイノシシやネズミに荒らされているとのこと。リフォームもしないと生活が出来ないと思い、不安です。(70代以上)

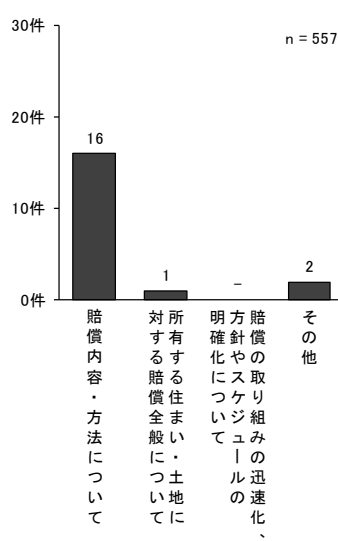
【元の住居や土地などの管理・処分について】

- 榑葉町に限らず、旧避難区域に“帰らない”とした場合の、旧家屋・土地に対する支援等が充実していないように感じる。「子の戻れぬ町」に未来はあるのでしょうか。(30代)
- 住めない所の固定資産税を無くして欲しい。榑葉の土地を処分したい。(50代)
- 農地の維持管理について、家庭の事情や高齢世帯など、所有者個人では限界があるので、維持管理の体制の充実や行政の支援をぜひともお願いします。(60代)

(3) 賠償について

賠償についての具体的な意見としては、「賠償内容・方法について」が16件と最も多く、次いで「所有する住まい・土地に対する賠償全般について」が1件となっている。

<図表3-4-4 賠償についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

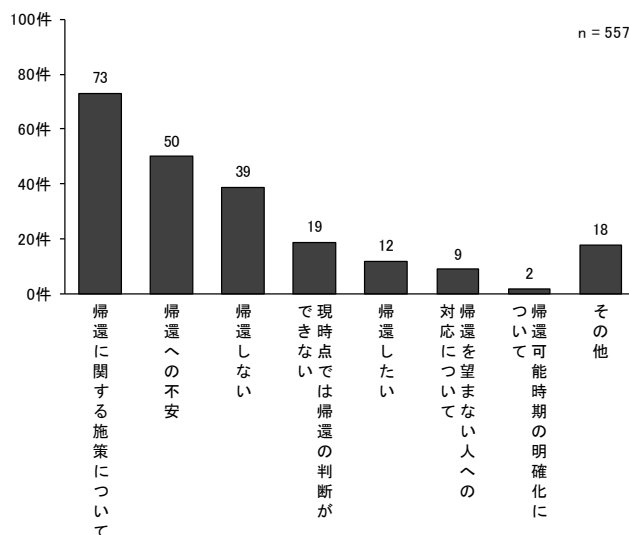
[賠償内容・方法について]

- 帰還期日が決まったら、補償は全てカットしてほしい。いわきの方々の生活を狭めている気がする。補償が続いたら帰らない人も多いはず。楢葉町で暮らす意志表示をすべきだ。(10~20代)
- 行政は、戻れ、戻れと言うが十分な賠償が先である。また、原発は廃炉が前提であり、それが済んでから戻れと言うべきである。(40代)
- 今年度で東電の賠償が終了するが、早期帰還者には1年間の延長を望む。できなければ町で何とか対応してほしい。(60代)

(4) 帰還について

帰還についての具体的な意見としては、「帰還に関する施策について」が73件と最も多く、次いで「帰還への不安」が50件、「帰還しない」が39件となっている。

<図表3-4-5 帰還についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[帰還に関する施策について]

- 解除の時期が早すぎた。こんなに早い時期に解除しても、若年層は町に戻るわけがない。完全に廃炉となるまで何が起きるか分からず、またそれをしっかり公表しないにもかかわらず、住民を戻すなどシニア層のことしか考えていないように思う。(10~20代)
- 何をすることで町民が戻るか、又、戻らなくなるのかももう少しよく考えて欲しいです。わざわざ思わしくない環境の下で子供を育てたり、老後を過ごしたりしたくないと思います。町民の意見はあまり反映されていない事が多いのではないかと感じています。(30代)
- 長年努力して築いて来た町も人も、原発の事故で双葉郡おろか、福島県広範囲に放射能をバラまかれ、10万人以上の人々が避難を余儀なくされた。これは国、県、町も危険を承知で原発を容認して来た責任は大きいと思う。事故からまもなく5年経過しようとしている住民に、戻れと言うのは酷である。したがって戻る人、戻らない人、それぞれ今後の生活支援を何らかの形で国、県、町も行う事が大事と思います。戻らない人は大事な故郷を失った。そして慣れない町で一から出直ししなければならない町の復興も同じと思う。少ない人口で元の姿にする事は時間と多くの予算が費やされる。それは原発を容認して来た責任だと思う。(70代)

[帰還への不安]

- 町民以外の作業員が出入りしているので、治安が心配。先月総合グラウンドに行ったが、よく見ると犬でもない野性の生物のフンがたくさんあり、衛生面の不安を感じた。また、野性生物がまだ街に下りてきていると思うと住むのは嫌だと感じた。(30代)
- 安全が確保されていないので、今後のことを考えることはまだできません。(40代)
- メドがたたない為、答えが出ません。本当に原発の安全性が確保出来ているのか分からない。楡葉町へ戻ってためだった場合に、次の住まいを見つけるのが困難であるなどと考えたと不安。(60代)

Ⅲ 調査結果

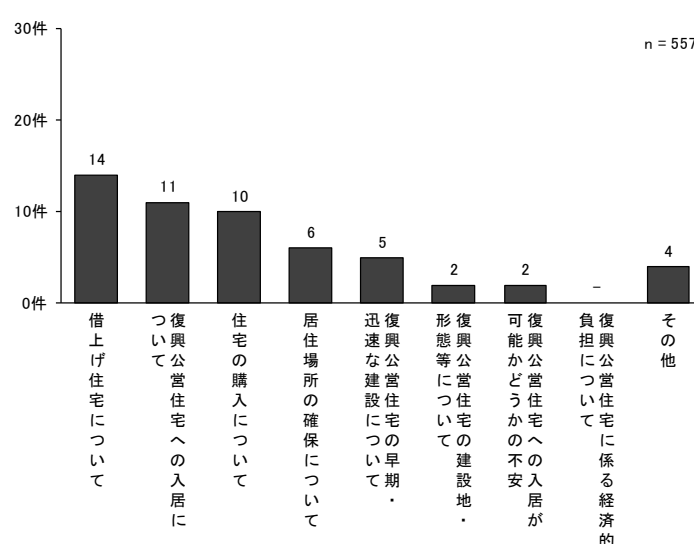
[帰還しない]

- 放射能の被害の事は、この避難中色々知識は覚えましたが、不安は沢山あります。私は死にたくないのでいくら大丈夫と言われても戻りたくありません。子供もいるので子供の未来を考えたら帰れる訳無いです。(40代)
- まだまだ安心して帰町しようという気にはなりません。何も解決出来ていない。年老いた親は家を修理すれば帰れると思っていたが、一日、暮らしてみて、大変だったようです。また仮設に戻りました。(60代)
- 戻る予定はないのですが、戻らないと決めてから一沫の淋しさを感じています。(60代)
- 除染が完了したことになっているが、フレコンバックが山積みになっている故郷に、誰が帰りたいと思うだろうか。中間貯蔵施設の地権者の用地交渉が進まない現況を思うと、町内にあふれる仮置場の除染廃棄物が搬出されるのはいつになるのか。目鼻を付けられない国の取り組みが悲しい。(70代以上)

(5) 避難期間中及び将来の住宅について

避難期間中及び将来の住宅についての具体的な意見としては、「借上げ住宅について」が14件と最も多く、次いで「復興公営住宅への入居について」が11件、「住宅の購入について」が10件となっている。

<図表3-4-6 避難期間中及び将来の住宅についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【借上げ住宅について】

- 檜葉町民で仮設住宅の入居期間が過ぎた後、行く所の無い人は自分たちで住居の確保等、どうにかして下さいと放り投げられている様な気がします。(40代)
- なぜ今でも檜葉町民の入居する住宅がないのでしょうか。仮設や借り上げ住宅を出ようとすると、個人で不動産まわりをして住宅を見つけないといけない。安心して生活出来る場をみつきたい人もいると思う。(50代)
- 仮設住宅に常日頃お世話になっています。有難う御座います。私達も住んでいた檜葉の賃貸住宅ではありますが、壊れてしまい住めなくなり、これからの生活に不安があり、災害公営復興住宅を希望致します。(60代)

【復興公営住宅への入居について】

- いわきでの暮らしをかためたい。震災復興公営住宅に檜葉住民も入れてほしい。(10~20代)
- 檜葉町の中に出来る公営住宅を申し込んでいます。本当は今の時点では帰りたくないのですが、他の市や町に公営住宅はなく、選択は出来ない為仕方なく、帰らなければならないのかもしれないかもしれません。願いは、今は他の市や町に住むことが出来て、後10年後に帰れるようになれば良いのと思います。(50代)
- せめていわき市に戻りたいと考えておりますが、復興住宅の申込みが出来ない。申込みが出来る様に、お願いしたい。(70代以上)

Ⅲ 調査結果

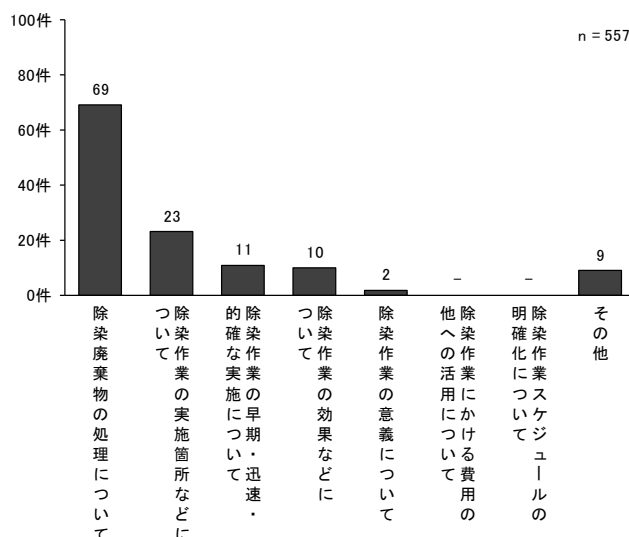
〔住宅の購入について〕

- 我が家は、現在いわき市に一戸建てを新築しましたが、楡葉には家は解体するが土地が残っているので、このままいわき市民になるか、現在の家を売り、楡葉に帰って家を建替えるか迷っている。楡葉町の将来に期待して、楡葉の土地を売却せずに管理していこうと思う。(40代)
- 生れ育った所ですから帰りたい気持ちは山々ですが、80才を過ぎると、子供の意見もきかなければなりません。子供と同じ敷地内(マンション)に住居を求め、これからゆっくりのんびり暮らしたいと思います。(70代以上)

(6) 除染について

除染についての具体的な意見としては、「除染廃棄物の処理について」が69件と最も多く、次いで「除染作業の実施箇所などについて」が23件、「除染作業の早期・迅速・的確な実施について」が11件となっている。

<図表3-4-7 除染についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【除染廃棄物の処理について】

- 水道水、生活水の絶対安全。最終（永久）処分場の絶対廃止。（40代）
- 町の復興はとても良い事ですが、上繁岡、繁岡住民を蔑ろにし、町の復興になるのでしょうか。指定廃棄物処分計画を受け入れた事に対し、とても残念に思います。今からでも撤回してほしいです。（50代）
- エコテックへの廃棄物搬入は反対です。帰町しようと思っていた人も、不安で戻らないだろう。何を作っても風評被害で売れないのですが、対策はあるのでしょうか。（70代以上）

【除染作業の実施箇所などについて】

- 「木戸ダムの水は安心」という根拠はどこにあるのか。きちんと一度水を抜いて除染してからでないと、安心して飲めない。森林の除染をしませんという、環境省の方針を何とかして欲しい。ホットスポットも沢山あり、とても幼児を屋外で遊ばせられる状況にない。（40代）
- 除染してない家が隣にあり、持ち主の了解なしに除染できるような法の整備をしてほしい。住居地区なのに林が多いが、除染や、木を切るなど線量低減するための総合対策を実施していない。地区の線量マップがあるのだから、どの箇所を重点的に除染すれば良いか分かるはずである。国も町も総合的な見地での対策を講じてない。（50代）
- 町は避難指示解除しましたが、家の周りは山林なので不安です。集落内の山林は除染してほしいです。（70代以上）

Ⅲ 調査結果

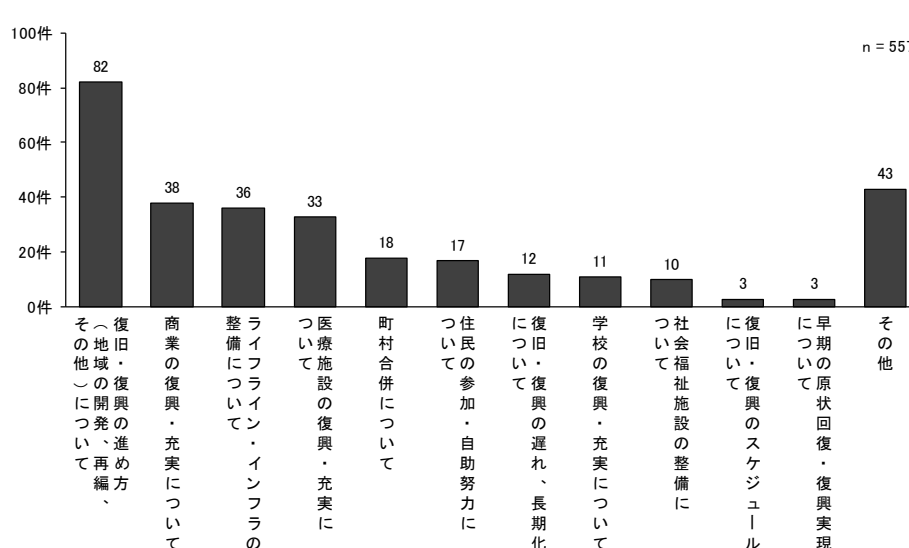
[除染作業の早期・迅速・的確な実施について]

- 震災前の暮らしに戻して下さい。線量も、震災前の数値に戻してくれなくては戻れません。(50代)
- 町内の放射線量の明確な説明をしてほしい。すべて0.3以下にする努力をしないと、家族で戻ることが出来ない。(60代)
- 放射線がどれだけ下がれば子供達が住めるようになるかが、分からない。子供達が安全に住めると、政府なり楢葉町から宣言してほしい。大人は住めるが、子供達は30年後も健康に大きくなれるのでしょうか。(60代)
- 子供達が安心して帰れるようにしないと。環境の整備、線量の低下と除染だと思う。(70代以上)

(7) 復旧・復興について

復旧・復興についての具体的な意見としては、「復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）」についてが82件と最も多く、次いで「商業の復興・充実について」が38件、「ライフライン・インフラの整備について」が36件となっている。

<図表3-4-8 復旧・復興についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【復旧・復興の進め方（地域の開発、再編、その他）について】

- 復興は、そんなに早くは進みません。一生の間の5年間の時間は人によってはとても重要な時間です。その間に人にはそれぞれ事情ができました。早く榎葉町に帰りたい人、いろいろと理屈を並べて戻らない人、それぞれです。町民の話をよくきいて、背のびをしない、身の丈に合ったまちづくりが重要かと思います。（40代）
- 町の復興だけでなく、町の継続的な発展のためには、若い世代が住み続け、その次の世代を育てていくことが重要だと思う。若い世代は収入も少なく、将来に対する財政的な不安を持っている人達が多いのではないかと。榎葉に住めば「仕事もあり」「安心して子を産み、育てることができる」。また、子供の教育環境も整っており、そこで教育された子供達が、榎葉で仕事をして将来を担っていくという正の循環ライフサイクルを回すことが出来れば、榎葉の発展につながるのではないかと思います。（50代）
- まずは、雇用求人を増やす方策を考え、実行する必要がある。企業の誘致をしてほしい。（60代）

【商業の復興・充実について】

- 暮らすための病院、学校、スーパー等はもちろんの事、町民が戻りたくなる様な商業施設をぜひ建てて下さい。（30代）
- 震災後、生活に便利な場所へ避難している為、榎葉町も震災前より、商業施設を充実させなければ、若年層は榎葉町に戻って来ないと思います。大型ショッピングモールを誘致するくらいの整備が必要だと思います。（40代）
- 震災前は町内で買えないものは富岡町で買っていたが、これからは富岡町に頼れないので、榎葉町と広野町で協力していろいろなお店を開いてほしいと思います。又、そのお店に行くための手段も充実させてほしいです。（70代以上）

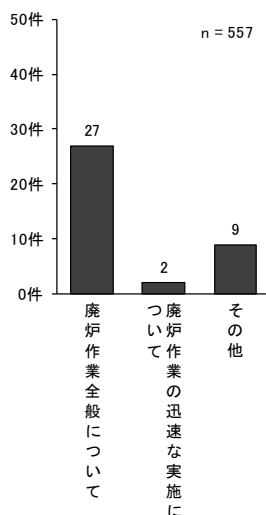
[ライフライン・インフラの整備について]

- 除染は進んでいるが、インフラがまだ整備されていなかったり、医療施設や商業施設が不足していたりと、町に戻るには時間がかかりそうに思える。(10~20代)
- 近くに住む方にお伺いすると、みなさん心配しているのは交通手段と医療。若くない方々ばかりが生活する所になるので、一番気になることだと思う。復興は進んでいるのだろうが、希望が持てるような“形”が見えてきていないと感じる。(50代)
- 帰郷の第一は病院や商店などの早期実行が第一です。町では数年前より病院の建設やスーパー建設の計画をしていると聞きますが、未だに具体的実行の実施が見られません。なによりも公共施設の完成を強く望むものであります。こまかな町内交通機関の実施も強く希望します。(70代以上)

(8) 原発の安全性について

原発の安全性についての具体的な意見としては、「廃炉作業全般について」が27件と最も多く、次いで「廃炉作業の迅速な実施について」が2件となっている。

<図表3-4-9 原発の安全性についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【廃炉作業全般について】

- 第一原発に近く、安全ではないと感じる。また、安全である保証もない。(30代)
- 建屋カバー解体工事など、まだまだ放射線の飛散が考えられるので、帰還は無理だと思う。出来る事ならなるべく原発から離れた場所で生活したい。(40代)
- 事故をおこした第一原発は廃炉になるが、第二原発は、国、東電も沈黙している。熱りがさめた頃に再起動をするのではないだろうか。本当に詫げる気持ちがあるのならば、第二原発も廃炉にするべきである。(60代)

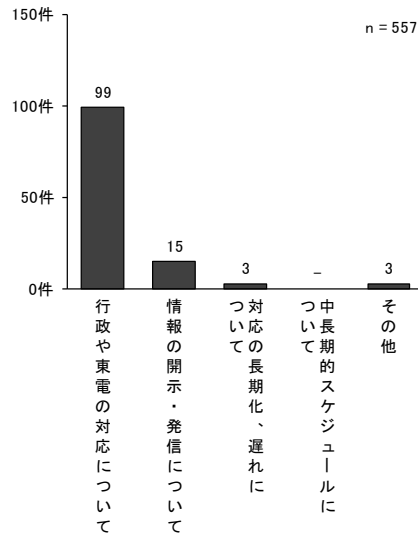
【廃炉作業の迅速な実施について】

- 県と東電の談話の中でも、第二原発の廃炉については、あいまいな回答のまま推移しています。福島県民、議会を含め「廃炉」を希望しています。早急に結論を出すことで、第一原発よりも早い解体が可能だと思います。安心な住環境が第一であると思う。(50代)
- 原発の問題が終息していないのだから、復興は考えられない。原発被災者として、一生背負って生きていくのだと思うと悲しい。(50代)

(9) 原発事故に対する対応について

原発事故に対する対応についての具体的な意見としては、「行政や東電の対応について」が99件と最も多く、次いで「情報の開示・発信について」が15件、「対応の長期化、遅れについて」が3件となっている。

<図表3-4-10 原発事故に対する対応についての意見>



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

[行政や東電の対応について]

- ・ 楢葉町は、国や東電に対し、意見や補償を強く訴えるべきではないだろうか。双葉町や、浪江町の様に強気の姿勢を見せて欲しい。確かに、国からの圧力もあるだろうが、町民の生活を安定させる為に、考えるべきだと思う。(40代)
- ・ 町の復興は大事だと思うが、町が行なっている様々な施策は、あくまでも国への対面を保つための施策に見えて、町民に向けた施策とはまったく感じられない。今後は真摯に町民に向き合った行政を展開していただきたい。そうすれば、住民帰還への道も今よりは開けるのではないだろうか。(50代)
- ・ 9月5日の解除は時期早尚であった。本当の町の姿、住民の意志を尊重すべきである。国の方針にあまりにも同調しているため、町の独自性を前面に出すべきだ。(70代以上)

[情報の開示・発信について]

- ・ 復興に関する情報がメディアで見る情報と同じ。もっと詳しい情報がほしいです。町民の声をもっと聞いて情報公開をしてほしいです。(30代)
- ・ 自治体はありのままの正確な情報をマスメディアにのせてほしい。イメージ回復のためのみに努めないでほしい。(40代)
- ・ 楢葉町の現状を他の市町村、都道府県にきちんと周知させてほしい。引っ越し業者でも9月5日に解除になったことを知らない。(60代)

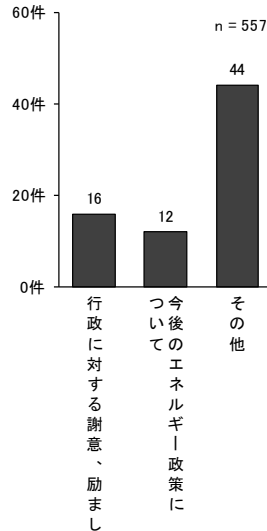
【対応の長期化、遅れについて】

- 町の対応がすべてにおいて遅い。もっと町民に寄り添った対応を望む。(30代)
- 復興があまりにも遅かった。みんなが他所に家を建て、櫛葉に戻る人が少ない様なので、私達も考えて別な場所に建てることになってしまったのです。はっきりしなかったので困っていました。(60代)
- 環境省の大臣が何人も変わり、一貫性が無いのが復興が遅れた要因だと思う。(70代以上)

(10) その他

その他についての具体的な意見としては、「行政に対する謝意、励まし」が16件と最も多く、次いで「今後のエネルギー政策について」が12件となっている。

＜図表3-4-11 その他についての意見＞



上位項目についての主な意見は以下のとおり。

【行政に対する謝意、励まし】

- 震災から4年9ヶ月が経ちますが、現在の檜葉町長さんだからこそ、檜葉町を考えた復興、再生に全力を尽くしている姿に感謝の言葉と思いで一杯です。今後の檜葉町の輝く未来を楽しみにしています。(30代)
- 町を目指す「新生檜葉」と自分の思う檜葉の大きなギャップがありますが、故郷の檜葉を残す思いは町職員一同様と変わりません。お疲れとは思いますが、がんばって下さい。一緒にごがんばります。(50代)
- 町長さん、役場職員の方御苦労様です。テレビに写るたびにそう思っています。(70代以上)

【今後のエネルギー政策について】

- 「原発がなければ」と、あまり思いたくなかったが、実際にそれが支障となり、人生のハンディとなった。人生は楽しいけど、ひとつ「闇」が生まれてしまった。原発は無いほうがいい。原発は絶対になくしたほうがいい。(10～20代)
- せっかく、強大な予算があるにもかかわらず、将来に対してのお金が使われていない。将来は不安ばかり、払拭するには、原子力に次ぐ産業を作らないと折角のチャンスがなくなると思う。双葉郡で早く帰還宣言したのならば、しっかりアドバンテージを国からもらうべき。ここにしかない原子力災害に伴った最先端の医療研究施設や次世代エネルギーを作って、100年後も名前を残すよう切にお願いします。(40代)
- あの事故を教訓に二度と繰り返さぬことのない為にも、日本の原子力発電所を運転しない事を望みます。電気料金が高くていい、風力や海水、太陽光等の自然の力を利用してほしい。それが人類にとって一番の幸せです。災害の多い日本列島に一番安全な道を選んで欲しい。年若い者が、これからの日本国に若い人達が一番の安全な道を選んで欲しい。原子力発電所のない国を望みます。このままでは、日本は滅亡への道をたどります。(70代以上)

IV 參考資料

4-1 使用調査票

楡葉町 住民意向調査

記入上の注意

● 調査をお願いする方

- ▶ ご回答は、楡葉町住民の世帯の代表者の方をお願いいたします。
- ▶ 現在世帯が何か所かに分かれて避難されている場合には、それぞれの場所にお住まいの代表者の方にご回答をお願いいたします。

● ご回答方法

- ▶ ご回答は、あてはまる番号を選び、その番号に○をつけてください。
- ▶ 前から順番に回答を進めてください。途中、「問〇〇へ」などと質問を飛ばすように指定がある場合には、それに従って回答を進めてください。
- ▶ 「その他」に○をされた場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
- ▶ の中に記入をお願いしている質問には、地名、数などを具体的に
ご記入ください。

※調査票はすべて無記名でお願いしております。

● ご提出方法

- ▶ ご記入済みの調査票は、1月19日(火)までに、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。

楡葉町 福島県 復興庁

【お問い合わせ先】

ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

■ 復興庁「住民意向調査」問い合わせセンター

フリーダイヤル 0120-901-847

[設置期間： 1月6日(水)～1月19日(火) 平日10時～17時]

はじめに、ご記入いただくあなたご自身のことについて教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問1 性別（○は1つ）

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

【すべての方にうかがいます。】

問2 あなたの現在の年齢（○は1つ）

- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| 1 ~19歳 | 6 40~44歳 | 11 65~69歳 |
| 2 20~24歳 | 7 45~49歳 | 12 70~74歳 |
| 3 25~29歳 | 8 50~54歳 | 13 75~79歳 |
| 4 30~34歳 | 9 55~59歳 | 14 80歳以上 |
| 5 35~39歳 | 10 60~64歳 | |

東日本大震災発生当時のあなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問3 震災発生当時にお住まいだった地区を以下から教えてください。（○は1つ）

- | | | | |
|-------|--------|--------|----------------------|
| 1 旭ヶ丘 | 8 山田岡 | 15 前原 | 22 その他 |
| 2 菅団 | 9 山田浜 | 16 大坂 | ※わからない場合は住所を記載してください |
| 3 乙次郎 | 10 女平 | 17 大谷 | 〔 〕 |
| 4 下井出 | 11 松館 | 18 榎木下 | |
| 5 下小埜 | 12 上井出 | 19 波倉 | |
| 6 下繁岡 | 13 上小埜 | 20 繁岡 | |
| 7 山所布 | 14 上繁岡 | 21 北田 | |

【すべての方にうかがいます。】

問4 あなたは、震災発生当時、世帯主でしたか。（○は1つ）

- | | |
|------------|---------------|
| 1 当時世帯主だった | 2 当時世帯主ではなかった |
|------------|---------------|

【すべての方にうかがいます。】

問5 「震災発生当時」に、あなたを含めて一緒に住んでいた方の人数を教えてください。
あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。
(人数で回答)

ア) 未就学児(小学校入学前)	人	エ) 高校生	人
イ) 小学生	人	オ) 15～64歳(中学・高校生を除く)	人
ウ) 中学生	人	カ) 65歳以上の方	人

【すべての方にうかがいます。】

問6 震災発生当時にお住まいだった住宅は、どのような形態でしたか。(○は1つ)

1 持ち家(一戸建)	→問7へ	7 家族のどなたかのお住まい・ 実家	→問8へ
2 持ち家(集合住宅)	→問7へ	8 親戚・知人宅	→問8へ
3 民間賃貸住宅(一戸建)	→問8へ	9 その他	→問8へ
4 民間賃貸住宅(集合住宅)	→問8へ	〔具体的に〕	
5 公営住宅	→問8へ		
6 給与住宅(社宅など)	→問8へ		

【問6で、「1 持ち家(一戸建)」または「2 持ち家(集合住宅)」と回答した方にうかがいます。】

問7 震災発生当時にお住まいだった持ち家(自宅)は、今後どのようにされる予定ですか。(○は1つ)

1 被害がなく(または軽微であり)、修繕が不要	
2 すでに修繕済	
3 現在修繕中	
4 今後すぐに(1年未満)修繕する予定	
5 今後1～2年以内に修繕する予定	
6 今後修繕を行う予定であるが、時期は未定	
7 特に修繕を行わず、そのままにする	
8 解体する(その後、建て替える予定)	
9 解体する(現時点で、建て替える予定はない)	
10 すでに解体済み(今後、建て替える予定)	
11 すでに解体済み(現時点で、建て替える予定はない)	
12 現時点では判断していない	
13 その他〔具体的に〕	

現在のあなたの状況について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 8 現在の世帯構成についてうかがいます。現在、あなたを含めて一緒に住んでいる方の人数を教えてください。あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。(人数で回答)

ア) 未就学児 (小学校入学前)	人	エ) 高校生	人
イ) 小学生	人	オ) 15～64 歳 (中学・高校生を除く)	人
ウ) 中学生	人	カ) 65 歳以上の方	人

【すべての方にうかがいます。】

問 9 震災発生当時ご一緒にお住まいであった家族は、現在、何か所に分散してお住まいですか。(○は1つ)

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1 世帯でまとまって居住 (一人暮らし含む) | 3 合計 3 か所に分散 |
| 2 合計 2 か所に分散 | 4 合計 4 か所以上に分散 |

【すべての方にうかがいます。】

問 10 現在のあなたの職業を教えてください。現在、仕事に就いている方は、業種も教えてください。なお、2つ以上の職業を持っている場合には、主な収入源になっているものを選択してください。

問 10(1) 職業 (就業形態) (○は1つ)

- | | | |
|--------------------------|-----------------|---------|
| 1 自営業・会社経営者
(継続中・再開済) | 8 学生 | →問 11 へ |
| 2 自営業・会社経営者(休業中) | 9 無職 (職を探していない) | →問 11 へ |
| 3 会社員 (事務) | 10 無職 (職を探している) | →問 11 へ |
| 4 会社員 (労務) | 11 その他 | |
| 5 団体職員 | (具体的に) | |
| 6 公務員 | | |
| 7 パート・アルバイト | | |

【就業している方にうかがいます。】

問 10(2) 業種 (○は1つ)

- | | | |
|-------------|------------------|----------|
| 1 農・林・漁・畜産業 | 6 運輸業 | 11 公務 |
| 2 建設業 | 7 卸・小売り・飲食、サービス業 | 12 その他 |
| 3 製造業 | 8 金融・保険業 | 〔 具体的に 〕 |
| 4 電気業 | 9 医療・福祉 | |
| 5 ガス・水道業 | 10 教育 | |

【問 11 は、震災発生当時の職業が自営業・会社経営者以外（会社員、団体職員、公務員、パート・アルバイト、学生、無職、その他）の方は下記にご回答ください。】

問 11(1) 今後の職業について、どのようにお考えですか。（○は1つ）

- 1 震災発生当時から同じ職場で働いており、今後も働きたい →問 12 へ
- 2 震災発生後に転職または就職し、今後も現在の職場で働きたい →問 12 へ
- 3 今後、**檜葉町**で職場が見つかるのなら、そこで働きたい →問 11(2) へ
- 4 今後、**檜葉町以外**^{*}の職場で働きたい →問 12 へ

※希望地があれば、具体的にご記入ください。

（都・道・府・県）

（市・町・村・区）

- 5 今後、働く予定はない →問 12 へ

- 6 その他 { 具体的に }

└──────────┐
└──────────┘ → 問 12 へ

【問 11(1)で、「3 今後、檜葉町で職場が見つかるのなら、そこで働きたい」と回答した方にうかがいます。】

問 11(2) 今後、町内で職場を探し、仕事をする上で何か支障となること、支援策として事業者や行政に望むことがありましたら、自由なお考えをご回答ください。

（例 町内の住居を解体してしまったので、社宅等の整備を支援して欲しい。）

【すべての方にうかがいます。】

問 12 今後のお住まいについて、どのようにお考えですか。(○は1つ)

- | | | |
|---|------------------------|---------|
| 1 | 現在、檜葉町に戻っている | →問 13 へ |
| 2 | 今後、早期に檜葉町に戻る | →問 14 へ |
| 3 | 今後、条件が整えば、檜葉町に戻る | →問 14 へ |
| 4 | 今後、檜葉町には戻らない | →問 14 へ |
| 5 | 戻るかどうかについて、今はまだ判断ができない | →問 14 へ |

【**問 13** は、問 12 で、「1 現在、檜葉町に戻っている」と回答した方にうかがいます。】

問 13(1) 現在、檜葉町内でお住まいの住宅は、どのような形態ですか。(○は1つ)

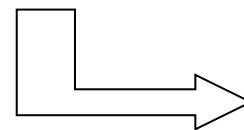
- | | |
|---|-------------------------------|
| 1 | 元の持ち家（自宅）（建て替えた場合を含む） |
| 2 | 元の自宅とは別の町内の場所に、新たに一戸建の持ち家を建てた |
| 3 | 元の自宅とは別の町内の場所に、中古住宅を購入した |
| 4 | 民間賃貸住宅（一戸建） |
| 5 | 民間賃貸住宅（集合住宅） |
| 6 | 給与住宅（社宅など） |
| 7 | 家族のどなたかのお住まい・実家 |
| 8 | 親戚・知人宅 |
| 9 | その他 |
| | （具体的に |
| | ） |

問 13(2) 檜葉町内での今後の生活において、行政にどのような支援を望みますか。
(〇はいくつでも)

1 防犯体制の強化	9 学校等の教育機関の再開または避難先の教育機関への通学体制の整備
2 雇用確保の支援	10 継続的な健康管理等、放射線に対する不安解消への取組、線量低減対策
3 商業施設の再開・充実	11 携帯電話等の通信環境の改善
4 鉄道等の公共交通機関の再開・充実	12 その他
5 医療・介護・福祉施設の再開・充実	〔具体的に〕
6 町内コミュニティ活動（行政区等の活動も含む）への支援	
7 水道水等、生活用水の安全対策	
8 公営住宅の整備	

問 13(3) 問 13(2) で選択した支援のうちで、具体的なお考えがあれば、選択肢番号の欄にご記入ください。そして、その支援について、自由なお考えをご回答ください。

問 13(2) の 選択肢番号	自由なお考え
(例) 3	買い物の利便性向上のために、町で商業施設を整備して欲しい。

 **問 20 へ**

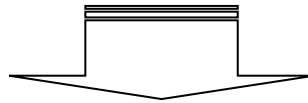
【問 14 は、問 12 で、「2」～「5」と回答した方にかがいます。】

問 14(1) あなたが現在お住まいの自治体名を教えてください。(○は1つ)

1 いわき市	6 福島県内のその他の市町村 (具体的にご記入ください。)
2 会津美里町	→ <input type="text"/> (市・町・村)
3 福島市	7 福島県外 (具体的にご記入ください。)
4 郡山市	→ <input type="text"/> (都・道・府・県) <input type="text"/> (市・町・村・区)
5 会津若松市	

問 14(2) 現在お住まいの住居は、どのような住居形態ですか。(○は1つ)

1 応急仮設住宅	7 親戚・知人宅
2 借上げ住宅	8 持ち家 (一戸建)
3 公営住宅 (有償)	9 持ち家 (集合住宅)
4 民間賃貸住宅 (有償)	10 その他
5 給与住宅 (社宅など)	【具体的に
6 家族のどなたかのお住まい・実家	



問 12 で「2 今後、早期に楡葉町に戻る」または 「3 今後、条件が整えば、楡葉町に戻る」と回答した方	➡ 問 15 へ
問 12 で「4 今後、楡葉町には戻らない」と回答した方	➡ 問 18 へ
問 12 で「5 戻るかどうかについて、今はまだ判断できない」と回答した方	➡ 問 19 へ

【問 15 は、問 12 で、「2 今後、早期に檜葉町に戻る」または「3 今後、条件が整えば、檜葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。】

問 15(1) 檜葉町に戻る場合、避難指示解除（平成 27 年 9 月 5 日）から何年以内に
戻りたいとお考えですか。（○は 1 つ）

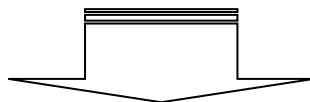
1 半年以内	3 2 年以内	5 5 年以内
2 1 年以内	4 3 年以内	6 5 年超

問 15(2) 檜葉町への帰還後、どのような家族構成になると考えていますか。あなた自身を含めて、現在の年齢・学齢にあてはまる人数でご回答ください。
（人数で回答）

ア) 未就学児（小学校入学前）	人	エ) 高校生	人
イ) 小学生	人	オ) 15～64 歳（中学・高校生を除く）	人
ウ) 中学生	人	カ) 65 歳以上の方	人

問 15(3) 檜葉町に帰還した場合のお住まいは、どのような形態を予定されていますか。（○は 1 つ）

1 元の持ち家（自宅）（建て替える場合を含む）	6 民間賃貸住宅（集合住宅）
2 元の自宅とは別の町内の場所に、新たに一戸建の持ち家を建てる	7 公営住宅
3 元の自宅とは別の町内の場所に、新たに分譲集合住宅を購入する	8 給与住宅（社宅など）
4 元の自宅とは別の町内の場所に、中古住宅を購入する	9 家族のどなたかのお住まい・実家
5 民間賃貸住宅（一戸建）	10 親戚・知人宅
	11 その他
	（具体的に
	12 現時点では判断していない



問 12 で「2 今後、早期に檜葉町に戻る」と回答した方

➡ 問 16 へ

問 12 で「3 今後、条件が整えば、檜葉町に戻る」と回答した方

➡ 問 17 へ

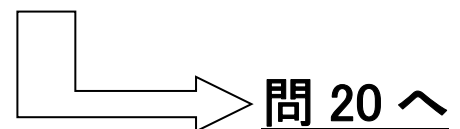
【問 16 は、問 12 で、「2 今後、早期に檜葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。】

問 16(1) 檜葉町内での今後の生活において、行政にどのような支援を望みますか。
(○はいくつでも)

1 防犯体制の強化	9 学校等の教育機関の再開または避難先の教育機関への通学体制の整備
2 雇用確保の支援	10 継続的な健康管理等、放射線に対する不安解消への取組、線量低減対策
3 商業施設の再開・充実	11 携帯電話等の通信環境の改善
4 鉄道等の公共交通機関の再開・充実	12 その他
5 医療・介護・福祉施設の再開・充実	〔具体的に〕
6 町内コミュニティ活動（行政区等の活動も含む）への支援	
7 水道水等、生活用水の安全対策	
8 公営住宅の整備	

問 16(2) 問 16(1) で選択した支援のうちで、具体的なお考えがあれば、選択肢番号の欄にご記入ください。そして、その支援について、自由なお考えをご回答ください。

問 16(1) の 選択肢番号	自由なお考え
(例) 3	買い物の利便性向上のために、町で商業施設を整備して欲しい。



【問 17 は、問 12 で、「3 今後、条件が整えば、檜葉町に戻る」と回答した方にうかがいます。】

問 17 (1) 檜葉町に戻るにあたり、あなたがその条件として考慮する項目についてあてはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

1 自宅の再建	11 学校等の教育機関の再開または避難先の教育機関への通学体制の整備
2 放射線量の低減と不安の払拭	12 原子力発電所の安全性（事故収束や廃炉の状況）
3 どの程度、住民が戻るか	13 賃貸住宅・公営住宅の整備
4 防犯対策の強化	14 携帯電話等の通信環境の改善
5 町内で仕事が見つかること	15 その他
6 商業施設の再開・充実	（具体的に）
7 鉄道等の公共交通機関の再開・充実	
8 医療・介護・福祉施設の再開・充実	
9 町内コミュニティ活動（行政区等の活動も含む）の回復	
10 水道水等の生活用水に対する不安が解消されること	

問 17(2) 問 17(1) で選択した条件として考慮する項目のうちで、具体的なお考えがあれば、選択肢番号の欄にご記入ください。そして、項目について、自由なお考えをご回答ください。

問 17(1) の 選択肢番号	自由なお考え
(例) 8	町内福祉施設が再開されるタイミングで町に戻りたい。



【問 18 は、問 12 で、「4 今後、楡葉町には戻らない」と回答した方にうかがいます。】

問 18(1) 楡葉町に戻らないと決めている理由はどのようなことですか。

(○はいくつでも)

1 自宅が荒廃しているから	10 水道水等の生活用水の安全性に不安があるから
2 自宅周辺の放射線量が心配だから	11 教育環境に不安があるから
3 自宅周辺に住む人が少ないから	12 原子力発電所の安全性に不安が残っているから
4 町内の治安が心配だから	13 携帯電話等の通信環境が十分でないから
5 町外で働いているから	14 その他
6 商業施設の再開が十分でないから	具体的には
7 道路、鉄道面において、移動交通が不便だから	
8 医療・介護・福祉施設の再開が十分でないから	
9 町内コミュニティの回復が十分でないから (行政区等を含む)	

問 18(2) 楡葉町に戻らない場合、今後どの自治体で居住を予定されていますか。

(○は1つ)

1 いわき市	6 福島県内のその他の市町村 (具体的にご記入ください。)
2 会津美里町	→ <input type="text"/> (市・町・村)
3 福島市	7 福島県外 (具体的にご記入ください。)
4 郡山市	
5 会津若松市	→ <input type="text"/> (都・道・府・県) <input type="text"/> (市・町・村・区)
8 現時点では判断していない	

問 18(3) 今後、居住する住宅はどのような形態 (の予定) ですか。(○は1つ)

1 持ち家 (一戸建)	7 家族のどなたかのお住まい・実家
2 持ち家 (集合住宅)	8 親戚・知人宅
3 民間賃貸住宅 (一戸建)	9 その他
4 民間賃貸住宅 (集合住宅)	具体的には
5 公営住宅	
6 給与住宅 (社宅など)	10 現時点では判断していない



【問 19 は、問 12 で、「5 戻るかどうかについて、今はまだ判断ができない」と回答した方にうかがいます。】

問 19 檜葉町に戻るかどうかの判断をする際に、あなたが参考にする項目について、あてはまるものをお選びください。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------------|---------------------|
| 1 自宅の再建 | 12 民間賃貸住宅、公営住宅の整備状況 |
| 2 放射線量の低下の状況 | 13 働く場所の確保の目途 |
| 3 どの程度の住民が戻るかの状況 | 14 携帯電話等の通信環境の状況 |
| 4 町内の治安の状況 | 15 その他 |
| 5 商業施設の再開・充実の状況 | 具体的に |
| 6 交通の利便性 | |
| 7 医療・介護・福祉施設の充実度 | |
| 8 町内コミュニティがどの程度回復しているか (行政区等の活動も含む) | |
| 9 水道水等、生活用水への対策 | |
| 10 学校等、教育環境に関する情報 (再開時期や生徒数等) | |
| 11 原子力発電所の安全性 (事故収束や廃炉の状況) | |

 問 20 へ

檜葉町内に必要な店舗・商業施設について教えてください。

【すべての方にうかがいます。】

問 20 今後、檜葉町内にどういった店舗・商業施設を望みますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|------------|----|---------------------|
| 1 | スーパー | 7 | 書店 |
| 2 | ホームセンター | 8 | 理美容室 |
| 3 | 薬局・ドラッグストア | 9 | レンタルショップ (CD・DVD 等) |
| 4 | 飲食店 | 10 | その他 |
| 5 | 衣料品店 | | 〔具体的に〕 |
| 6 | 100円均一ショップ | | |

問 21

町の復興に対して、日頃お感じになっているお気持ちや今後のあなたの展望などを自由にお書きください。

**以上でご回答いただく内容は終わりです。
調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。**

**同封の返送用封筒にご記入済みの調査票を入れて、
1月19日(火)までに郵便ポストに投函してください(切手は不要です)。**

**楡葉町 住民意向調査
報告書**

平成28年3月

復興庁 福島県 楡葉町

調査機関:株式会社サーベイリサーチセンター

